建築と社会

社団法人 日本建築協会
昭和44年 3 月25日発行 第50輯第 3 号
毎月 1 回25日発行
昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

3 1969
VOL. 50

特集／計画と住民－中部からの報告－

ARCHITECTURE AND SOCIETY



"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。 360種以上の標準設計を用意しています。

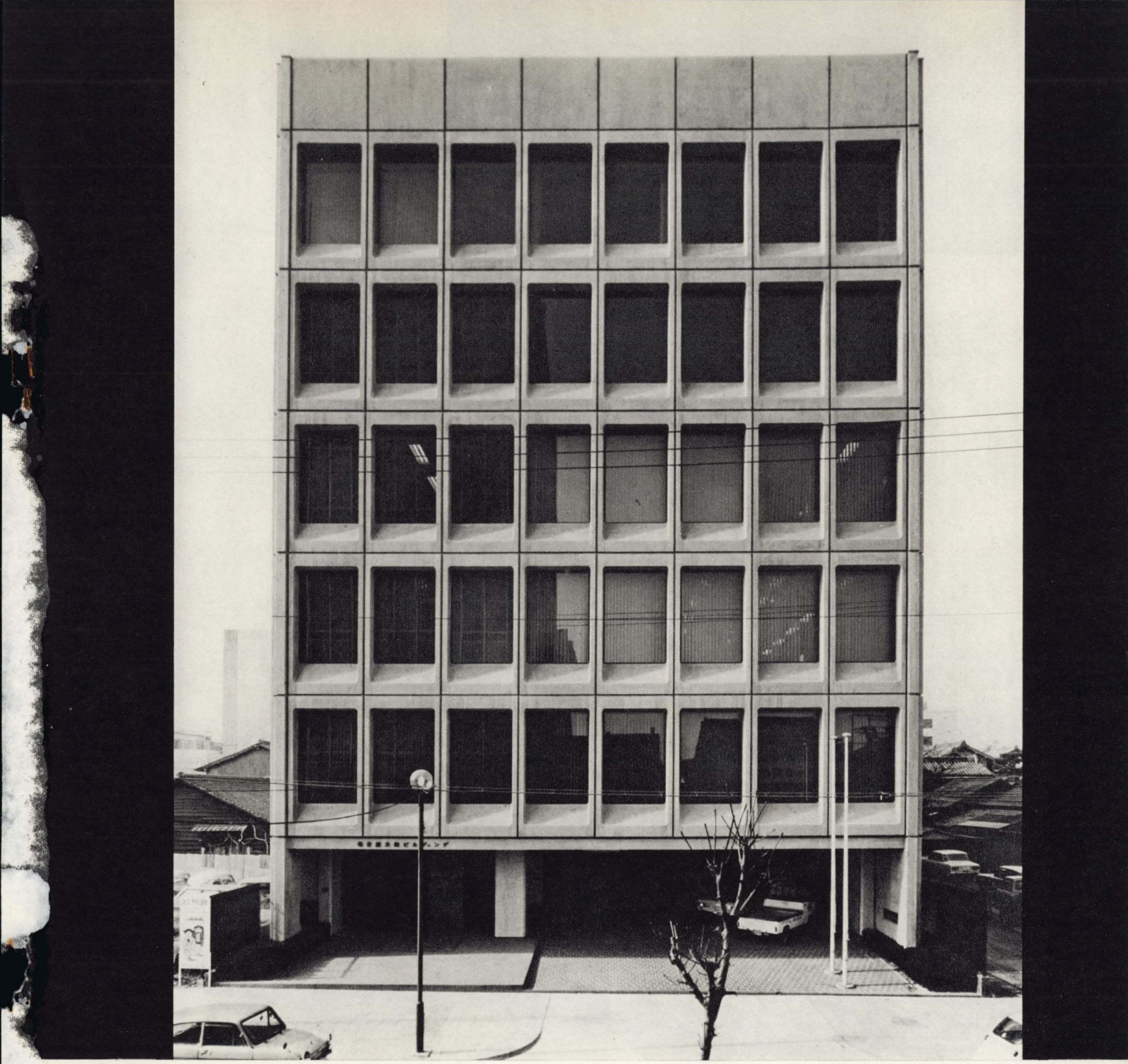
住友のプレハブ骨組

スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

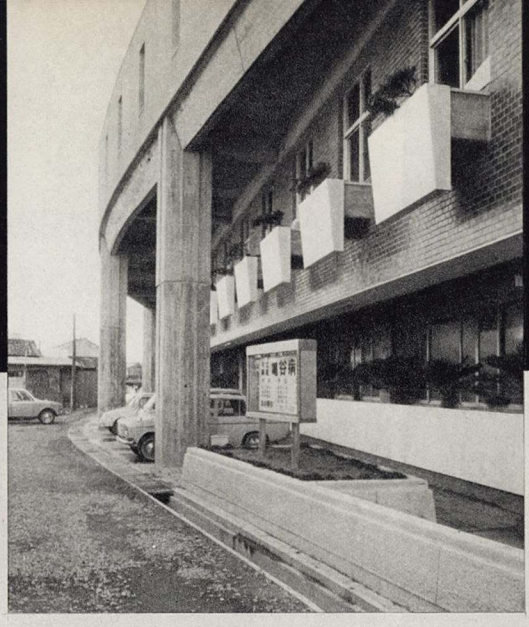
大阪 ── 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ── 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)0111
営業所 ── 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌

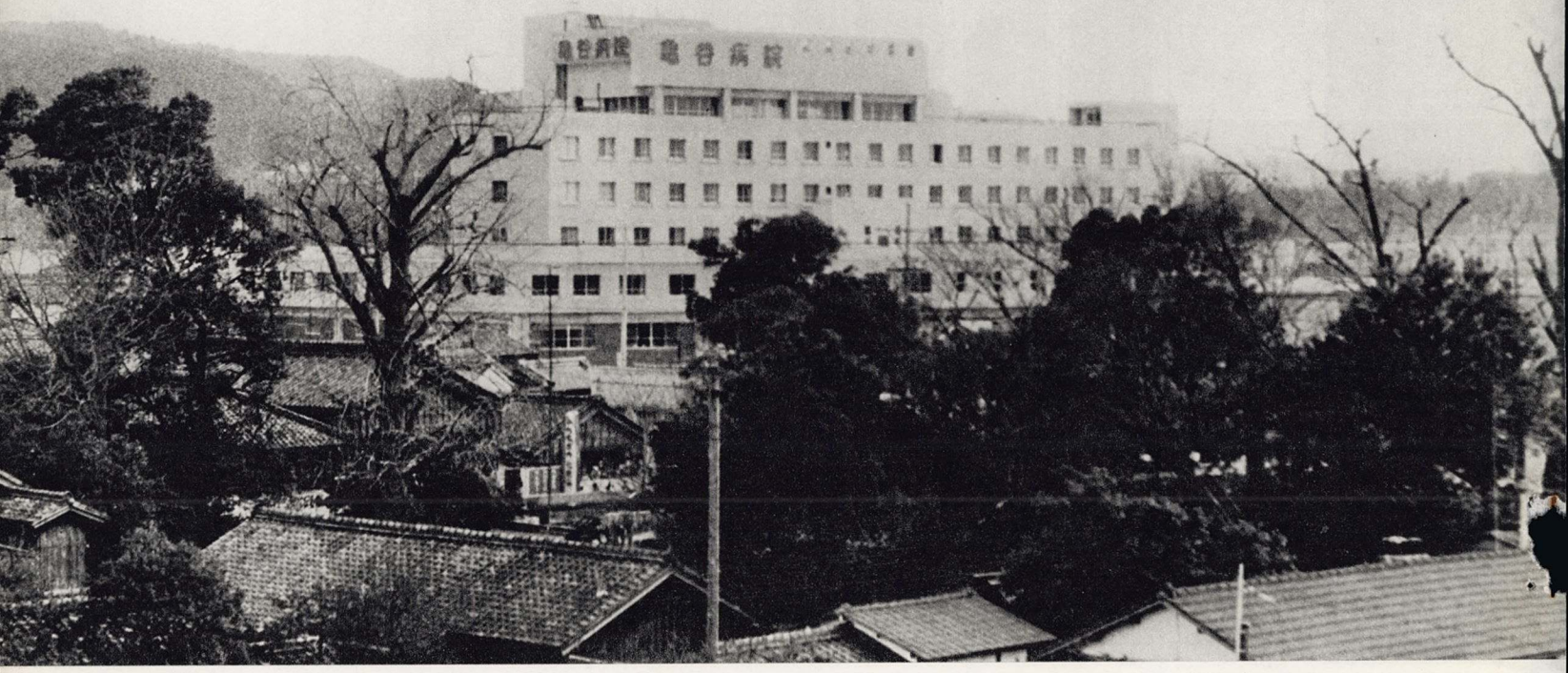


名古屋大林ビル

所 在 地　名古屋市東区
武平町４丁目３番地
建築面積　682.08m²
延 面 積　4,978.40m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、６Ｆ、Ｐ２
工　　期　昭和42年９月～昭和43年９月

設計施工　株式会社　**大林組**

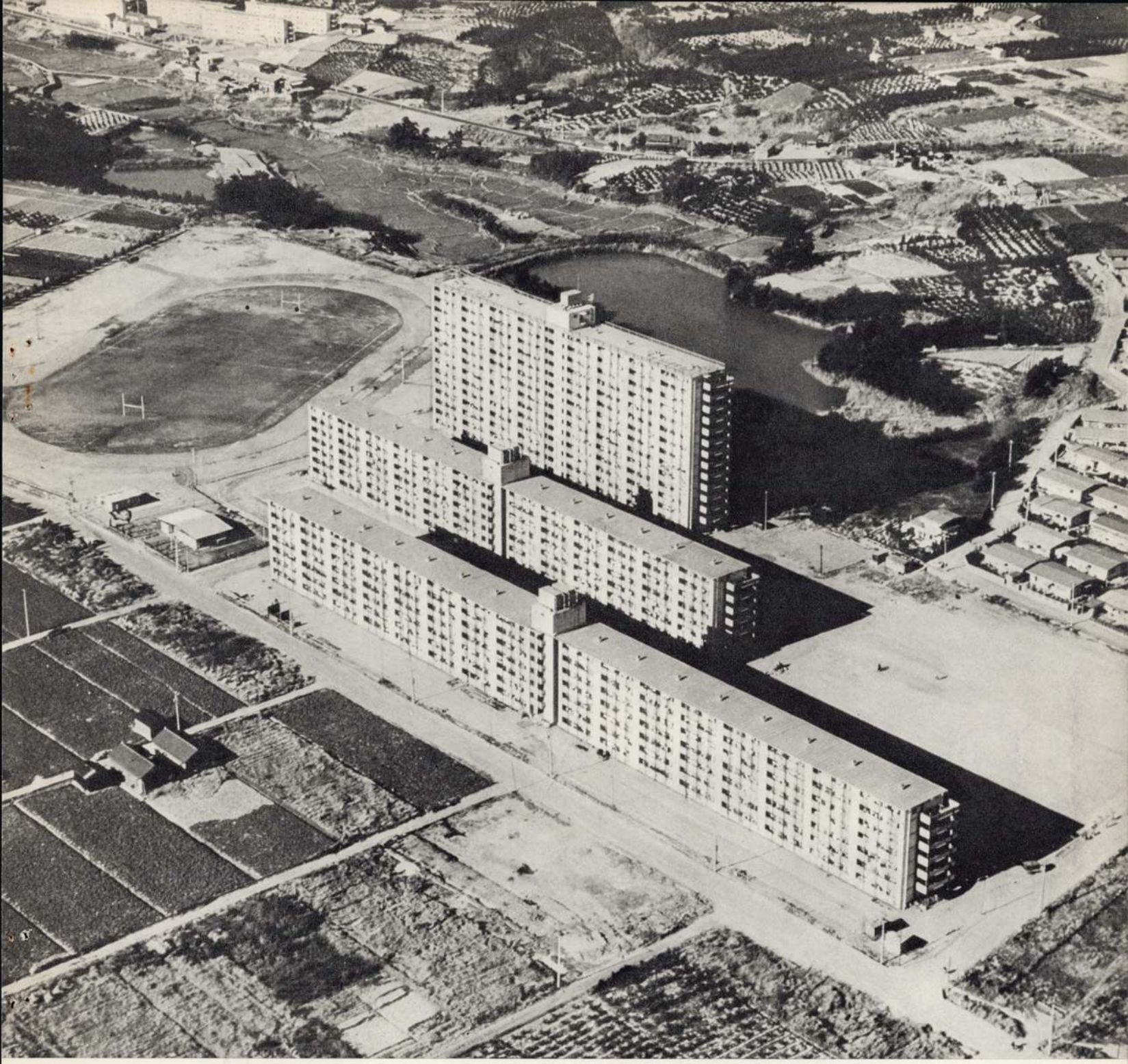




亀谷病院

施　工　株式会社　**奥村組名古屋支店**

設　計	小川健比子建築設計研究所
所在地	三重県伊勢市常盤町３９５
建築面積	1,830㎡
延面積	新築部分 7,380㎡
	改装部分 1,800㎡
構造規模	ＲＣ造、Ｂ１、７Ｆ、Ｐ１
工　期	昭和42年２月～昭和43年５月

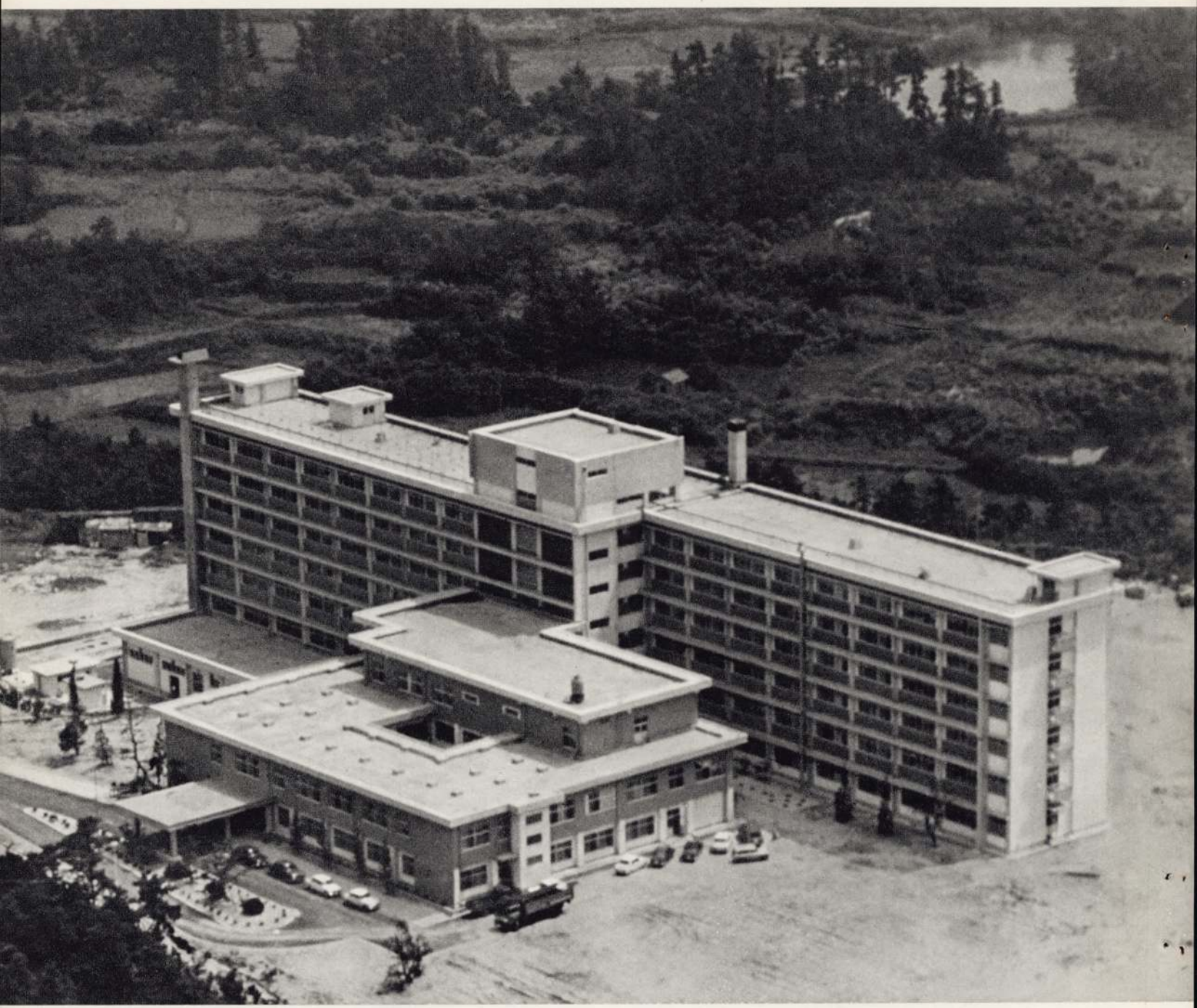


富士製鉄上野台H.Pアパート

所在地	愛知県知多郡上野町			
		A棟7F	B棟7F	C棟14F
建築面積	合計 4,144㎡	1,799㎡	1,376㎡	969㎡
延面積	合計29,706㎡	10,725㎡	8,084㎡	10,870㎡
戸数		224戸	168戸	224戸
構造規模	SRC、H.P工法、7F2棟、14F1棟			
工期	昭和42年12月～昭和43年10月			

設計　鹿島建設株式会社設計部

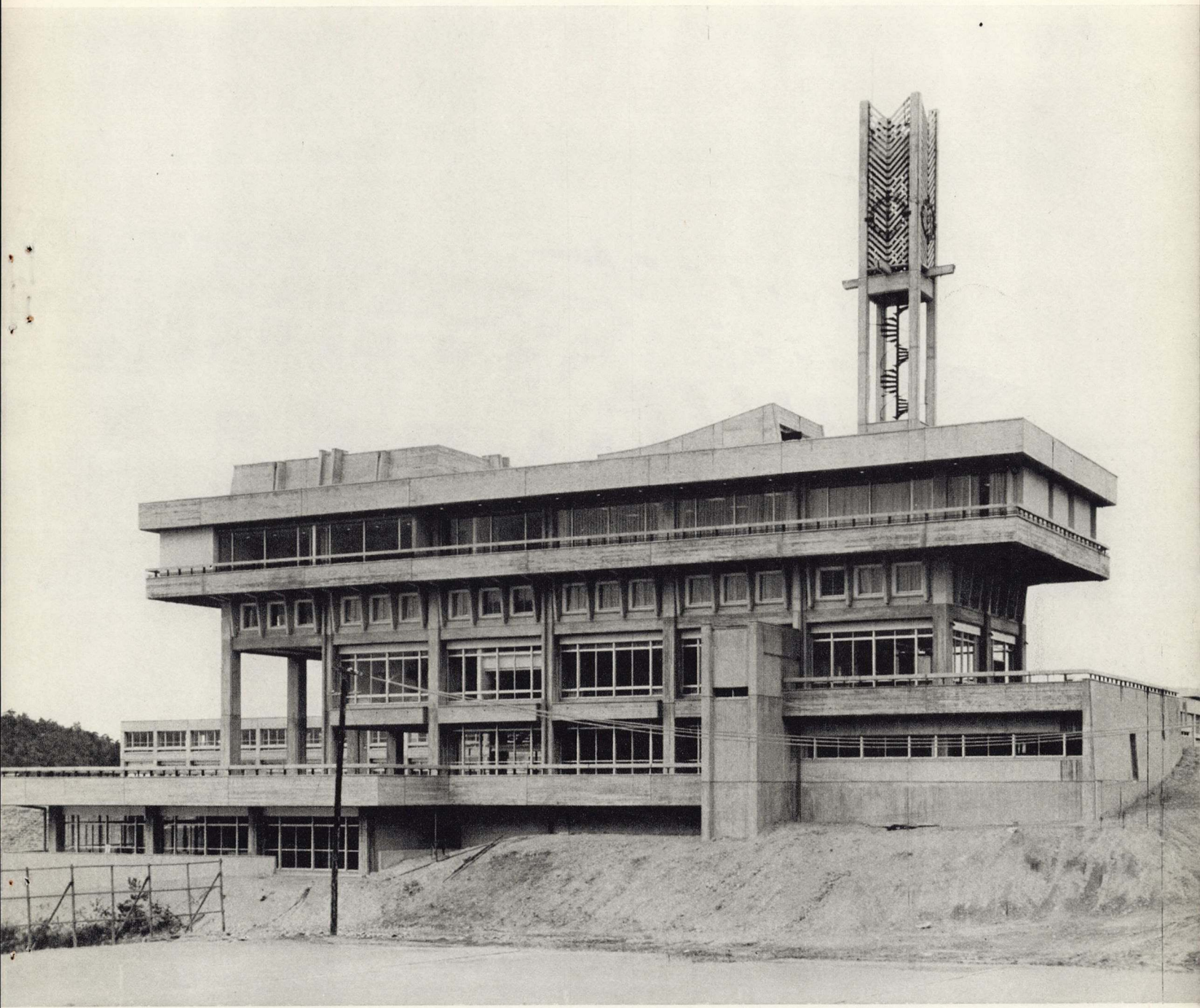
施工　鹿島建設株式会社名古屋支店



国立療養所　中部病院

施　工　佐藤工業株式会社名古屋支店

設　計	厚生省医務局整備課
所在地	愛知県知多郡大府町
建築面積	3,698㎡
延面積	15,437㎡
構造規模	RC造、B1、6F他
工　期	昭和41年2月～昭和43年7月

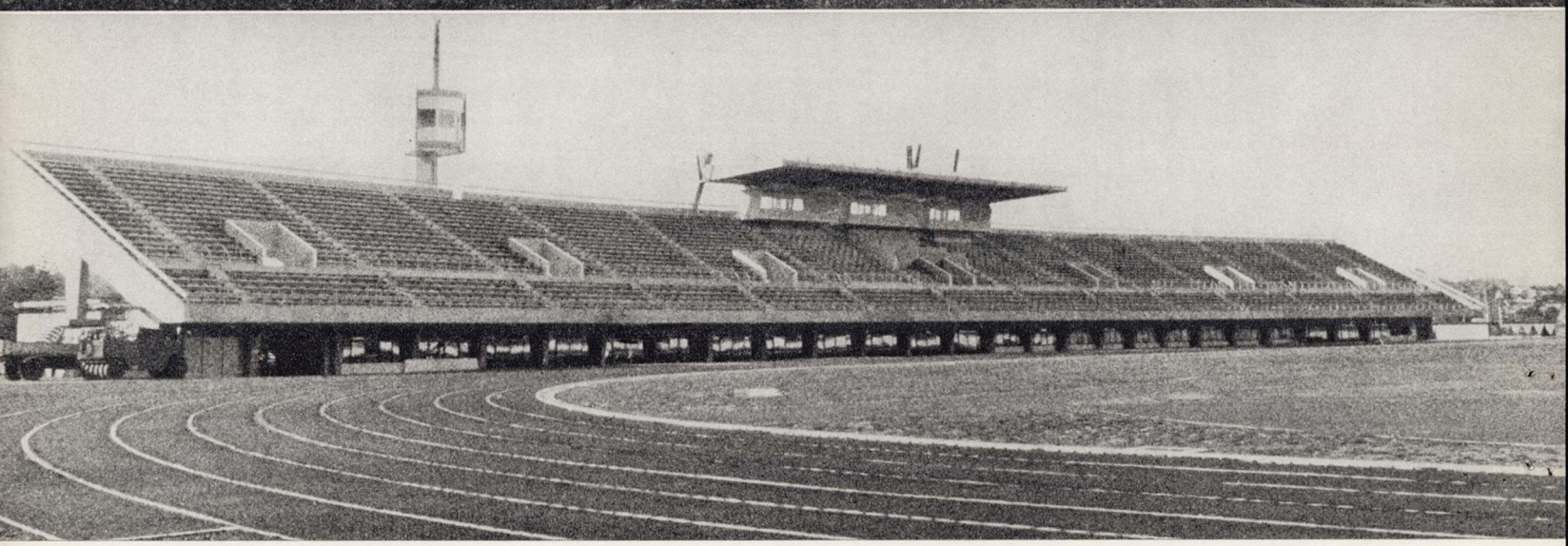


愛知工業大学工学部本部棟

所在地	愛知県豊田市大字八草
建築面積	899.50m²
延面積	2869.60m²
構造規模	RC造、B1 4F
竣工	昭和43年1月

設計施工　清水建設株式会社名古屋支店





三重県陸上競技場

施　工　大成建設株式会社名古屋支店

設　　計	村田政真建築設計事務所
所 在 地	三重県伊勢市宇治館町
建築面積	3272 50㎡
延 面 積	2909 00㎡
構造規模	メインスタンドＲＣ造３Ｆ建 延 600㎡、トラックフィール ド造成、芝生スタンド造成
工　　期	昭和42年９月～昭和43年11月



長島熱帯植物園

所在地	三重県桑名郡長島町大字福吉
建築面積	13,683㎡
延面積	13,683㎡
構造規模	S造、1F
工期	昭和43年2月～昭和43年7月

設計施工　株式会社　**竹中工務店名古屋支店**



静岡大学図書館

施　工　飛島建設株式会社名古屋支店

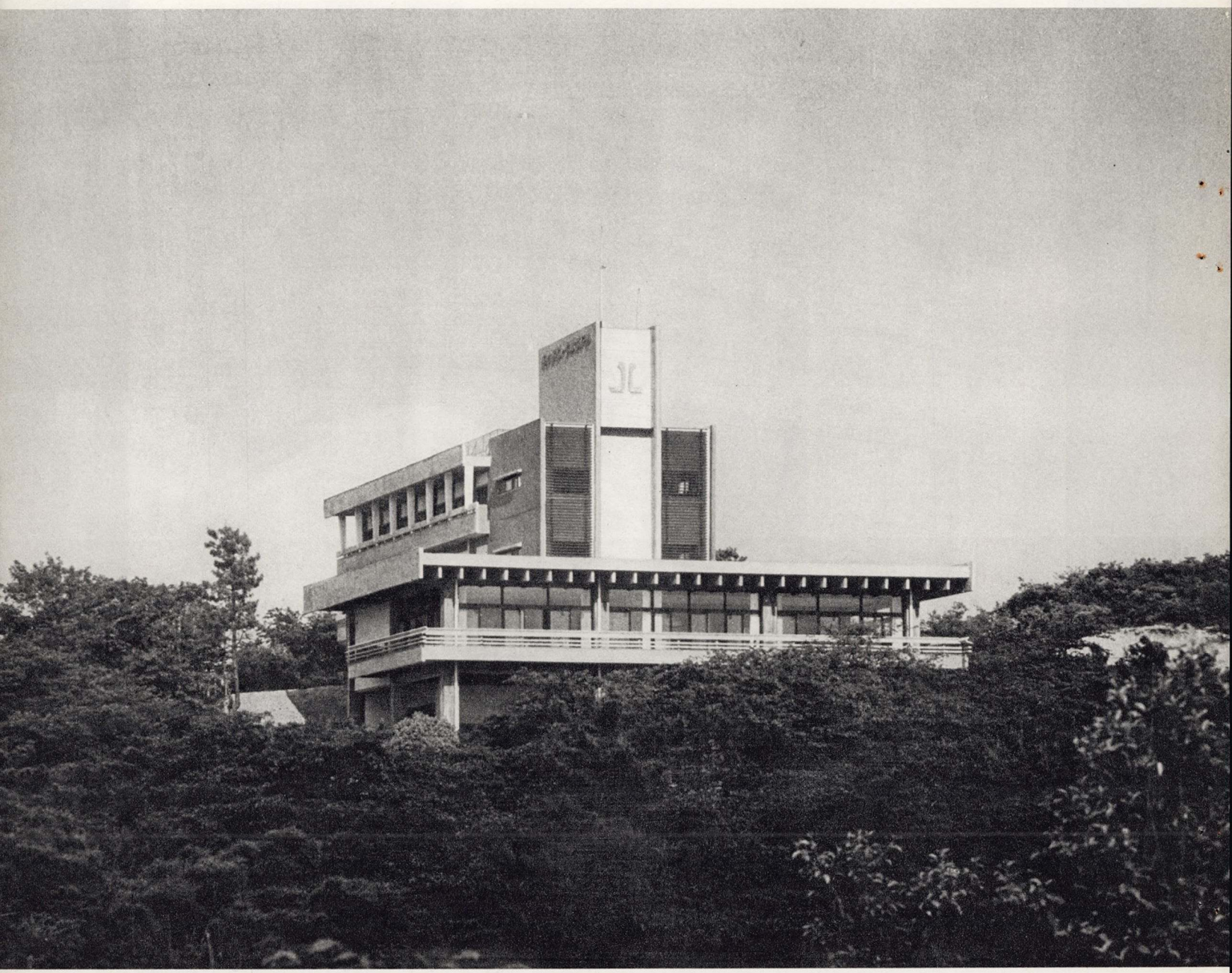
設　計	文部省管理局教育施設部工営課
所在地	静岡市大谷836
建築面積	1160.93m²
延面積	4,535.08m²
構造規模	RC造、5F、P1
工　期	昭和42年9月～昭和43年3月



豊橋中小企業会館

設　計　名古路建築設計事務所
所在地　豊橋市花田町石塚４２－１
建築面積　495.20㎡
延面積　2.796.71㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、６Ｆ、Ｐ１
工　期　昭和42年２月～昭和43年３月

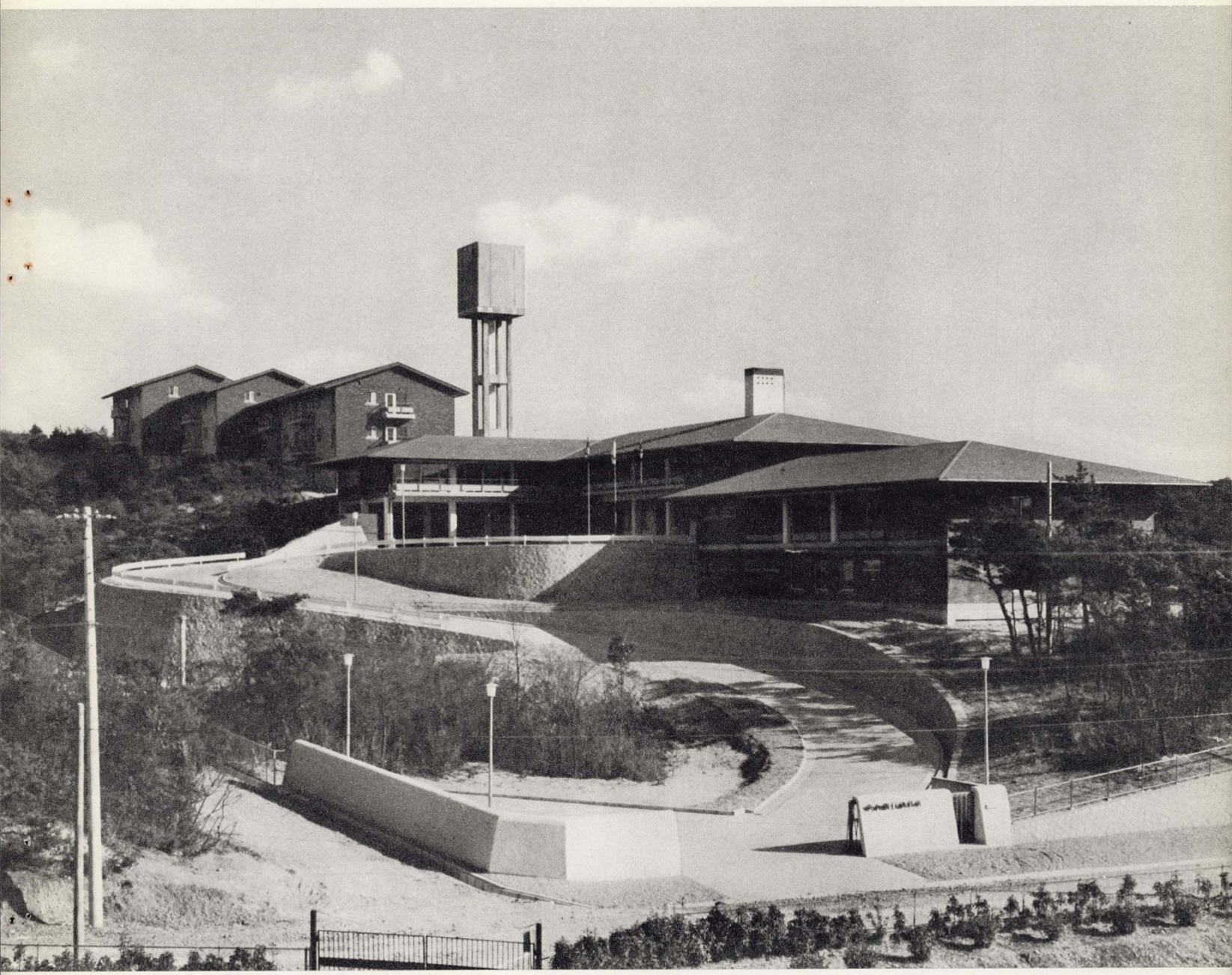
施　工　株式会社　間　組名古屋支店



市立 名古屋ユースホステル

設　計　株式会社　大阪建築事務所

設　計	名古屋市建築局営繕課 ㈱大阪建築事務所名古屋支所
監　理	名古屋市建築局営繕課
施　工	株式会社松村組名古屋支店
所在地	名古屋市千種区田代町
建築面積	639.4㎡
延面積	1,212.6㎡
構造規模	ＲＣ造、３Ｆ 一部Ｂ１、Ｐ１
工　期	昭和42年８月～昭和43年３月



東海銀行研修所

設　計　**日建設計工務株式会社名古屋事務所**

施　　工　株式会社竹中工務店名古屋支店
所 在 地　名古屋市千種区
　　東山元町4丁目75番地
建築面積　1,987.467㎡
延 面 積　3,765.673㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、２Ｆ
工　　期　昭和41年３月～昭和43年１月



サントリー株式会社 木曽川工場

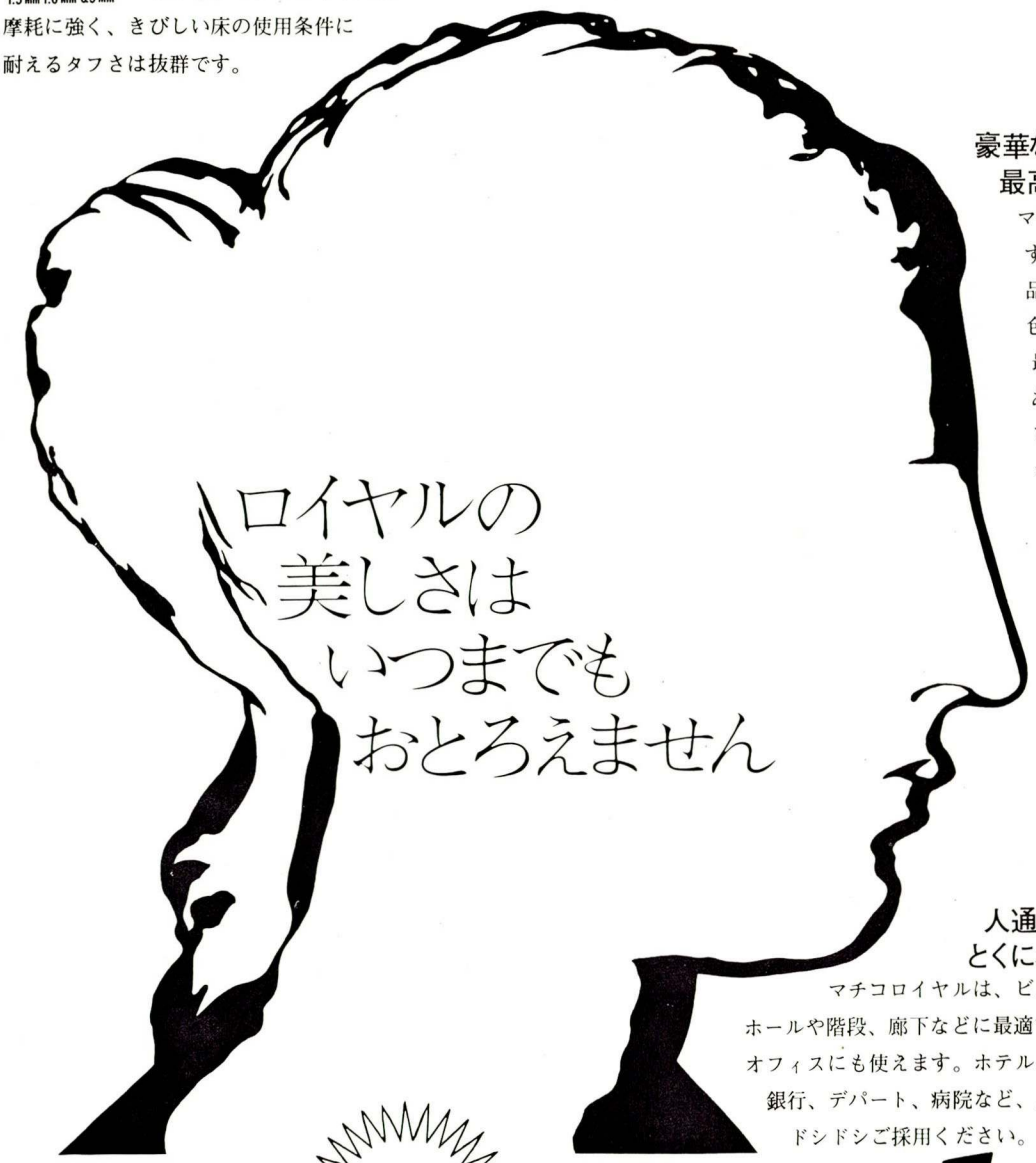
設　計　安井建築設計事務所

施　計	東海興業株式会社
所在地	愛知県犬山市字羽黒新田
建築面積	4,949.66㎡
延面積	5,487.80㎡
構造規模	SRC、平家建一部中2階
工　期	昭和42年9月～昭和43年4月

いつまでも変わらない美しいロイヤルパターン



すばらしい立体感をもつ絵模様、ロイヤルパターン。
その、美しい気品ある絵柄は、0.5mm……1.0mm……
1.5mm……、どこまでいっても消えません。
しかも、マチコロイヤルは
摩耗に強く、きびしい床の使用条件に
耐えるタフさは抜群です。



ロイヤルの美しさはいつまでもおとろえません

豪華な雰囲気をただよわせる最高級の床タイル

マチコロイヤルは、良い材料をすぐれた技術で加工、いっそう品質を高めた最高傑作です。色は、インテリアデザイナーが最も使いやすいようにまとめあげた6色。明度・彩度ともひかえ目。高級タイルにふさわしいエレガントな味をだしています。ロイヤルを敷きつめたフロアは、まさに“ロイヤルルーム”の風格です。

人通りのはげしい場所にはとくにおすすめします。

マチコロイヤルは、ビルのエレベーターホールや階段、廊下などに最適です。もちろん、オフィスにも使えます。ホテル、レストラン、喫茶店、銀行、デパート、病院など、人の集まる場所にはドシドシご採用ください。

ARCHITECTURAL FLOOR TILE
BY TOYO LINOLEUM

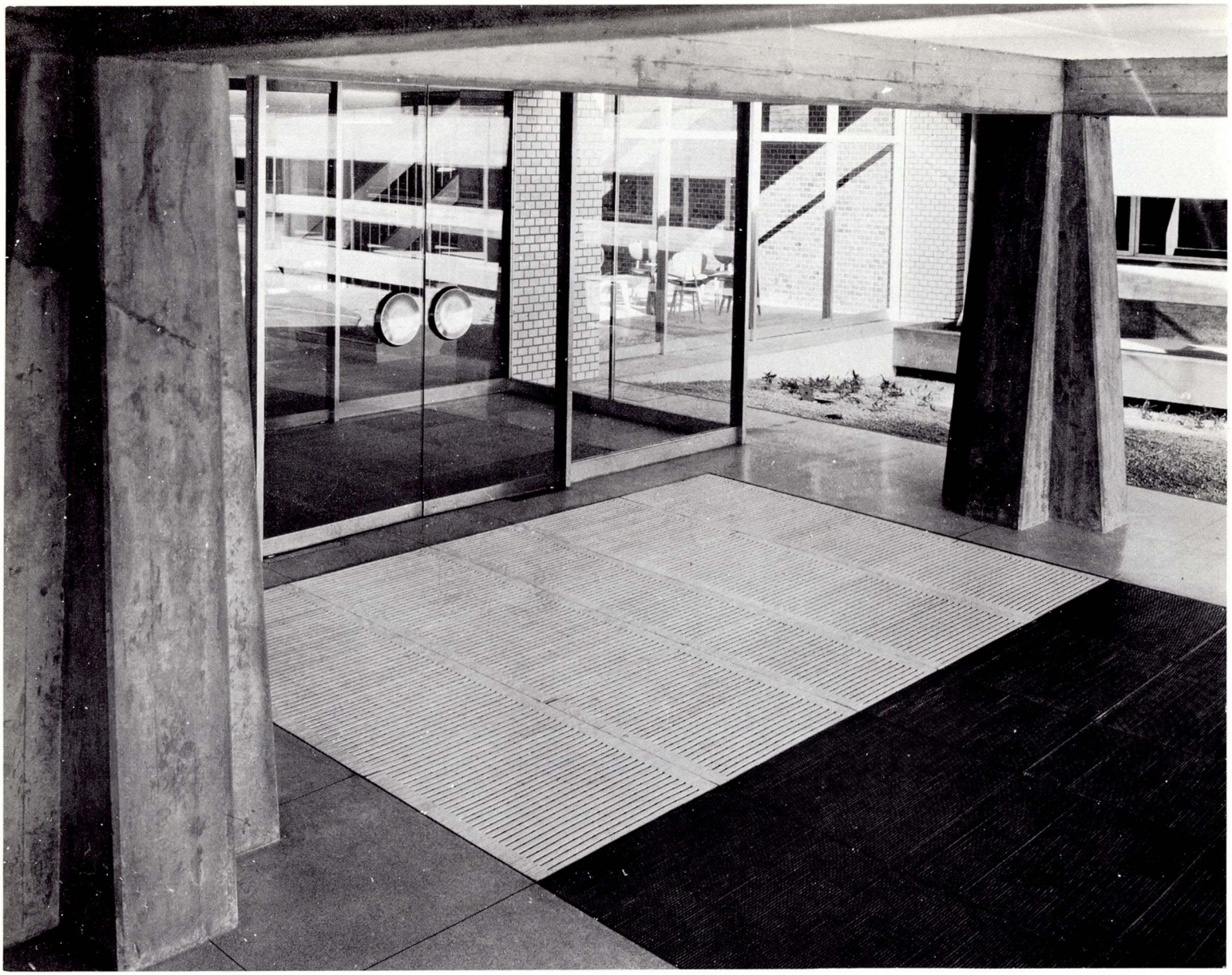
新発売

MATICO Royal

床材の総合メーカー

東洋リノリユーム株式会社

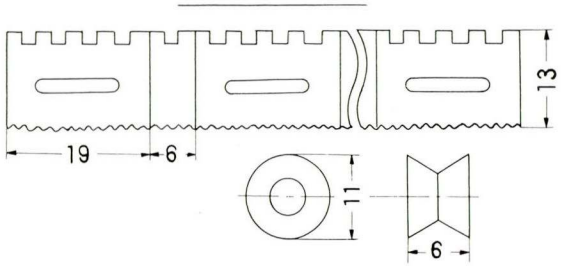
本　社／大阪市南区順慶町通り4－25(順慶町三和ビル)〒542　☎(06)252－2921代
東　京／東京都港区芝琴平町33(琴平町東洋ビル)〒105　☎(03)503－3021代
名古屋／名古屋市中区錦2－2－13(名古屋センタービル)〒460　☎(052)211－5458代
福　岡／福岡市大手門1－4－12　〒812　☎(092)75－0425



各種玄関マット設計製作　ミヅシマ

ストレートラインアット
（ビニール）

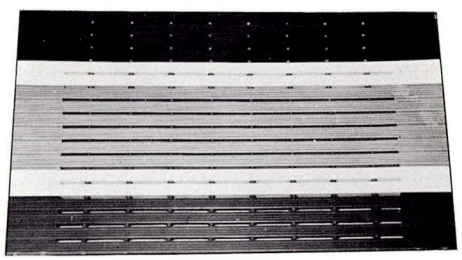
断面詳細図



ハイセンスを
しこう！

グッドデザインを
選ぼう

●PAT.NO.748401



ミヅシマ

おそうじ百貨
ミヅシマ工業株式会社

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　TEL（531）7571～4
本社工場／京都市南区久世築山町 380の2　TEL（921）6361～3

〈営業所〉
東　京／TEL（667）8844（代）
名古屋／TEL（911）4306～7
京都第1／TEL（221）5363・0214
京都第2／TEL（312）6051
大　阪／TEL（531）7571～4
福　岡／TEL（27）2331・2351



倉敷レイヨン中央研究所

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

特　徴

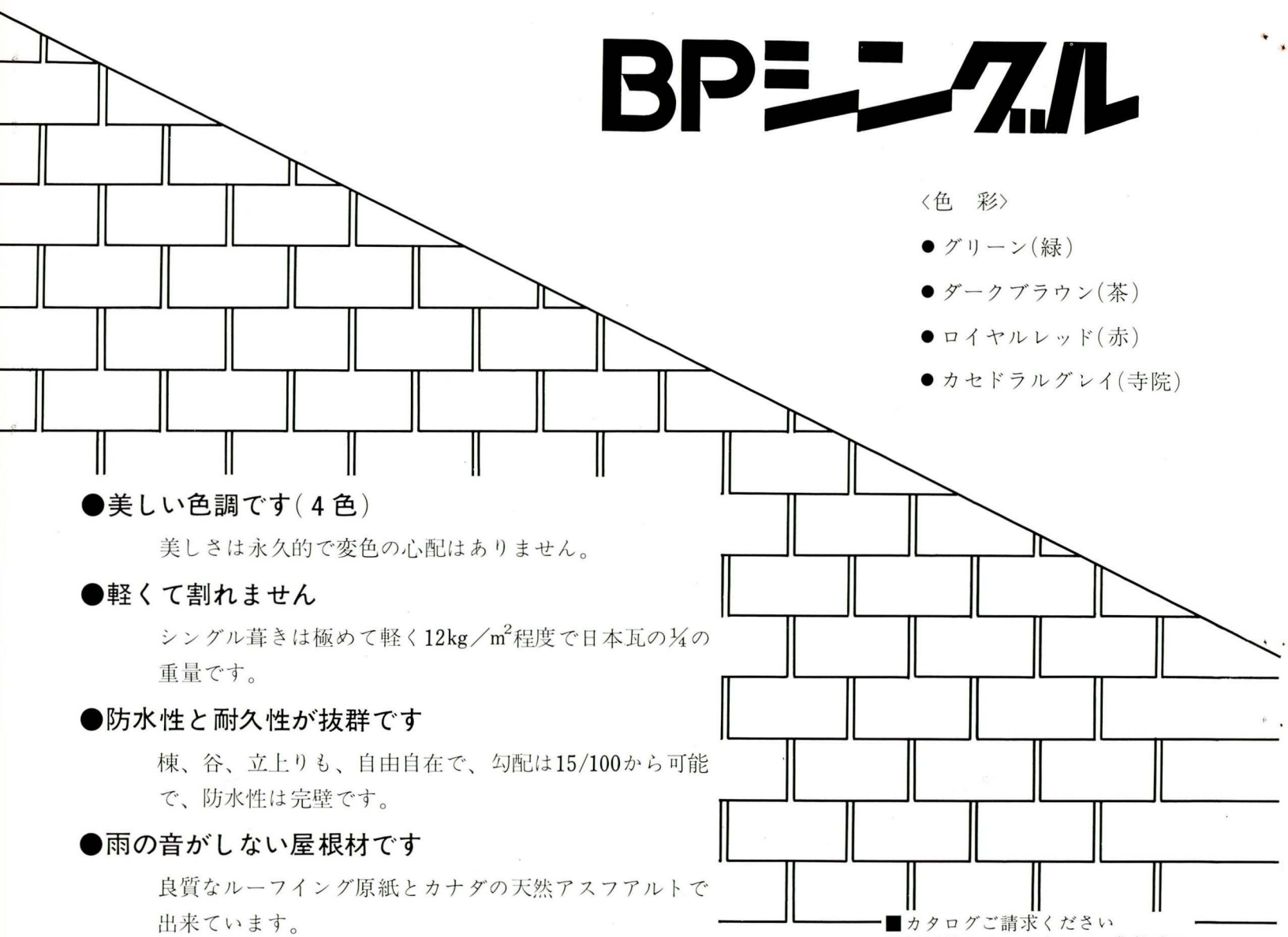
●色　彩	高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
●防水性	通気性、防水皮膜を形成します。
●耐薬品性	弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
●耐寒性	－20℃に4時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
●下　地	コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc. 鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。

山本窯業化工株式会社

本社・工場／大阪府摂津市別府３６５　TEL大阪(381)9131～5
東京出張所／東京都港区西新橋２－２１－６　TEL東京(431)7106～7
仙台出張所／仙台市堤通り３０　TEL仙台(23)1927
瀬戸工場／愛知県瀬戸市大字山口字南山１３８

雨にもまけず
風にもまけず
色も変らぬ美しい屋根材

BPシングル



〈色　彩〉

- グリーン(緑)
- ダークブラウン(茶)
- ロイヤルレッド(赤)
- カセドラルグレイ(寺院)

●美しい色調です(４色)

美しさは永久的で変色の心配はありません。

●軽くて割れません

シングル葺きは極めて軽く12kg／m^2程度で日本瓦の¼の重量です。

●防水性と耐久性が抜群です

棟、谷、立上りも、自由自在で、勾配は15/100から可能で、防水性は完璧です。

●雨の音がしない屋根材です

良質なルーフイング原紙とカナダの天然アスファルトで出来ています。

■カタログご請求ください
■類以品がありますので、御注文はＢＰシングルと御指定願います

マルエスルーフィング・ビニエスタイル"ＳＰ"製造元

日新工業株式会社

日新工業

本　　社：東京都足立区千住東２－２１－２８　ＴＥＬ（882）大代2424
大阪支店：大阪市西区新町北通１－１８　ＴＥＬ（531）代５２８１
名古屋出張所：名古屋市千種区千種通２－19(岐阜正ビル)　ＴＥＬ（741）6257～８
広島出張所：広島市八丁堀１２－１６(ＳＹビル)　ＴＥＬ(21)1019・6061
九州出張所：福岡市大手門１－１６－１４　ＴＥＬ(74)3461～3

完全責任施工 | 年限保証

BK 日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法(特許出願中)
■メルタン防水工法

■全国に配置された組合員の強力な連繋と技術で完全な施工工事をお引受けいたします。

地区別	会社名	代表者	住所	電話
北海道地区	日本スレート株式会社	滝山米太郎	札幌市北三条東4－1	(22) 3458・4426
	日新建工(株)札幌出張所	大木　久俊	〃　大通り西13丁目	(22) 5015
東北地区	日新建工(株)仙台支店	滝沢　利泰	仙台市二日町1－2	(25) 5431代
関東地区	伊藤建材株式会社	伊藤　豊吉	東京都台東区西浅草2－15－9	(842) 1431代
	春日工業株式会社	春日　留吉	〃　荒川区東日暮里3－33－5	(802) 3871代
	有限会社金岡興業	金岡辰次郎	〃　新宿区柏木5－1172	(363) 4341代
	木下工業株式会社	木下　一	〃　墨田区江東橋4－11－15東亜ビル	(634) 0821代
	協立工業株式会社	関谷　克己	〃　大田区南蒲田1－14－2	(731) 0358
	日新建工株式会社	山下　直衛	〃　荒川区南千住6－48－19	(803) 2411代
	日本綜合防水株式会社	山崎　慎二	〃　渋谷区千駄谷4－20	(403) 0171代
	野口工材株式会社	坂田　正博	〃　渋谷区広尾1－14－3	(441) 3751・(444) 0405
	鶺田工業株式会社	鶺田　武	〃　千代田区富士見町1－6－13	(263) 4861代
	藤井工業株式会社	藤井　喜昌	〃　文京区千石4－37－4	(941) 0271・2582
	富士工材株式会社	小鳥　英夫	〃　江東区深川住吉町1－14	(634) 0161代
	藤瀝青興業株式会社	藤平　八郎	〃　中野区中野1－55－7	(362) 5697・(369) 5697
	北条瀝青工業株式会社	北条　弘太	〃　中央区湊町3－7	(551) 2676・4382
	マサル瀝青工業株式会社	西田　勝治	〃　台東区北上野2－21－10	(842) 6311代
	大和工業株式会社	楡井　喜重	〃　荒川区南千住5－5－10	(802) 4751代
	瀝青建材株式会社	山中喜代治	〃　千代田区神田佐久間河岸51号	(861) 2706－8
	石田建材工業株式会社	石田　想吉	高崎市八島町117	(22) 3301－3
	同和建業株式会社	徳永　昭二	新潟市万代5－12－2	(45) 2251代
	株式会社奈良屋商店	市橋　裕造	水戸市泉町1－6－26	(31) 0171代
北陸地区	石橋建材株式会社	石橋　節雄	福井市宝永2－9－13	(23) 0775
	有限会社折橋政次郎商店	折橋彌一郎	富山県高岡市二番町76	(22) 0999
	有限会社小島工業所	小島　一公	〃　〃　京町11－15	(23) 0391
	島屋建設株式会社	島　勝人	金沢市増泉町二46	(42) 5151
東海地区	協和建材工業株式会社	渡辺　亘	清水市渋川520	(2) 2221代
	中央建材工業株式会社	木下　作二	名古屋市中区南久屋町3－12	(251) 3541代
	東京建材工業株式会社	伊藤　鎮善	〃　中村区稲上町1－41	(481) 5621代
	日本建材鋼業株式会社	伊藤　隆造	〃　西区南押切町5－12	(571) 5541－4
	株式会社三井工業所	三井　辰雄	静岡市大和町1－20	(85) 9151－3
	宮崎建材	宮崎　勇	名古屋市中区伊勢山町100	(331) 1531・(321) 8053
近畿地区	清水興業株式会社	清水　実	大阪市北区鶴野町34	(372) 0250－3
	棚田建材有限会社	棚田　秀吉	神戸市葺合区上筒井通8－221	(22) 9182代
	中村瀝青工業株式会社	中村秋太郎	〃　生田区海岸通り4－16	(34) 5884・(34) 1223
	日新工材株式会社	井場　綉	大阪市西区新町北通1－17	(541) 3785－6
	マサル瀝青工業(株)大阪営業所	勝見　勲	大阪市北区神山町41三笠屋ビル	(313) 3817－9
	マルエス工業株式会社	山崎　達夫	大阪市福島区上福島南1－152	(458) 4841－3
	フタバ興業株式会社	友長　保男	〃　大淀区大淀町中3－13－25	(458) 7431－3
中国地区	株式会社三洋技建	谷岡　肇	広島県大竹市立戸4－1－47	(2) 5155代
	東中国防水工業有限会社	馬場　久	岡山市磨屋町7－18	(23) 1181代
	豊永建材株式会社	木村　豊	広島市若草町1065	(61) 6371－3
	大和工業(株)広島出張所	松岡　定雄	〃　庚午南1－3－11	(71) 4687
四国地区	大三工業株式会社	飯間　浅吉	高松市本町2－17	(51) 6811－5
	大三工業(株)高知支店	岸　岩男	高知市桟橋通り3－108－2	(83) 7328－9
	徳島大三工業株式会社	柴田　秋男	徳島市北矢三町1－2－61	(54) 4161代
	株式会社マルマス河野商店	河野　通昭	愛媛県今治市共栄町4－5－2	(2) 5000代
	株式会社山本商会	山本　進	松山市三番町7－8－1山本ビル	(31) 6261－3
九州地区	安藤工事株式会社	川勝　正之	福岡市大博町8－5	(28) 5207－9
	株式会社北原建材商会	北原　正	鹿児島市草牟田町3980	(3) 9395－6
	株式会社工材社	竹村　藤一	北九州市門司区大里東通10丁目	(38) 1468－9
	株式会社大二商会	戸高　藤雄	宮崎市和知川原365	(2) 5001
	日建工材株式会社	進藤　博一	福岡市大手門2－8－6	(74) 3548・(77) 5507
	日新興業株式会社	河野　孝義	宮崎県延岡市本小路74	4305・4306

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2－21－28　日新工業株式会社内　電話（882）2424（代）
関東支部　東京都足立区千住東2－21－28　日新工業株式会社内　電話(882)2424(代)
関西支部　大阪市西区新町北通1－18 日新工業株式会社大阪支店内 電話(531)5281～3
九州支部　福岡市大手門1－6　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）3461

アスファルト防水の材料と工事は

社団法人 日本アスファルト同業会

本　部　東京都中央区八重洲1－3　TEL（271）2208 〒103
関東支部　同　上
関西支部　大阪市西区江戸堀 1－101　TEL（441）8531 〒550
九州支部　長崎市大橋町2 3 － 5　TEL（44） 1098 〒852

関西支部会員（業別五十音順）

——製　造　業——		
アオイ化学工業株式会社	広島県安佐郡安古市町下相田	(08287)7-1341・〒731－01
協和建材株式会社	大阪市東淀川区田川通5－91	(301) 6437 〒532
株式会社　工英社	大阪市西成区橘通9－24	(661) 8861 〒557
株式会社　工盛社	大阪市城東区西鴫野6－43	(961) 4460 〒536
昭和石油アスファルト㈱大阪営業所	大阪市北区梅田町27　産経ビル	(341) 6395 〒530
新関西化工株式会社	堺市浜寺船尾町東4－270	堺(61)1788 〒592
田島応用化工㈱大阪営業所	大阪市西区京町堀1－74	(441) 5951 〒550
東亜工業株式会社	八尾市南太子堂6－4－27	(0729)(3)3921 〒581
七王工業株式会社	善通寺市善通寺町240	(善通寺)(2)950 〒765
日瀝化学工業㈱大阪支店	大阪市東淀川区堀上通3－39	(392) 0051 〒532
日瀝化学工業㈱名古屋支店	名古屋市港区南11－2－6	(661) 8251 〒455
日新工業㈱大阪支店	大阪市西区新町北通1－18	(531) 5281 〒550
三島工業株式会社	伊予三島市宮川1－8－25	(3) 4420 〒799-04
——販　売　業——		
朝日瀝青㈱大阪支店	大阪市西区南堀江大通5－15	(538) 2731 〒550
梅本石油株式会社	大阪市西区新町北通1－17（イサオビル）	(531) 9064 〒550
大阪丸油株式会社	大阪市福島区鷺洲本通1－48	(451) 7601 〒553
川崎物産㈱大阪営業所	大阪市北区堂島浜通1－25	(344) 6651 〒530
中西瀝青㈱大阪営業所	大阪市北区老松町2－7	(364) 4305 〒530
中西瀝青㈱名古屋営業所	名古屋市中区錦1－20－6	(211) 5011 〒460
日本建設興業株式会社	大阪市西区南堀江通1－30	(531) 3441 〒550
富士アスファルト販売株式会社	大阪市西区京町堀3－20	(441) 5195 〒550
前田商店	大阪市西区土佐堀通5－64	(441) 5223 〒550
村井工業所	大阪市生野田島町4－94	(757) 1725 〒544
山文商事株式会社	大阪市西区土佐堀通1－13	(443) 1131 〒550
株式会社　淀見	大阪市住吉区御崎町3－166	(685) 0331 〒540
——工　事　業——		
青盛建材株式会社	広島市鉄砲町5－16	(21)2281 〒730
麻田建材株式会社	大阪市天王寺区茶臼山町6	(771) 6417 〒543
旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	(371) 6555 〒530
池田瀝青工業株式会社	大阪市天王寺区真法院町93	(771) 3827 〒543
有限会社　伊東工業所	徳島市昭和町1－9	(2) 6880 〒770
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1－13	(51)5353 〒652
株式会社　井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀1－101	(441) 8531 〒550
有限会社　小野甚商店	岡山市内山下30－10	(25) 4868 〒700
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(371) 1333 〒530
大芝建材株式会社	和歌山県東牟婁郡古座町	古座局88 〒649－41
大島応用化学工業株式会社	東大阪市新庄114	大阪 (782)4171 〒578

アスファルト防水の材料と工事は

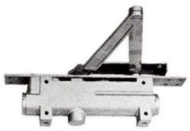
太田建材株式会社	三重県四日市追分１－８－１６	(45) 0531	〒510
岡田建材株式会社	名古屋市西区桜木町３－８	(571) 7461	〒451
株式会社　カナヱ商会	大阪市北区空心町１－４０	(352) 3412	〒530
桂　商　会	大阪市東住吉区西今川町６－４１	(702) 9305	〒546
株式会社　神原商店	守口市大庭町２－３１	(993)1443・1282	〒570
株式会社　木下謹三商店	大阪市西区江戸堀５－５	(443) 0115	〒550
共栄瀝青工業株式会社	大阪市東区船越町２－３４	(941) 5561	〒557
株式会社　久保商店	大阪市北区真砂町５	(364) 0206	〒530
坂口興業株式会社	大阪市北区神山町２６	(312) 1118	〒553
三信工業所	神戸市兵庫区神田町４３９	(36) 1071	〒652
島崎興業所	大阪市北区西扇町 扇町ビル	(313) 3776	〒530
清水興業株式会社	大阪市北区鶴野町３４	(372) 0251	〒530
城南建材株式会社	東大阪市森河内東１－17－１	(783) 1533	〒577
正和商事株式会社	松山市一番町３－３２５	(2) 8161	〒790
関本建材株式会社	高槻市城北町２－１４－２６	(75) 0534	〒569
高山工業㈱大阪営業所	大阪市北区老松町２－１９　昭栄ビル	(364) 7135	〒530
大日特殊建材工業株式会社	大阪市城東区今福中２－３２	(939) 0156	〒536
株式会社　大和商会	大阪市南区宮津町４番丁７３	(631) 6221	〒542
高橋建材店	名古屋市中区丸ノ内１－１５－２４	(231) 3295	〒460
株式会社　タテバヤシ商店	京都市下京区綾大宮５６	(81) 0871	〒600
棚田建材有限会社	神戸市葺合区上筒井通８－２２	(22) 9182	〒658
千代田建材株式会社	姫路市神屋町６－２０３	(22) 4471	〒670
中央建材工業株式会社	名古屋市中区南久屋町３－１２	(251) 3541	〒460
東洋建材株式会社	京都市下京区西酢屋町１０	(371) 6080	〒600
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通６－４１	(921) 0531	〒534
東洋アスファルト工業株式会社	大阪市北区岩井町２－２０	(358) 1051	〒530
内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町１－１－３０	(641) 3434	〒545
株式会社　中出商会	神戸市兵庫区上沢通６－９	(51) 4501	〒652
中岡アスファルト工業所	大阪市城東区今津北２－１４	(961) 7034	〒536
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区海岸通４－１６	(34) 5884	〒650
日建工業株式会社	神戸市垂水区宮本町１－３４	(77) 2170	〒655
日建瀝青工業株式会社	神戸市兵庫区水木通８－５	(56) 0505	〒652
日新工材株式会社	大阪市西区新町北通１－１７	(541) 3785	〒550
日東物産株式会社	名古屋市中区東瓦町３９	(261) 2501	〒460
日本瀝青工業㈱大阪支店	大阪市東淀川区元今里北通５－１６	(309) 4701	〒541
日本瀝青工業㈱名古屋支店	名古屋市東区矢田町１０－３６	(711) 3321	〒461
株式会社　浜原豊商店	尾道市新浜１－３－４	(23) 2706	〒722
フタバ興業株式会社	大阪市大淀区大淀町中３－13－25	(458) 7431	〒531
株式会社　双葉商会	大阪市東淀川区木川西之町１－10－1	(301) 385	〒532
古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町２－３０－５	(61) 5034	〒760
マサル瀝青工業㈱大阪営業所	大阪市北区神山町４１	(313) 3817	〒530
マルエス工業株式会社	大阪市福島区上福島南１－１５２	(458) 4841	〒553
丸藤商店	大阪市北区天神橋筋２－１	(351) 0308	〒530
三星産業㈱大阪出張所	大阪市西区京町堀１－7 4	(443) 9721	〒550
株式会社　名建商会	名古屋市中区宮出町４１－２	(261) 3671	〒460
谷中建材工業株式会社	京都市下京区西七条掛越町５４	(313) 5401	〒600
山田善次郎商店	大阪市旭区生江町１－４	(922) 0495	〒535
横井商店	西宮市今津曙町１３－１０	(33) 5613	〒662
横山商会	大阪市大淀区大淀町中１－１	(451) 4905	〒531

――賛助会員――

丸善石油株式会社	大阪市南区長堀橋筋１－３	(271) 1251	〒542

NEW★STAR

NEW★STAR



ドアチェック 60シリーズ



ドアチェック 70シリーズ



ドアチェック 80シリーズ



フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピポットヒンジ
ドアハンドル

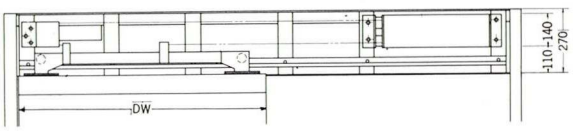


✳ 品質・性能ともに定評ある

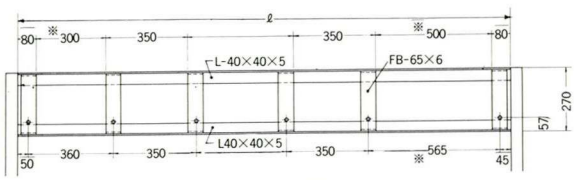
●スイング式・スライド式

ニュースタードアオペレータ

片引き戸内観図



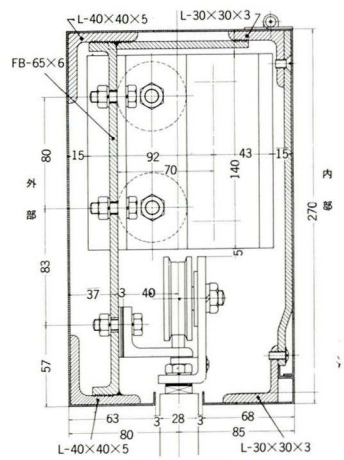
エンジン及ドア関係要領



レール取付板例図

※印寸法は守って下さい。
※印寸法NSL-4の場合は$^{535}_{600}$に変更されます。

上枠断面懸吊要領



※斜線部は客先工事分

■ニュースタースライド式ドアオペレーターの特徴

●油圧の長所と電気式の利点とを組合せた新製品です。●油圧装置がついているために閉る速度が「ゆるく」「なめらか」です。●バルブの調整で閉る速度が自由に変えられます。●閉る手前で一旦止って、その后ゆるく閉ります。●停電の場合、すぐに手で軽く開閉が出来ます。●価格が安く、別途工事がほとんどない。●取付工事、保守が非常に簡単です。

生産高日本一

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(06)(758)1251(代)
東京支店 東京都千代田区神田小川町2—12(信愛ビル) 電話(03)(293)4831～5
札幌出張所 札幌市月寒中央通り月寒314—1 電話(0122)(86)8255～6
仙台出張所 仙台市北6番丁187 電話(0222)(34)6049
名古屋出張所 名古屋市北区浪打町2—80—2 電話(052)(981)7531～3
広島出張所 広島県安佐郡佐東町緑井205 電話(08287)(7)1611
福岡出張所 福岡市天神4丁目4番24 電話(092)(74)2372・3312

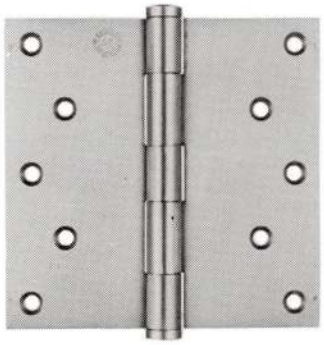


Art の製品には……

●ドアーを大切にしハウスキーパーの役目をはたす

アート ST-84（18－8ステンレス） ドアーヒンジ

RAシステム



●仕上はサテン仕上です
●ＲＡシステム（90°抜け芯装置付）です
●高精度を誇り、耐蝕性・耐熱性にすぐれ錆びたり変色したりする事はありません
●18－8ステンレス、木ネジ付きです

寸法(㎜) 全長	横巾	板厚 (㎜)	木ネジ穴の数	木ネジの太さ及び長さ φ ㎜	梱包数量 (枚)
89	89	2.5	6	4.1×25	100
102	102	2.8	8	4.1×25	100
127	102	3.0	10	4.5×32	60
127	127	3.0	10	4.5×32	60

包装・２枚木ネジ付紙函入

●丁番の取付けが簡単、作業能率の向上！

木ネジの革命 スパイラー



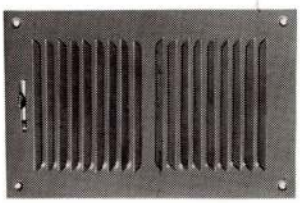
●錐でガイド（下穴）を設ける必要がない。
●全ネジ式ですから密着が良く振動のために抜けてくるようなことはない。
●釘状の部分で木部へ安定した嵌合が出来るのでドライバーの**横滑り**がなく製品を傷めずに固定出来る。
●**表面硬化**をしてあるためにネジ山の破損が少なく**反復作用**によく耐えます。
※〝アート〟のヒンジの中級品以上（ＤＲ-844. ＮＲ-64. ＳＴ-84. ＳＴ-ＳＬ-84-1）には**スパイラー**が附属されています。

●最新型ウォールレジスターセット

EWレジスター ●米国ＦＨＡ規格品

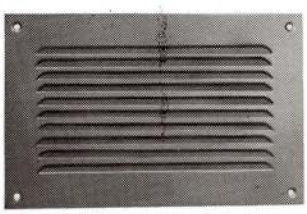
●自然換気により室内の空気はいつも爽やか。
●室内冷暖房の保温調節が容易。
●シャッター120°迄自在調節止め付。
●錆の発生、変色がなく湿度の高い所、バスルーム等にも安心して使用出来る。
●スッキリとしたデザイン中間色の落ちついた色調。
●風雨の晒す場所でも雨の吹込む心配がない。
●ソフトシートにて取付けの際のガタつきがなく、完全密着取付け施工が出来る。

レジスター No.55－R



取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦	横	表面板寸法(㎜) 縦	横
150（6″）	260（10″）	195	295
150（6″）	310（12″）	195	345
150（6″）	360（14″）	195	395

グリル No.55－G 防虫網付

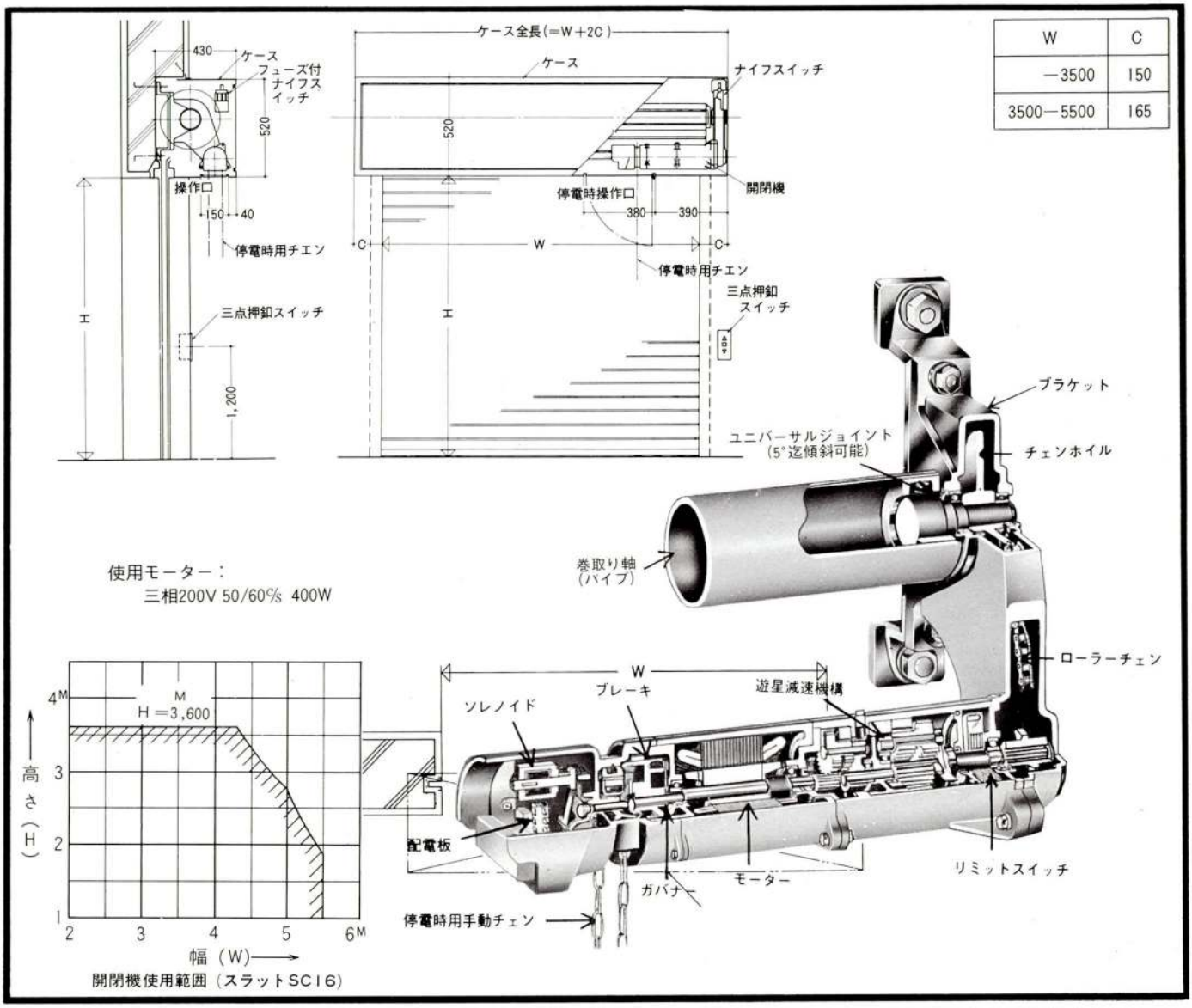


取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦	横	表面板寸法(㎜) 縦	横
150（6″）	260（10″）	195	295
150（6″）	310（12″）	195	345
150（6″）	360（14″）	195	395

※鉄筋住宅のお部屋の換気、冷暖房装置の通風口には理想的な吸入、排気のレジスター、グリルをセットして使用ください。

●JIS規格表示許可工場 住宅公団・建設省指定メーカー
永和工業株式会社
本社 大阪市生野区巽矢柄町１２８ TEL大阪(751) 1271－5
工場 東大阪市布市町５０ TEL枚岡(81) ５５６６
東京出張所 東京都千代田区外神田3-6-12 TEL東京(253) 0317－8

日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!



W	C
—3500	150
3500—5500	165

開閉機使用範囲(スラットSC16)

L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　ガバナー機構　手動機構　実用新案　巻取り軸との連結機構およびL型機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。

株式会社 日本シャッター製作所

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(代)(301)3656
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361)7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

◀建築基準法施行令一部改正の説明会ご案内

このたび、建築基準法施行令の一部が改正され、5月1日から施行されることになりました。このたびの改正は、建築技術者の業務と関係の深いものでありますので、下記により、説明会をおこないます。
多数ご聴講下さいますよう、ご案内申しあげます。

記

と　き　昭和44年4月4日㊏(金) 午後1時～4時半

ところ　**大阪中央公会堂・中集会室（3階）** 大阪市北区中ノ島

挨　拶　大阪市建築局建築部長　越田　正勝

講　師　大阪府建築部指導課長　島田　儀　— 30分 —
　　大阪市建築局建築部審査課長　竹口　信夫　— 90分 —

質疑応答　大阪府・市関係課長および係長　— 60分 —

定　員　500名（ただし定員に達した場合は入場お断りすることもありますのでお含みおきください）

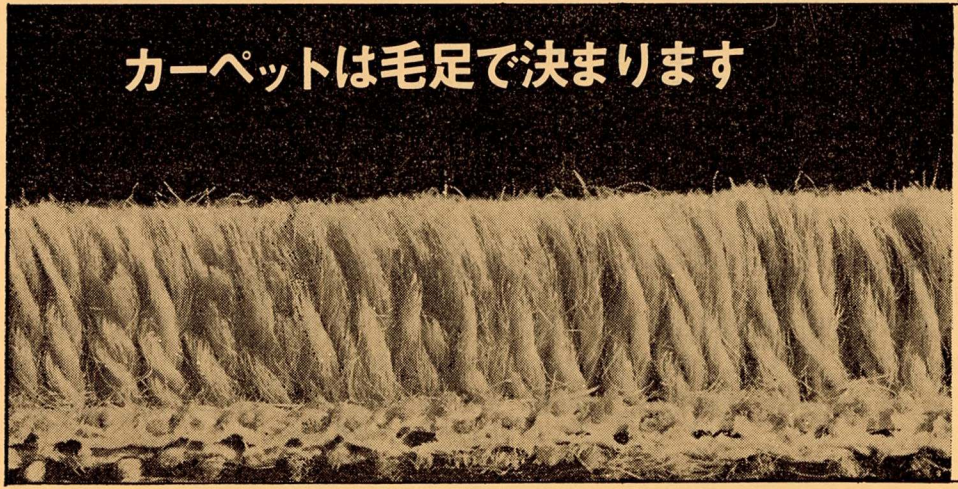
会　費　無料

テキスト　会場にて配付予定

主な改正点
（1） 屎尿浄化槽の構造基準
（2） 防火区画・避難階段の設置基準
（3） 内装制限
（4） 地下街の防火避難基準
（5） 給水管などの防火措置
（6） その他

主　催　大阪府　大阪市

協　賛
（社） 日本建築協会
（社） 大阪府建築士会
（社） 日本建築学会近畿支部
（社） 日本建築家協会関西支部
大阪建設業協会
（社） 日本建築材料協会



●すぐれた弾力性を持っています。
●まもうにも強く、耐久性は特にすぐれています。
●暖かく、すばらしいタッチが自慢です。
●パイルが密なため、ゴミがのりにくいのが特長です。
●深く落ちついたインテリアカラーも最高です。

●アクリルせんい●

エクスラン®

カーペット

日本エクスラン工業株式会社

◀神戸商工貿易センタービル新築工事見学会(第1回)

(超高層建築講演会を聴講された方々のために実地に見る工事見学会の開催)

日　時　3月27日（木）14.00（集合）→16.30（解散）

集合場所　国鉄，阪急，阪神電車三宮駅下車，海の方へ徒歩約10分，工事現場の山側，鹿島建設出張所前（目標会旗）

建築概要

所　在　地　神戸市葺合区浜辺通り５丁目２－１
建　築　主　株式会社　神戸商工貿易センター
設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　鹿島建設株式会社
敷地面積　8,534.20㎡
建築面積　1,421.665㎡
延床面積　44,357.993㎡
基準階床面積　1,345.70㎡
構　　造　ベタ基礎・地下1.2階ＲＣ造・地上１階ＳＲＣ造・２階以上Ｓ造
階　　数　地下２階・地上26階
高　　さ　ＳＧＣ＋107m
外　　装　アルミジュラクロンメタリック塗装
工　　期　着工　昭和42年11月４日→竣工　昭和44年11月10日
見学時の進捗状況　各階床コンクリート打は２月末完了・外装カーテンウオール取付中，内部コア部分間仕切工事中

定　員　30名（工事場の都合で特に人数を制限されています。）

申　込　往復はがきに限ります。氏名・勤務先名及所在地・連絡電話番号・返信用宛名を記入の上３月20日までに事業課へ，ただし定員を超過した時は抽せんにて決定し，ご通知いたします。

附　記　今回は超高層建築講演会（１，２回）の開催後の工事見学会でありますが，本会だけの単独催しとし，同じく８月中旬にも催す予定です。また本工事の完成する本年11月下旬には日本建築協会・大阪府建築士会・日本建築学会近畿支部の３会共催で「新建築研究ゼミナールと見学会」を開催することにしております。

◀創立記念日の集い
―記念映画会と祝賀パーティ

来る３月30日は第52回の創立記念日に当りますが，日曜日のため１日繰りあげました。また毎年記念講演会を催してきましたが，本年は趣を変え，映画を観賞することにしました。会員の皆さま，万障お繰り合せご出席を待ちます。

日　時　3月29日（土）14.00→16.30

会　場　東区備後町３―８　綿業会館（新館玄関より２階へ）

映画会　(14.00→15.20) 於 本館２階中会場
○超高層霞が関ビル総集篇……16ミリカラー42分（提供鹿島建設）
○万博に原子の灯を，第1部・第2部…16ミリカラー30分(提供大林組)
（関西電力美浜原子力発電所建設工事記録）
パーティにご出席されない方でもご来会を歓迎します。

パーティ　(15.30→16.30) 於 新館２階中会場
会　費　1,500円（当日会場で頂きます）
定　員　100名

申　込　パーティは勿論，映画会にご出席の方も３月25日までに電話（231―9640）で事業課へ。パーティのお申込者で欠席されても会費のご負担を願います。

◀台湾建築事情視察団募集について

主催　社団法人日本建築協会
後援　中華民国台湾省建築師公会・日本交通公社

日本万国博を１年后にひかえてわが建築業界においても諸外国との交流がますます盛んになってまいりました。１昨年企画いたしました「モントリオール万国博視察団」も皆様方の絶大なるご協力を得て成功裡に終りました。今回は近年著しく成長をとげつつある台湾における建築事情の視察と国際親善を深める目的で「台湾建築事情視察団」を下記により企画いたしました。多数ご参加下さいますようお願い申しあげます。

記

募集要項

旅行期間　昭和44年６月23日（月）～６月28日（土）・６日間

募集人員　50人以上

参加資格　本会々員

参加費用　134,200円
内　訳
全行程エコノミークラス航空運賃・１等鉄道運賃・送迎バス運賃・特別観光バス料金，ガイド料金および入場料・高級ホテル部屋料（原則として浴室付２人部屋）・税金，サービス料，毎日３食（朝昼夕）の食事料金・１人20キロまでの運搬料金・空港税

申込〆切　昭和44年４月10日

申込方法　申込金30,000円を添え本会事務局事業課へ申込み願います。

参加費用の払込方法
昭和44年６月10日までに申込金を差引いた残額104,200円を下記方法で願います
社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜３丁目37　電話（231）9648番（代表）
・郵便振込口座番号　大阪39975番
・振込銀行　大和銀行北浜支店（普通預金）
・受領証は本会より更めてご送付いたします。
・申込〆切日以降に参加を取消された場合は，申込金額はお返しできません。

日程表

日次	月日(曜)	地名	現地時刻	交通機関	摘要	宿泊地
1	6月23日（月）	大阪　発 台北　着	10:05 11:55	JAL 701便	出国手続後空路台北へ 着後特別バスにてホテルへ ホテルにて中食	
			13:30	特別バス	午後：市内観光 総統府，孔子廟，竜山寺，国立故宮博物館など アンバサダーホテル泊	台　北
2	6月24日（火）	台北　発 花蓮　着	08:20 09:00	CAL 101便 特別バス	国内線にて花蓮へ タロコ峡谷観光 昼食後花蓮郊外のアミ族部落，大理石工場見学	
		花蓮　発 台北　着	16:30 17:10	CAL 101便	アンバサダーホテル泊	台　北
3	6月25日（水）	台北　発 台中　着	09:00 11:59	デイーデル特急1号	特急列車にて台中へ 着後市内レストランにて昼食 台中市内省議会を視察しながら日月潭へ	
					日月潭観光ホテル泊	日月潭
4	6月26日（木）	台中　発 高雄　着	11:59 14:59	デイーデル特急1号	午前：日月潭湖めぐり 特急列車にて高雄へ 着後，寿山公園，高雄港，加工輸出区，コンピナート建設地区視察	
					竜徳飯店泊	高　雄
5	6月27日（金）	高雄　発 台北　着	09:30 10:30 12:00 18:00	FAT 102便	遠東航空にて台北へ グランドホテルにて昼食 午後：中華民国建築業従事者及び政府関係者と懇談 ホテルにて夕食	
					アンバサダーホテル泊	台　北
6	6月28日（土）	台北　発 大阪　着	08:00 12:00 16:45 19:50	JAL 702便	ホテルにて朝食 午前：各自現地業者と懇談 ホテルにて昼食 午後：出発準備	

現代建築の夢 ── 画期的な内・外装材

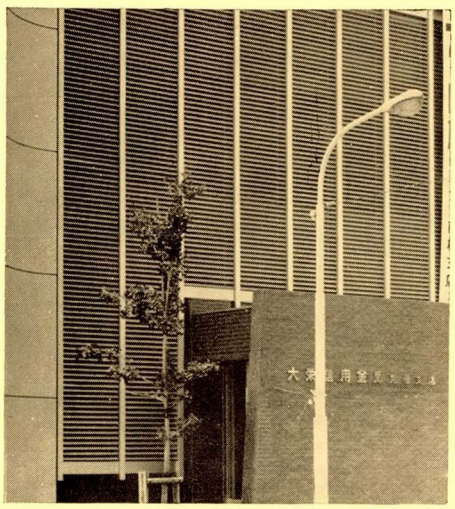
フレクサラム・サンルーバー

〔ハンター・ダグラス社 技術提携〕

製造元　三協アルミニウム工業株式会社

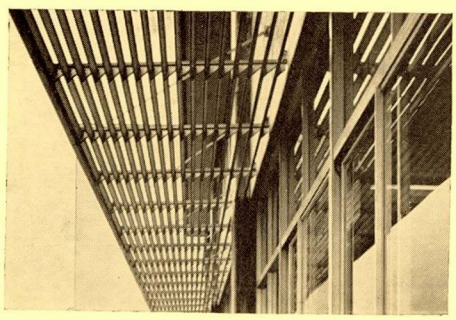
独得な組立法により、取付は簡単

カラー特殊アルミ合金（フレクサラム）を使用しているので、軽量で美しく、又他のアルミ合金では考えられない豊かな弾力性のためビス止めの手間がなく、取付は迅速、補修、とり替も簡単です。



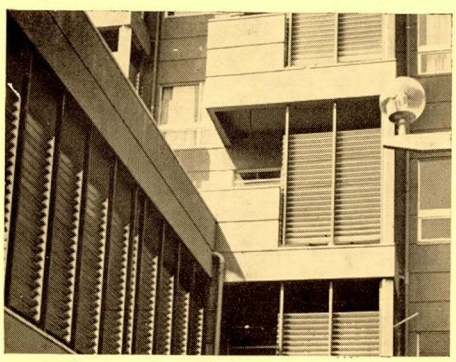
レディメードが生んだローコスト

コイルから直接成形するので、長尺が可能であり、切断・接続・折り曲げ・アール加工が自由にできます。パネル標準色は15色で形状（断面）の種類も豊富、レディメード製品のため価格が安いのも特長です。



材質は最高級品を保障

完全な耐触性材料のため、断面が現われても腐蝕の心配はなく、不燃性・耐摩耗性の最高級品です。清掃も水洗いで簡単にすみ、メンテナス費用も不要です。





詳細はカタログをご請求下さい

総発売元

輝く伝統・明日への飛躍

AC 安宅産業株式会社

金属建材部　■本 社　大阪市東区今橋5丁目14　電話(06)231－8461（大代表）

東京支社　東京都千代田区大手町1丁目4（大手町ビル）　電　話（03）201－6411
名古屋支店　名古屋市中区錦2丁目15－22（協銀ビル）　電　話（052）201－3271
八幡支店　北九州市八幡区白川町1の1　電　話（093）67－5131
札幌支店　札幌市北三条西4丁目1（日本生命ビル）　電　話（0122）23－7161
福岡支店　福岡市綱場町2丁目2（福岡第一ビル）　電　話（092）28－6231
広島支店　広島市基町11の10（千代田生命ビル）　電　話（0822）28－0586
金沢支店　金沢市片町2丁目2－15（北国ビル）　電　話（0762）61－8145

新刊図書案内

設備技術者のための　建築の知識

発刊のことば

最近の建築の大きな特徴の一つは，室内環境への高度な要求に応じた各種建築設備の充実であって，建築工事に占める設備工事の比重が著しく高まってきたことである。この増大した設備工事を建築の全工程の中に遅滞なく適切に施工していくことは，工期の短縮はもちろん，建築の質的向上につながる重要事項でもある。この目標達成のためには，建築技術者と設備技術者が互に十分な技術的理解をもつことが不可欠であることはいうまでもない。

本書の編集に際しては，まず設備，建築両者の指導的技術者が度々の会合を重ねて意見を交換し，要求される建築知識の所在と，その具体的取り扱い方の検討に多大の努力が払われた。

執筆には建築工事に豊富な経験をもつ有能な幹部技術者が当り，建築を初めて学ぶ人に理解しやすいよう平易を旨としているが，その内容は，建築全般にわたる初歩的解説から，建築図面の見方，工程管理などの基礎的知識，建築工事と設備工事との技術的関連など，建築工事全般にわたり，常に設備技術者を対象にしながら，必要事項は細部に至るまで懇切に記述せられ，さらに，巻末には難解な建築用語等の解説を付けるなど，細心の注意が払われている。

本書は，若い設備技術者，特に機械・電気等の学業を修め設備の専門技術者を志ざす人々にとって最良の入門書・指導書として，また設備工学科の建築教科書として広く活用されることを強くお奨めする次第でもある。

設備技術者のための「建築の知識」編集委員会
委員長　伊藤克三

●編集委員会

（50音順）

委員長	工学博士	伊藤　克三氏・大阪大学教授
総括幹事		大沢徳吾郎氏・鹿島建設大阪支店建築部工事部長
〃		窪田　祐氏・大林組技術部長
幹事		相川　三郎氏・東住吉工業高校設備工業科長
〃		金子　稔氏・新日本技術コンサルタント建築部次長
〃		山田　英男氏・日建設計工務㈱
〃		山野　芳造氏・㈱竹中工務店電算開発部長
委員		唐津　泰明氏・大阪建築事務所設備課長
〃		阪本岩千代氏・大阪電気暖房㈱暖冷房部長
〃		清水寿栄次氏・関電産業㈱常務取締役
〃		清水　章裕氏・須賀工業㈱工事部長
〃		長谷川幸雄氏・桜井建築設備研究所大阪支所長

●総目次

第1章　建築生産　（執筆者：金子稔氏）
建築の生産／設計と工事監理／施工／工事の実施

第2章　設計図・仕様書・施工図（執筆者：金子稔氏）
設計図書／設計図の表示方法／施工図

第3章　建築の種類とその計画（執筆者：宮武三郎氏）
各種建築物の性格と計画の要点（百貨店，事務所，銀行，病院，劇場，ボーリング場，学校，博物館，美術館，図書館，集合住宅，ホテル），関係法令

第4章　建築構造　（執筆者：高島三郎氏）
材料と構造法／耐震・耐火・耐風・耐久性・防災／基礎と地業／各種構造の詳細

第5章　仮設工事　（執筆者：越本昌弘氏）
共通仮設工事（一般仮設，足場・桟橋，荷揚・荷捌設備，安全防災設備，動力・照明・用水設備）

第6章　躯体工事　（執筆者：越本昌弘氏）
墨出し／基礎と地下工事の施工／構造体の施工

第7章　仕上工事材料　（執筆者：今井浩一郎氏）
組積工事／防水工事／石工事／タイル工事／木工事／屋根工事／金属工事／左官工事／ガラス工事／塗装工事／内装工事／接着剤

第8章　仕上工事　（執筆者：小島七郎氏）
壁体／屋根／床／天井／内外建具／建具金物／便所・浴室・洗面所・厨房・湯沸室／階段室／機械室・駐車場・電算機室・電話交換室／断熱・保冷・防露・防音・防火／煙突・高架水槽・クーリングタワー

第9章　工程計画と工程表　（執筆者：森口徹弥氏外）
工程計画／工程表の種類と作成法の概要／工程管理とその実際

附録　建築用語の解説
工事に必要な諸官庁署関係の手続一覧表

●執筆者

金子　稔氏（新日本技術コンサルタント・建築部次長）
宮武　三郎氏（日建設計工務・技師長）
高島　三郎氏（鹿島建設大阪支店・工務課）
越本　昌弘氏（大林組・工務部）
今井浩一郎氏（竹中工務店・作業所長）
小島　七郎氏（清水建設大阪支店・技術課）
森口　徹弥氏（大成建設大阪支店・建築第三課長）

【読者対象】　実務にたずさわる初級・中級設備技術者
【体裁】　B5判（182×257mm）・9ポイント活字一段横組約400頁（折込図面約50枚）・図版多数挿入　本文・特別上質紙　表紙・特クロス上製本・特製函入
【予価】　1,800円　　送料　250円
【発刊予定】　昭和44年3月下旬

編集*発行　社団法人　日本建築協会
郵便番号　541
大阪市東区北浜3－37
電話　231－9640・9648・9649・5936

組見本
（実物大）

第３章　建築の種類と計画

3.1　ま え が き

3.1.1　建築物の種類

建築物の種類は極めて多種多様である。その各々の建築物はそれぞれ独自の性格を持っており，計画の方法も異なるものである。然しながら性格に共通的な要素を持つものについては，その計画方法にも類似の面が多いので一括して論ずることができる。本節では類似建築の種類をとり上げ，これらを社会的目的から系列化して記述してみようと思う。

（1）公共建築・庁舎・局舎

中央行政官庁，大使館，公使館，地方行政官庁，税関，税務署，造幣局，裁判所，検察局，登記所，郵便局，電報電話局，官公邸，警察署，兵舎，消防署，発電所など

（2）商業建築，事務所建築

商店，百貨店，事務所，銀行，取引所，市場，屠殺場，その他の商業建築

（3）交通運輸用，倉庫建築

停車場，旅客駅，貨物駅，港の建物，桟橋上屋，空港建築，ガソリンスタンド，格納庫，倉庫，冷蔵庫，サイロ，穀物倉庫，車庫など

（4）工業建築・工場

（5）病院，社会福祉施設

病院，診療所，薬局，保養所，サナトリウム，養老院，孤児院，幼稚園，託児所，保育院，家畜病院

（6）少年院，保護観察所，拘置所，刑務所

（7）各種接客業の建物

飲食店，料理店，喫茶店，食堂，バー，待合，浴場，プール，公園内の亭および野外音楽堂，温泉地等の施設

（8）演芸場，遊戯場，競技場など

コンサートホール，劇場，ダンスホール，映画館，野外劇場，講堂，公会堂，室内遊戯場，玉つき場，スケートリンク，ボーリング場，野球場，競技場，その他のスポーツ施設

（9）その他の公共用建築

博覧会場，展覧会場，記念建造物

(10) 宗 教 建 築

寺院，神社，礼拝堂，教会，修道院，葬儀場，納骨堂，火葬場

(11) 教育，学術，美術のための建築

小・中学校，高等学校，大学，教習所，研究所，試験所，博物館，美術館，図書館，動物園，植物園，天文台，プロネタリューム，学術団体の建物

(12) 住 宅 建 築

独立住宅，集合住宅

いかなる苛酷な条件にも耐えて
このすばらしい特性が
建築を守ります

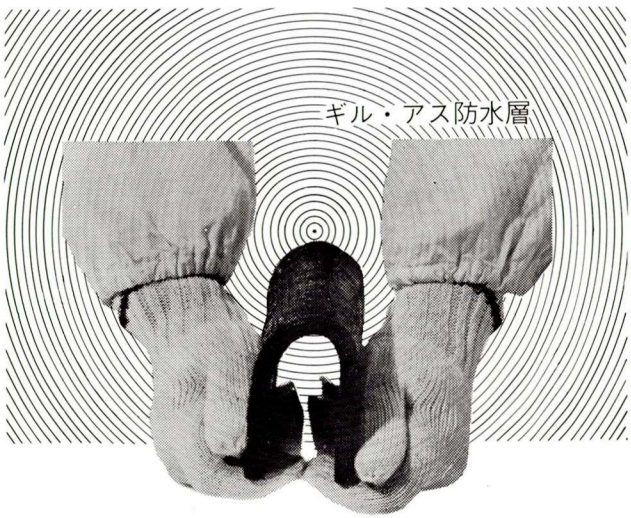
特許

強力ギルソイド・アスタイト防水

※新アスタイトの開発に成功—4種類から2種類へ—
※建築構造の多様化に即応した特殊防水仕様の採用
※建築物の大型化に備えた歩行用及び室内、地下防水仕様の強化
※強力ギルソイドー主材料として特に重点的に改良
※ベースルーフィングの採用—欧米に比べて湿気の多い我が国独自な配慮
※ギルボード採用によるインシュレーション仕様の確立



折曲げ試験に耐えきれず
に破断した一般防水層



折曲げ試験ですばらしい
柔軟性を示すギル・アス防水層

責任施工組合員名簿（西アス会員）

近畿地方	日本瀝青工業㈱大阪支店	高橋建材店	中国・四国地区	九州地区
㈱久保商店	石井建材有限会社	日東物産株式会社	青盛建材株式会社	青盛建材㈱福岡営業所
㈱木下謹三商店	㈱中出商会	太田建材株式会社	青盛建材㈱岡山営業所	高稲工業株式会社
㈱井上浄夫商店	㈱タテバヤシ商店	北陸地区	㈲小野甚商店	高稲工業㈱北九州営業所
㈱大和商会	田島応用化工㈱大阪営業所	北川瀝青工業株式会社	㈱浜原豊商店	石素産業株式会社
高山工業㈱大阪営業所	東海地区	北川瀝青工業㈱富山出張所	㈱浜原豊商店防府営業所	高稲工業㈱大分出張所
内外工業株式会社	岡田建材株式会社	北川瀝青工業㈱福井出張所	古市断熱工業株式会社	高稲工業㈱熊本出張所
旭化建工業株式会社	㈱名建商会	㈱小島工務店	正和商事株式会社	S．43．10 現在

東日本アスファルト事業協同組合
西日本アスファルト事業協同組合

東　京・千代田区岩本町３の11の13田島応用内　ＴＥＬ代表（866）6101
大　阪・大阪市西区京町堀１の７　４　ＴＥＬ代表（441）5951
札　幌・ＴＥＬ（22）６０３８　福　岡・ＴＥＬ（28）２８０７
仙　台・ＴＥＬ（22）６４１３　広　島・ＴＥＬ（21）２２８１
名古屋・ＴＥＬ（571）６３６１　岡　山・ＴＥＬ（24）２６９２



新時代の建築をリードする!!

ダイケンサッシのDR-60

レディーメード・アルミサッシ

■耐風圧強度　風圧200kg/m²の大型台風にもビクともしません。

■気密性　すぐれた気密性を持ち、遮音暖冷房負荷にも好結果をもたらします。

■割安の低価格　枠見込70㎜にまさるとも劣らない高性能を持ち、しかもお値段がグーンと低いお買い得サッシです。

JIS表示許可工場／KJA認定工場

ダイケンサッシ株式会社

■本社・工場　堺市松屋町1-6　TEL.0722(38)1141大代表

法令コーナー

18

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております

◇法　令　相　談

容積地区について（その２）

3.容積地区内の制限の緩和などの取扱いについて

前号で容積地区内の制限について述べましたが，これらの制限の緩和などについての規定がありますので，以下それについて説明します。

①　建築物の延べ面積から除かれる部分

容積率の算定に関する延べ面積には，自動車車庫などの床面積を算入しません。ただし，延べ面積に算入しない床面積の限度は，当該敷地内の建築物の各階の床面積の合計（同一敷地内に二以上の建築物がある場合には，それらの建築物の各階の床面積の合計の和）の５分の１までの面積，とされています。（令２条①項④号同③項）

②　計画道路を前面道路とみなす取扱いの許可

建築物の敷地が，法44条２項に規定する都市計画道路（以下「計画道路」という）に接する場合または当該敷地内に計画道路がある場合に特定行政庁が交通上，安全上，防火上及び衛生上支障がないと認めて許可した建築物については，当該計画道路を前面道路とみなして，前面道路による容積率の制限の規定を適用します。

例えば，第８種容積地区にある敷地で，前面道路巾員が10mである場合，容積率の限度は800％または$10\times\frac{6}{10}=600$％となり，600％が限度になりますが，別に計画道路に接していて，この規定による許可を受けた場合には，計画道路を前面道路とみなし，道路巾員は10mの代りに計画道路の巾員となります。通常の場合，計画道路の巾員は12m以上ありますから，前面道路巾員による容積率の制限はなくなり，第８種容積地区の制限である800％が容積率の限度になります。（法59条の２③項）

しかし，この緩和の取扱いは，計画道路が確実に築造されることを要しますから，この適用の時期は，計画が相当に具体化され，事業が実施されているような場合について適用されるものと考えられます。

③　隣地が公園，広場，水面などである場合の隣地斜線制限の緩和

建築物の敷地が公園，広場，水面などに接する場合，これらに接する側の隣地境界線は，その公園，広場，水面などの巾の２分の１だけ外側にあるものとみなして，隣地斜線制限を適用します。（令135条の４①項①号）（参考図参照）

④　隣地斜線制限について敷地の地盤高を緩和する取扱い

建築物の敷地の地盤面が，隣地の地盤面より１m以上低い場合においては，その建築物の敷地の地盤面は，その高低差から１mを減じたものの½だけ高い位置にあるものとみなして，隣地斜線制限を適用します。（令135条の４①項②号）（参考図参照）

この規定については，特定行政庁が別に規則で，地盤面の位置を当該敷地の地盤面の位置と，隣地の地盤面の位置との間において適当と認める高さに定めることができるとされています。（令135条の４②項）

⑤　敷地が２以上の容積地区にわたる場合の取扱い

建築物の敷地が２以上の容積地区にわたる場合については，その建築物またはその敷地の全部が，敷地の過半が属する地区にあるものとみなして，すべての規定の適用をうけることになっています。（法91条）

4.延べ面積の割増し許可について

下記の各号の一に該当する場合で，特定行政庁が交通上，安全上，防火上及び衛生上支障がないと認めて許可したものについては，その許可の限度まで容積率が緩和されます。

①　機械室その他これらに類する部分の床面積の合計が，建築物の延べ面積に対して著しく大きい割合を占める場合

②　敷地の周囲に広い公園，広場，道路その他の空地を有する場合

③　敷地面積が地方公共団体の条例で定める規模以上あり，かつ，その敷地内に条例で定める規模以上の空地を有する場合（法59条の２④項）

①号に該当するものとして，電々公社の自動電話交換室，電力会社の変電所などがあります。

②号，③号の趣旨は，敷地の立地条件または空地の保有の状況が都市計画的にみて良い条件にあるものは，容積率を幾分緩和してもよいとするものですが，これらの敷地の条件は法59条の３に規定する特定街区の条件と一般のものとの中間に位置するものと考えられますので，容積率の緩和の限度も特定街区の緩和の限度をこえることはできないと考えられます。

③号の条例で定める規模について東京都の例をあげますと，昭和39年３月に条例の制定がなされ，敷地の規模については，第１種～第３種容積地区については1,500㎡，第４種～第10種容積地区については1,000㎡とし，空地については，法定の空地率に敷地面積の$\frac{2}{10}$を加算したものと定められています。

5.許可に関する建築審査会の同意について

容積地区内の制限の緩和及び例外許可について述べましたが，このうち，計画道路を前面道路とみなす許可（上記３－②）及び延べ面積の割増し許可（上記４－①②③）については，特定行政庁のみの判断によらず，建築審査会においても個々に審議がなされ，許可について同意を得なければならいことになっています。

6.容積地区の指定がない場合との相違について

容積地区内と外について，制限の相違は下表のようになります。

（大阪市建築局建築部指導課指導係長　原　桂一郎）
（大阪市築建局築建部審査課西方面係長　平塚　哲朗）

容積地区内外における建築物制限対照表

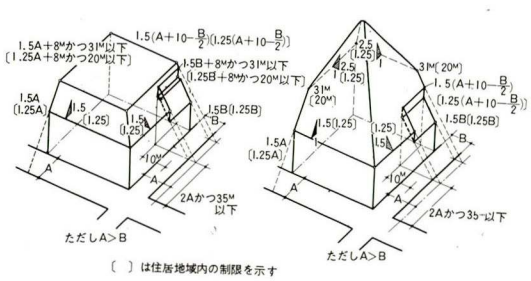
○印は制限有　×印は制限無し

項目	制限・内容〔　〕：住居地域内制限	適用の有無 容積地区外	適用の有無 容積地区内	参考：関係条文 制限規定	参考：関係条文 許可規定	参考：関係条文 緩和規定
建ぺい率制限 S：敷地面積	商業・未指定地域内 0.7S 住居・準工業・工業地域内 0.6（S－30㎡）	○	○	法55－１	――	法55－2,3,4,5,
容積率制限	法別表寸法の容積の限度かつ前面道路巾員が12M未満の場合は前面道路幅の$\frac{4}{10}$以下	×	○	法59の２－２	法59の２－3,4,	―― ――
高さの限度（A：前面道路巾員）	31M かつ 1.5A＋8M〔20M かつ 1.25A＋8〕	○	×	法57－１	法57－１但書	――
				法58－１，２〔法58－２〕	法58－４	法58－３（131の2，132，133，134，135の2）
前面道路による斜線制限	前面道路反対側から 1：1.5〔1：1.25〕	○	○	法58－１－１〔法58－２〕	――	法58－３（令131の2，132，134，135，135の２）
隣地境界線による斜線制限	隣地境界線（1：2.5＋31M〔(1：1.25)＋20M〕	×	○	法59の２－５	――	法59の２－６（令135の４）

参考（1）容積地区内の延床面積の算定（令2－1－4，2－3）
（2）容積制限による不適格建築物（法3－2，86の2，令137，137の5，137の8）
（3）ご地が地域・地区等の内外にわたる場合（法91）

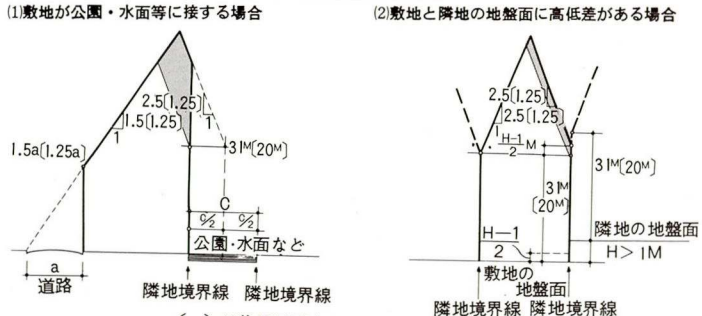
図－3　斜線および高さ制限図(2)－2方道路の場合

(1)容積地区外　(2)容積地区内



図－4　隣地斜線制限緩和図

(1)敷地が公園・水面等に接する場合　(2)敷地と隣地の地盤面に高低差がある場合



読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には規定の稿料を差上げます。

□ 心にも日の丸を

万国博も後一年となりました，建設関係は建設業者の双肩にかかっています。

日本人としての喜びと誇りを，

1. 道徳の日本人
1. 努力の日本人
1. 創意の日本人
1. 気力の日本人

自画自賛してよいと思います。勿論，自惚れて慢心は禁物です。

どこまでも，外寛内明（外には寛やか内らは明るく）の精神で「自己を知り，前を向いて歩こう。」でありたいと思います。

明治維新直後の日本は，三百年の鎖国制度で，世界に遅れを取る事甚しく，先進国のマネをするのがせいぜいでした。その余波が私の子供時代にもありました。日本人はマネが上手だと思い込んでいました。

今は，世界の人が，「日本人恐るべし。」としています。経済的に，技術的にです。日本人は，一を見て十を考える。マネを通り越して，さらにさらに進んだものを考える。進んだものを造る。紡績事業が日本にはいった。たちまち世界を風靡した。織機にしても世界一の優秀なものが発明された。鉄道事業にしても，新幹線はどうです。重工業，化学工業，自動車工業も世界の驚異です。建設事業にしても無振動工法，潜函工法，凍結工法地震に耐える軽量カーテンオール高層建築等，アメリカには及びませんが，世界の水準を行っています。

戦後，あの焼野ケ原の四等国日本が，今日の大成長をなし，押しも押されもせぬ一等国になりました。世界の人々が驚くのも当り前のことです。

今の日本人だけが偉いのではありません。

吾々日本人の先祖は偉かった。千二百年前に建立された奈良の大仏はどうです。仏教は中国から渡来した。鋳造技術も中国から渡来した。さて，本家本元の中国はおろか，印度にもあんな大きな，あんな立派な金銅仏は無い。

かかる高度な，かかる偉大な仏教芸術はどこにも無い。吾々若干でも鋳造の事を知っている者，鋳造の専門家でも，あの偉大な芸術品には，感嘆おくあたわざるものがあります。

千二百年前，まだ石炭もない日本で，よくも造ったものです。薪か木炭で鋳造した事に間違いないのですから，ただただ驚き入るのみです。千二百年前の日本人が，現代人にでも想像もできない，トテツモナイものを計画し，完成した。その気力，その技術には頭が下がります。当時，中国の客僧が大仏を見て驚嘆されたとの事，さもあろうと思います。

万国博も，今の国力で，今の技術で，今の日本人のアイデアで，世界の人々をアッと言わせたいものです。

オリンピックで優勝して「君が代」の吹奏で日の丸がスルスルと上げられます。あの心境でありたい。

常に，心に日の丸を高々と上げましょう。

万国博関係の皆様方のご苦労は想像に絶すると思いますが国威に関する事です，大いにガンバッテ下さい。

（安田レール株式会社会長　**安田誠一**）

□ 羽仁五郎「都市の論理」の非論理

「都市の論理」の核心的なところ，本質はアナーキズムである。現実の諸々の社会現象に対する氏の否定的見解は，その諸々の現象の矛盾を止揚する方向において否定するのではなく，常にその現象の背後に国家権力を想定することによって，国家権力の否定が現象そのものの否定，ここにおいては氏のまったく観念的，主観的な否定となるところの否定におわるのである。

このことの例証は大部の論述の随所に散見するところであって，たとえば「自民党の永久政権と官僚制と独占資本とが結合して，国民の税金を収奪し，住宅とか道路とかそのほかあらゆる自治行政を侵略し，都市自治体の計画を破壊し，都市自治体を無力にしているのである。公団公社公庫そのほかの事業団などのいわゆる特殊法人はただちに廃止されなければならない。」（普及版，P.446）が，それである。自民党の永久政権や，自民党と官僚と独占資本の結合などはいわずもがな，これらの要するに国家権力や独占資本の出先機関としての（そして氏の目にはもっぱらこの側面のみが映じている）特殊法人はただちに廃止されなければならないとして否定される。廃止されなければならないと考えるのは氏の主観であって，これが現実に廃止されるか否かは氏の主観とは無関係に社会的に決定されるのである。

さて，「都市の論理」はまずコミュニティなる概念の非科学性についての議論にはじまる。コミュニティがテニエンスのゲマインシャフトと同系列の非科学的，非合理な概念であって，現実認識に際して何ら有効な概念ではなく，むしろこれを混乱させ，問題の本質を隠蔽する性格のものであることが述べられる。「大ざっぱに言えば，社会的な進歩が行き詰ったような場合にこういう概念が，雨後のたけのこのようにどんどん出て来る。（P.52）そして，コミュニティのような非論理な概念的よりは自治体という概念の方が論理的，現実的であるとする。ただし「この自治体は，日本では地方自治体というように言っている。地方とは国家権力から言う地方なので，自治体とはそういう意味では反対だというのです。」（P.55）

ここで問題は，これが氏の「論理」の唯一の論拠となるところの「自治体」なる概念が国家権力と対置して設定されていることである。これは自治というものが普遍的な意味では，国家権力のように反民主的な権力によって支配されるものでなく，民衆みずからの自主的な統治による場合にのみ，それを自治というのであって，そのような機構を自治体というのであるという自治体の本質規定から，現実には存在しない自治体なるものを実体的なものとして設定していることである。

しかしながら，本質は必ず現象の中に含まれているのであって，「地方」と「自治体」とを切り離したところで現実の地方自治体から権力が抜きとられ，そのあとに純粋なる自治体が残るというような筋合いのものではない。すなわち，現実には「地方」にも「自治体」にも権力が含まれてもいるし，また反権力も含まれているのである。いわば現在の政治組織は，どのような名称で呼ぼうと，国家権力による中央集権的支配組織に組み込まれているのであって，「地方」を批判して「自治体」を救おうとしても，すでにその「自治体」の中に「地方」（権力）が潜入しているのである。

抽象的なそれゆえに純粋なる「自治体」に実在性，現実性を付与するために，次に自治都市の歴史が語られる。古代ギリシヤのポリス，ルネッサンスの自由都市，パリ・コンミューンと。民衆による民衆の政治が保障される場，自由都市・自治都市はしかしルネツサンスで挫折すると語られ，歴史的にすでに過去のある時点で「自治体」が存在したように語られる。階級社会における進歩的階級が反動的権力に抗して自己の生活権を獲得し，かれらの自治組織を確立した歴史的事実は，何よりもまずかれらの経済的基盤から考えられねばならない。たとえば，ルネッサンスにおける自由都市の場合は，抬頭する商人，ギルドマスターの経済的発展，その基盤ゆえに封建的権力に抗してかれらの集中的な居住地域であった都市を拠点として，かれら自身の政治組織・自治体を形成することが可能であった。自足的経済圏がいまだ国家的段階にまで発展していなかったルネッサンスにおける自由都市は，それゆえにその地域的政治組織を完結することが可能であった。

経済の発展にともなう経済圏の拡大は，必然的に政治的組織の巨大化を促し，資本主義の到来による爆発的な生産力の発展は，その結果と

しての経済構造の国家的段階から国際的段階への発展，そしてまた政治構造の国家的段階への発展を促し，地域的段階における反権力的政治支配を不可能なものとした。「都市自治体」の成立条件はその基盤を失っている。にもかかわらず，氏の「都市自治体」は経済的基盤を捨象し，その結果生じたところの政治的組織のみに注目しながら，その成果たる自治都市の歴史的事実によって，その実在性，実現可能性が装われるのである。

さらにこの「都市自治体」の実現可能性は，エンゲルス「家族，私有財産及び国家の起源」の説明部分（これも正当なそれではなく，究極的には一切か無かにつながる）において，家族からの開放（氏の場合はすなわち家族の破壊）が自由な社会の実現の必要条件であるごとく述べて伏線がはられ，あるいはその線上を直線的に発展して，市民による都市自治体の結成の必要性が，現代家族主義の批判（というよりは非難）を通じておこなわれる。「家族とか家庭とかに安んじているかぎり，自治体というものは成立しないし，われわれはわれわれの住むにあたいする都市自治体を建設することはできない。」（P.607）とし，さらに具体的に「〝家庭なんかこわれても，もっともっと女は外へ出ていけばいい。どうして家族にそんなに固執するのか，〟と瀬戸内晴美も本年4月24日のNHK教育テレビでいっていた。」（P.558）。女性が外へ出ていくのはよいとして，家庭なんかこわれてよいのであれば，女性の帰るところはなくなり，巷には女性の一大浮浪者群が形成されるであろう。家庭を建設しょうとするときにこそ，外へ出ていく本当の意味が生じるのである。家庭の変革は女性の家出では解決しないし，このような家族主義批判からは自治体は形成されない，というよりは「都市自治体」の成立条件の顕在性，すなわち現実性を述べる必要性のゆえに家族主義が批判されているのである。そして，この「都市自治体」は広域行政をモメントとして連合し「都市自治体連合」を結成するのである。

今日，住宅，公害問題等が広域的見地から把えられねばならないのは，すなわち広域行政の必要性が生じているのは，経済的発展の結果として，独占，権力，民衆のいずれにおいてもそうなのである。それは広域行政ということそのことの限りにおいてであって，いかに広域行政がおこなわれるかにおいて両者の利害は対立する。この対立を解決するために「連合」した「都市自治体連合」すでに仮想的な「都市自治体」の「連合」軍は，国家権力の出先機関である（とのみに解釈されているところの）公団公社を廃止すべく斗う。「公団公社などの本質が官僚機構の下当な拡張であり」「日本の官僚主義は国家行政機構内部を支配しつくして，なお足りず，その周囲を侵略し，都市自治体の事業まで侵略しているのである。」（P.606）「すなわち，公団公社などの特殊法人を廃止せよ。公団公社などを廃止しなければ自治体は生きかえらないのである。」（P.607）「都市自治体」が連合して，たとえば住宅公団を廃止するべく運動し，都市に吸引される労働者群への住宅供給が廃止されるならば，「都市自治体連合」の諸君はこの住宅難のおりがらいずれに居を定められるのであろうか。すなわち，都市自治体と公団公社の利害対立（矛盾）の解決は，公団公社の廃止に求められるべきではなく，予算，税制の問題，地方財政の問題に求められるべきであり，この地方財政への関与は地方選挙権によって市民が獲得している。それゆえにこそ都市における革新政党の勝利がえられるのであって，これを通じて民主勢力が促進されるのである。

それは「都市自治体連合」というような，本質的には階級性の抜けおちた組織によっては実現されえない現実の運動である。

「都市自治体連合」の無階級性は，国家権力に対して民主主義の概念が明確に対置されていないことによる。したがって両者の相互関連，現代における両者の発現形態が把握されず，民主主義の歴史上の発展段階における発現形態の抽象物「自治体」が現代において都市自治体として発現するべきであるとされ，ルネッサンスの自由都市を憧憬しつつ，しかし一都市自治体が国家権力に抗するにはあまりに弱いと考えざるをえないことによって，広域行政をモメントに「連合」せざるをえない。

「この都市連合をたれがつくるか。この都市連合を促進する主要の力の一つが，労働組合である。」（P.617）として，「都市連合」と労働組合が関連づけられ，ここに「都市連合」の担い手が具体化されたようにみえる。しかし「都市連合」の架空性は現実の労働組合が現実に共斗しえない存在である。この架空性のよってくるところ，国家権力のスペクトルは氏をして次のように絶叫せしめる。「すなわち，公団公社などの特殊法人を廃止せよ。公団公社などを廃止しなければ自治体は生きかえらないのである。」（P.607）「官僚の天下り人事をやめれば，公団公社などの存在理由がなくなってしまう。」（P.617）「しかし，団地の民主化は，公団を廃止し，団地を公団の手から都市自治体の手にとりもどさなければならない。」（P.621）「道路を都市自治体がとりもどすには，都市自治体連合よりほかに，どういう方法があるか。」（P.622）等々。

氏の理論でいけば，現存する公的組織は国家権力の諸機関として，ただそのことのみの理由によって否定されなければならない。

官僚主義の網目はいかなる公的組織の中にもその一端をみつけようとさえすれば容易にみつけることができるであろう。よしまたこれを否定したとして，この現存する公的組織を廃止することは，すなわち社会の生活基盤を破壊することであり，さらにこの公的組織には氏の否定する国家権力に抗しうる労働者，この組織に奉仕することによってのみ生計を維持しうる労働者の幾万が存在することを打忘れてはならない。アナーキズムの危険性はあらゆる権威を否定することによって，おのれみずからの生命をも否定するところにある。このような思想そのものが，氏の冒頭に述べているところの「雨後のたけのこのようにでてくる」思想であり，「都市自治体連合」こそ氏のいうオブスキュランティズムそのものではないのか。　**（島村）**

□明治建築土木史年表・関西篇（その26）（明治11年10月3日～至10月4日）□

明治

11年10月3日　京都堺町三条上る呉服商山本利兵衛に関する記事がある。記事そのものは私印偽造行使に関する醜聞記事だが――。

〃　〃　〃　内務省土木局は，前年の内国勧業博覧会に出品された諸国の河沼，その流域，堰樋等の雛形ことごとくを写真帳とすることにした。内一組は巾一尺五寸，竪三尺，八枚折の屏風とし，完成後，両御所へ献ずることとした。

〃　〃　4日　新潟県糸魚川の近況記事あり。「松平日向守（一万石）の旧城下」で，「市中は昨年の大火で過半焼失」したが，「今は全く家も立揃ひ」海の漁は毎年四万石の漁獲高があるという。

〃　〃　〃　前将軍徳川慶喜が明治六年頃寄進した石灯篭一対が散逸していたが，政府よりの調査などを得て，元の持主京都泉涌寺へ返された。

〃　〃　〃　京都襟善は去年の博覧会に出品して名を知られ，この春から東京葺屋町へ出店を出したという。その評判記事があって，金糸入りの襟が特別にもてはやされているとある。

〃　〃　〃　9月11日から17日まで全国的に暴風雨あり，この荒れで切れた長崎，上海間の海底電線修復。上海，アモイ間はなお不通という

（東京都北区神谷2ノ22ノ13　**須藤欣二**）



日進式ボード下地天井
日進式遮音パーティション

軽量・強度・耐火・耐震・遮音・合理的施工法

天井・間仕切・アルミニウムのことなら 何でも ご相談下さい

株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町60　電話大.阪 (364)4131
福岡市住吉松月町293　電話福　岡 (29)0459
東京都太田区南馬込4－1－18　電話東　京 (772)7856
名古屋市中村区志摩町4の7　電話名古屋 (551)3013

建築と社会
ニュース

ニュース原稿をお送りください。

■存亡の危機にある芝居小屋—呉服座

呉服座は大阪府池田市西本町猪名川べりにある比較的小型の芝居小屋（劇場）である。この地の一般大衆を観客として創始以来，とにかく興業を続けて来たが，時世の大波には持ちこたえ得ず，去る正月興行を最後に閉じることとなったものである。内外とも変改が少なく，変改部分も痕跡等から古い姿がよく判る芝居小屋として類例なき貴重なものといえるが，保存の道も確立せぬまま，最悪の場合は解体破棄されるかも知れぬ運命にある。

さてこの芝居小屋は正面切妻造り廂付，背面切妻造り，屋根桟瓦葺—当初は杉皮葺—の前後に長い建築で，全体としては殆んど江戸時代からの構造手法を踏襲しており，部分的に洋風手法を混えている。現在の座主は中田安馬氏で，同氏の話によれば，明治初年の創始らしいという。但し一度移築されて現地に来たともいうことである。現建築は幸にも上棟の時のいわゆる「お多福」が残っていて，棒に「上棟明治廿五年辰拾月八日建」と縦に墨書されているので，明治26年の初めには遅くとも「こけら落し」があったと見てよかろう。もし伝えるように他から移ったとすればこれを溯るわけであるが，正面向って（以下同）左端の洋風扉や天井上の和小屋と共用されている洋小屋（真束小屋組）等の手法は様式上明治初年までは上らず，25年以後と見られるし，屋根は昭和初期に桟瓦葺としたというから，洋小屋はその時の仕事とも見られ，この辺は更に詳しく調べたい。今の処，一応明治25年の建築ということにしておきたい。

正面の姿は 柱間を 下見張と 格子或は戸口とし，古い形をよく伝えている。廂の下には現在「大衆娯楽場・呉服座」などの横看板を掲げ，現在改築され用途変更になっているが，向って右寄にも附属建築が続いていた。廂の屋上には現在上げていないがもと櫓太鼓があり，その台を残していて，旗幟の林立したであろう盛時が偲ばれる。

内部の平面もよく旧状を残していて，江戸時代のをそのまま受けついだ形である。即ち正面入口（木戸）を入れば細長い広間があり，直ちに一階観客席に通じるし，左右から階段によって正面，左右の二階桟敷に上がるようになり，上下観客席の奥は舞台部分となる。いま順を追って少し詳しく述べると，観客席が中心となるのは当然であるが，それは一階は中央の土間（切落し）・左寄りの花道・左右の高土間（床上の席）から成っている。土間の舞台正面寄りと高土間は畳敷である。観客席の奥は板戸が立てられてその外側の廊下と隔てる。階上の観客席（桟敷）は畳敷，配置はコの字型で，中間は梁まで通る「通り柱」で支えられる。花道・階上桟敷には簡素な高欄をつける。土間は元来叩き仕上げであったろう，いま後半は椅子席としている。二階桟敷には現在亡失しているが仕切桝であったことが高欄の痕跡から知られる。

左寄りの花道から舞台正面に通じる。舞台正面は引幕の上に垂幕，その上筬欄間を備え，天井は全面格天井である。正面奥に一段高く床を造って「二重舞台」とし，左右に書割り，上方からも多数の幕を上下できるようにしている。舞台の床には円形に切られた回り舞台が設けられており，これは床下（奈落）にその回転装置が仕掛けてある。これを奈落（仏教語で地獄の意）というのは一般に床下を半地下式に掘り取り土の儘のが多かったので，湿気・湧水に悩まされた為という。当座では回転の中心に石柱を立て，鉄心をつけ周壁は円形に石を積上げ，鉄製滑車により回す仕掛としたのであるが，近年は使っていない。奈落へは舞台正面の入口から入るが，これはずっと奥にも通じていて，俳優の通路にもなっている。もとは「せり上げ」もあったが今は取去られて見られない。

次に舞台上部の装置であるが，多数の幕を上下させる関係で，太い竹を丁度葡萄園の棚のように組み，縄で絡んだものを造っている。これを形の類似から「葡萄棚」という。この棚は長大な小屋材やそれに仕掛けた丸太によって支えられ，多くの幕が下げられ，幕は上部に付けた綱によって上下される。この棚へは舞台の横の柱からよじ登るが，幕の上下は棚上でなく，滑車を通じて下に引いた綱により舞台の上で操作する。

以上がこの芝居小屋における主要部の略述であるが，その他に係員詰所・売店・囃子方の居場所・便所などの各施設があるが，省略した。また芝居小屋特有の呼び名もここではなるべく使わないようにした。附属部分には他に衣裳部屋・風呂場などがあるのもいうまでもない。

池田市において，現在まで小規模ではあったがずっと興業を続けて来た呉服座は上記のように江戸時代の様式をよく伝えて来た極く少ない劇場遺構である。そして建造年代も明治25年（1892）とはっきりしているので，なおさら貴重なものといえるであろう。このように古式をよく伝えるものでは香川県琴平町の金丸座（天保７年1836）を特例として，その他では私の知っているのは佐賀市にある佐賀劇場（明治43年頃）および同市に近年まであった喜楽座（と記憶）くらいである。佐賀劇場は明治末に共進会開催のとき建てられたもので，私が10年前に見たときは内部の仕切桝も健在であったが，現在どうであろうか。これは明治末であり，また博覧会的情勢のもとに建てられただけに外観にも内部の柱などにも洋風が割に混っていた。これに較べると呉服座は正面扉・内部の通り柱・小屋組などに洋風手法を見るくらいで（外面のガラス戸は仕方ないであろう），その他は伝統的な手法をよく残しているのにも注意したい。しかし惜しいことながら昨年暮から維持困難のため閉鎖破却ということになった。その後「守る会」もできたが守りおおせるかどうか，できれば所有者や地元の人々のよき理解を得て明治村のような所に移築，永久保存したいものである。

（大阪教育大学教授　近藤　豊）



呉服座正面



呉服座内部　花道・舞台前面など



呉服座回り舞台床下・心柱など

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



天王寺ステーションビル

設計　安井建築設計事務所
施工　株式会社 奥村組
使用場所　床、屋根

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



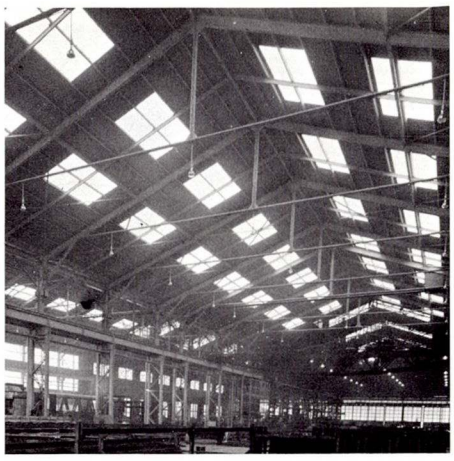
406. 阪和興業㈱本社ビル

設計：日建設計工務株式会社
施工：株式会社大林組
a．大阪市東区伏見町５丁目３０
b．875.47m²
c．7,244.00m²
d．SRC,7F,B1
e．昭和42年６月～昭和43年11月



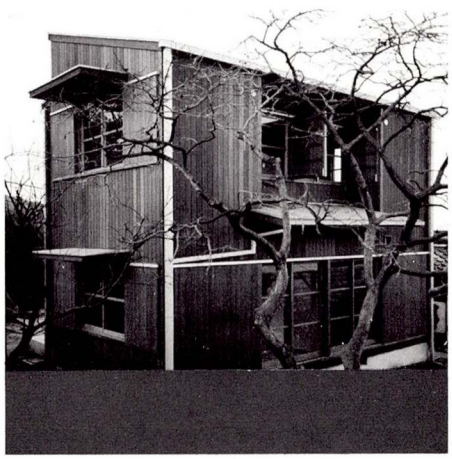
407. 株式会社サンマート唐櫃店

設計：設計事務所ゲンプラン
施工：富士建築株式会社
a．神戸市兵庫区有野町唐櫃団地
c．518.453m²
d．RC，３F
e．昭和43年６月～昭和43年12月



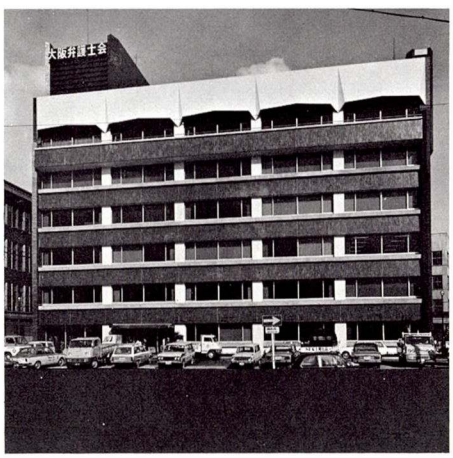
408. 近畿車輛㈱5B・6B工場(増築)

設計施工：大日本土木㈱大阪支店
a．大阪府東大阪市橋本1の1近畿車輛内
b．2,280m²
c．2,280m²
d．S造，平家
e．昭和43年９月～昭和43年12月



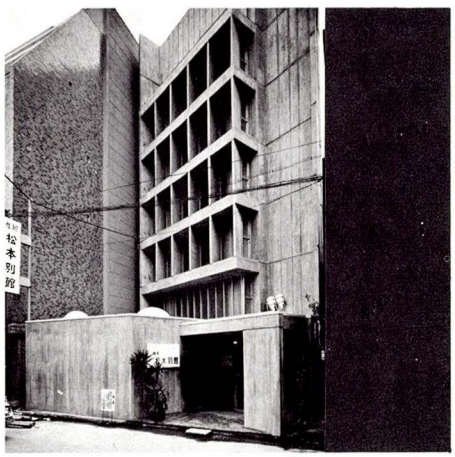
409. 兵庫県岩屋警察署署長公舎

設計：兵庫県建築部営繕課
施工：株式会社森工務店
a．丘庫県津名郡淡路町岩屋
b．36.94m²
c．70.64m²
d．W，２F
e．昭和43年９月～昭和43年12月



410. 大阪弁護士会館

設計：大阪建築事務所
施工：株式会社　大林組
a．大阪市北区若松町
c．5,124m²
d．RC,B1,6F,P2,ファン室1F
e．昭和42年10月～昭和44年１月



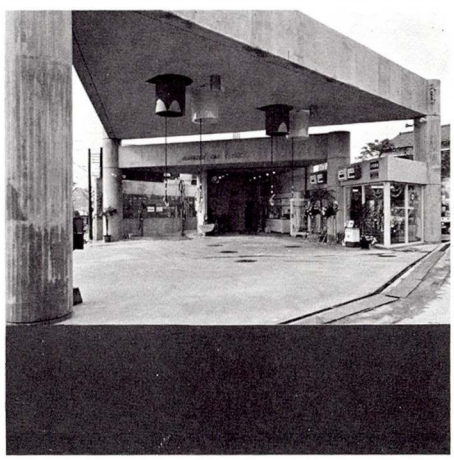
411. 松本旅館

設計：設計事務所ゲンプラン
施工：株式会社松村組
a．大阪市北区兎我野町１２１
c．812m²
d．RC，７F
e．昭和43年３月～昭和43年12月



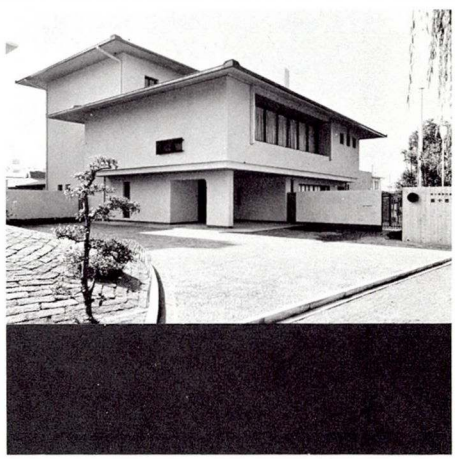
412. 明光ビル

設計施工：株式会社　大林組
a．和歌山県西牟婁郡白浜町1360
c．2,907m²
d．RC一部S造,4F一部中2F,P2
e．昭和43年２月～昭和43年12月



413. 丸善芦屋業平給油所

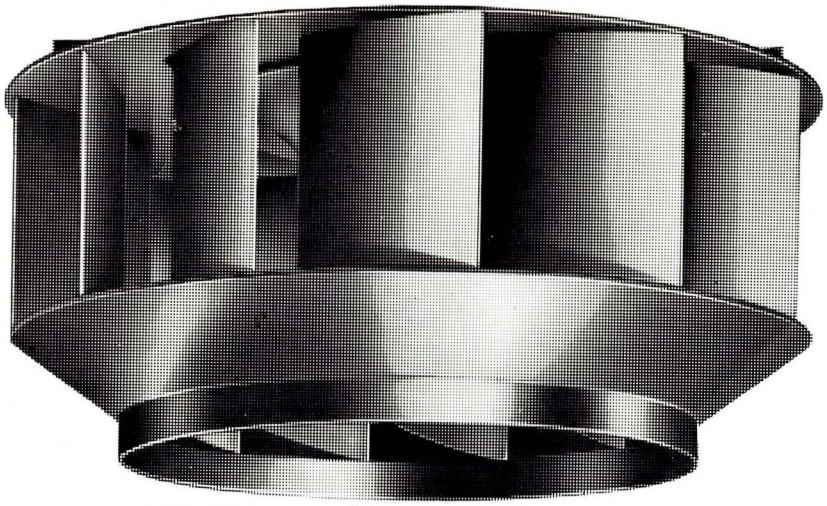
設計：設計事務所ゲンプラン
施工：清水建設株式会社
a．兵庫県芦屋市業平町47
b．130m²
d．238.9m²
c．RC，平屋
e．昭和43年７月～昭和43年12月



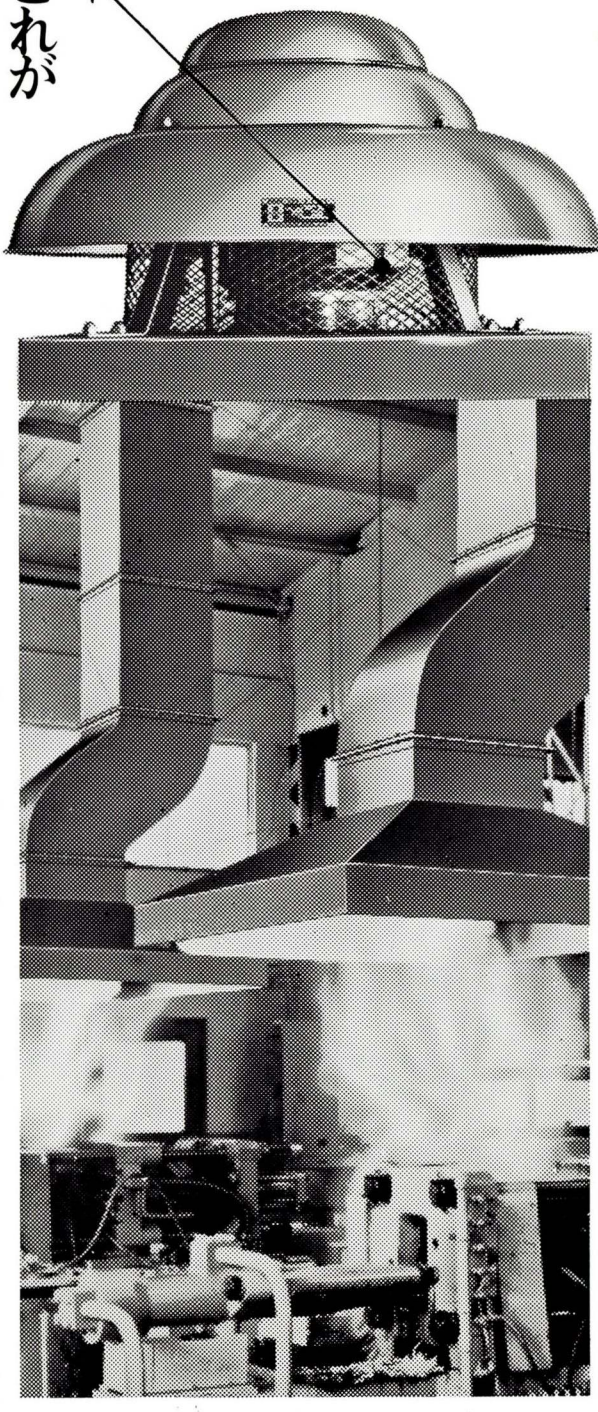
414. 百十四銀行松山保養所

設計：日建設計工務株式会社
施工：株式会社竹中工務店
a．松山市上市１丁目１２４６
b．521.5m²
c．843.4m²
d．RC，3F
e．昭和43年４月～昭和43年11月

日本で唯一！高静圧・大風量の翼形ターボ



これが
静圧に強い
〈翼形ターボ〉
換気に威力を
発揮！



ダクト排気に翼形ターボ（RA形）を　大風量でグングン空気を吸いあげ、静圧の高い、換気のしにくい場所（水柱50ミリまで）でも威力を発揮。騒音も少ない。

軽い、サビない、長寿命！　主要部品は耐食アルミ製。取付け作業は簡単。屋根にも負担をかけない。サビ止めの塗装がいらず経済的。しかも長寿命。

モートルを排気から完全遮閉　排気が直接モートル部に当らない設計で、ガス・蒸気・ホコリ等による故障がない。モートル自動冷却方式で長寿命。

こんな場所の換気に　蒸気・ガス・熱気の多い工場や厨房室の局所換気に。また、ビルの集中換気に——。

耐食アルミで、サビない、軽い

ナショナル・イルグ
屋上換気扇
〈ルーフベンター〉

ナショナル
松下電器

●カタログ進呈 大阪・城東局区内 松下精工・送風機事業部　電話・大阪(939)1161
東京・港局区内 松下精工・送風機東京事業所 電話・東京(453)3111



クラスメート

46 〔和歌山工業　昭和10年卒〕

前列左より（敬称略）

柴崎　利一　（南海電気鉄道ＫＫ住宅開発部技術課）
鈴木　博正（旧性　野田）　（ＫＫ浅沼組名古屋支店理事・工事所長）
雑賀　孝夫　（ＫＫ雑賀建築設計事務所代表取締役）
川端　繁治　（ＫＫ浅川組工務課長）

後列左より（敬称略）

仁儀　善之　（関西電力ＫＫ万国博関連建設所技術課）
田淵　誠也　（ＫＫ田淵建築設計事務所取締役社長）
大浦　利夫　（大浦建築設計事務所）

（昭和44年1月27日夕　和歌山市にて）

久方ぶりに顔を合わせたが、とくに鈴木（旧姓野田）とは卒業以来の再会で今更年をとったなあという次第。和工卒のわれわれの年代迄には昭和8年卒の優秀な先輩がおられるので、自分達が先になるのは悪いというような話も出たが、そこは心の広い先輩諸兄に甘えてお許し願うこととした。

田　淵　身体が弱くて長持ちするのかと思っていたが、二度三度の大病も克服して目下新しい奥方を得て溌溂として仕事に取り組んでいる。設計事務所の所長としては今少し線の太い処がほしい。クラス切っての秀才、今後益々の奮斗を望む。

大　浦　永らく花王石鹸につとめていたが，独立して設計事務所を開設，久しくなる。地方の設計事務所の悲哀を感じながらも21貫の体軀を維持しているところは大物の素質をもっている。丈夫で永持ちする男。

仁　儀　卒業以来関西配電に勤めて長い。いろいろと他人の世話をする苦労人である。現在は万国博関連の技術員として“ＥＸＰＯ70”に向って苦労を重ねている真面目な人である。

鈴　木　本日の賓客、浅沼組に勤めて名古屋に住みつき名前迄変えてすっかり中京人となってしまった。しかし同窓相寄ればやっぱり野田である。質実剛健型の古武士。

川　端　学校での悪童も50才ともなれば落着きを見せてくる。営々と現場に取り組んで仕事に熱心だが、酒が入るとやはり愉快になり、川端の本質が出る。良い男だ。

柴　崎　南海電車へ乗ると柴崎を思いだす。それ程南海でいる。現在は住宅ブームで各電鉄もこれに力を入れているが、柴崎はその花形部門で大いに腕を奮っている。誠実な彼にとっては最良の仕事場で大いに張切っている。

雑　賀　若くみえるので時々所員と間違えられる。細々と事務所をもって15年、漸く間違えられない年齢になった。よく遊び、よく働いた幸運児。

（雑賀記）



豊富な品種・デザイン
経済性・安全性はもちろん
鍵一本にまで
〈ユーザーのために〉を
モットーに、54年の歴史と
実績を誇るゴール錠(ロック)は
今日も鍵(カギ)りなく前進します。

建設省・日本住宅公団・各府県市庁・有名建築設計事務所ご指定

ゴール ドアー ロック

● この看板のあるお店でご相談下さい。

株式会社 ゴール

本　社／大阪市東淀川区三津屋北通四―三〇 ☎(三〇二)一七七一
工　場／大阪・佐賀・米子・徳島・台湾
営業所／東京・札幌・仙台・新潟・横浜・静岡・富山・金沢・名古屋・岐阜
京都・和歌山・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡・熊本

建築の眼

白石博三
京都工芸繊維大学教授・工博

徳永正三
三座建築事務所長

七尾健三
K.K.銭高組　取締役設計部長

岡野忠美
シポレックス販売K.K.　技術部長

この四つの主張のそれぞれに対して、会員読者より、ご感想・ご意見を求めます。読者の頁欄に収録します（薄謝呈上）

（一月号より六月号まで上記の四人の執筆者で担当してもらいます。）

建築家の作風

ミース・ファン・デア・ローエの建築をたくさん見てきた。どれも同じようなスタイルだが、よく見ると、その設計は年を追って徐々に着実に進歩しており、近代建築の１つの典型に達しつつあるように思われる。ひとりの建築家がひとつの作風を確立するには、これほどの年月をかけて洗練すべきだという気がする。

それに較べると、日本の多くの建築家は、あまりに作風を変え過ぎるように思う。あるときは総ガラス金魚鉢建築を作るかと思えば、一転してトーチカ建築を設計する。その変転の目まぐるしさは、豊富な創作力を示すつもりかも知れないが、むしろ底が浅い思い付きに過ぎないようにも思える。その証拠に、よく調べてみると、どこかにネタがあったり、納まり不良が分ったりする。

ひとりの建築家は、その得意とする作風を、むしろ頑固に守り、それ一筋に追求すべきではないか。建築家はあなたひとりではなく、日本にもたくさん居る。各自がひとつの作風を守っても、建築全体の多様性は十分得られる。　（S）

民衆駅の便所の位置をわかり易く

近年鉄道駅舎が民衆駅の呼び名で近代化して、立派なビルとなり、商店街や食堂街ができて買い物や飲み食いには大変便利で且つよく売れる。

その上、駅本来の機能をみたすためのコンコースや切符売場はどうしても必要だし、待合所もそれぞれの駅の格なり乗降客の人数によって、適当な広さが心要なことは申すまでもない。出口も荷物預り、観光案内所、公衆電話、電報受付等に、すべて駅として何一つおろそかにできない。

色々と民衆駅が立派になっていることはご同慶の至りながら、私は只一つ非常に不便な困ることを見逃すわけにはいかない遺憾な現象があることを告白しなければならない。

昔の駅は便所の位置がよくわかった。どの駅でも左か右にまがれば便所があり、用をすませてほっとした。便所は旅行者にとって必要且つかかせないにもかかわらず、民衆駅では大抵の場合便所の位置がわかりにくい。売上げのあがるスペースを前面に押し出して、公衆の便所は裏の横の曲りくねった廊下の奥に配置される。

民衆駅化や近代化は進むだろうが、とにかく便所の位置はどの駅でも統一して、もっとわかり易い位置にもうけてほしいものだ。　（T）

世相

昭和元禄といわれながら、明年の日米安保条約の改定をめぐって昨今の学校問題を含めて大きくゆれ動き出している世相を見る時、日本が今一つの曲り角に立っていることを感じる。

しかし目的の為には手段を選ばない問答無用の暴力はなんとしても肯定できない。

先日デモ通過予定の街を通ったが、商店は早々とシャッターを降したり、急ごしらえの板戸で養生しているのを見たが、硝子面積の多い軽金属のカーテンウォールに、ポカポカ石を投げられたら大変なことになるなと心配した。また安田講堂の惨状をテレビで見たが、あの建物ができるまでの人々の善意智力労力、それを愛し守ってきた人々の努力を、あんなにも非情に、無惨にふみにじれる人間が今われわれと共に存在しているおそろしさを痛感する。建物の窓は大きくできないのか、歩道にはコンクリートブロックは使用できないのか。

そんなことにまで気を使わねばならない世の中には何としてもしたくないと思う。　（N）

“新建材”（その２）

新建材は往々にしてその物自体は勿論、仕上、他部位との取合、更には主要構造部との関連迄にも配慮を要する場合が多い。

従って自体の職方は勿論であるが、関連職種の理解と慣れと協力に新建材側は全力投球を怠っては自社商品は育たない事を、わかり切った事ながら痛感している。

常に従来職種の独走がある事を覚悟して、元請よりの別註工事に対する新建材屋の意見発表（御願い）は忍耐強く行われなければならない。**御願い**通り行なわれなかった場合に生じた事故の場合も、**御願いの程度が不足した**との裁判が行なわれ、新建材屋側に有罪の判決が下されることになる。

専門技術は勿論、関連工事の研究開発に努力し、充分な説得力を持って客に接したい。

明治、大正時代のコンクリート、鉄骨等も同様の途を経て今日に至っていることを想いたい。

……新建材屋の皆様へ。　（O）



特許 アルミニウム表面処理兼用塗料

ハイナックAL

関西ペイント株式會社

建築と社会

特集
計画と住民—中部からの報告

1969. VOL. 50. 3

会　　告　神戸商工貿易センタービル新築工事見学会（第1回）
創立記念日の集い・台湾建築事情視察団について…… 23
法令コーナー　法令相談—容積地区について（その2）…… 27
読者の頁　心にも日の丸を（安田誠一）・羽仁五郎「都市の論理の非論理」（島村昇）・明治建築土木史年表関西篇（その26）…… 28
建築と社会ニュース　存亡の危機にある芝居小屋—呉服座（近藤豊）…… 31
スケッチブック　最近竣工の新建築9点（№406〜414）…… 33
クラスメート　46. 和歌山工業　昭和10年卒
（雑賀孝夫・田淵誠也・鈴木博正ほか4名）…… 35
建築の眼　担当：白石博三・徳永正三・七尾健三・岡野忠美…… 37
海外写真　漆喰文化　（ローマ，ヴィア・ディ・チエルキの家）
……撮影と文：福田　晴虔… 41
作品作風　東海の新建築：愛知県，三重県，岐阜県…… 42
岡崎市民会館，名古屋商科大学新キャンパス，愛知工業大学工学部，自転車技術研究所，百五銀行ビル，ほか80点

特集＝＝計画と住民—中部からの報告
はじめに……60
1. 中部圏における計画とその背景……61
2. 住民生活の視点から—計画は住民に何をもたらしたか……64
3. 住民運動の展開……69
4. 計画の実態と住民運動……73
あとがき——計画者の役割……76
付録：名古屋と周辺の計画—住居・教育・健康の面から……77

技術の頁　78. 目録：技術の頁一覧表…… 83
月報　日本建築協会月間の動き（昭和44年1月分）…… 84

編集人　松井昭光
印刷　昭和44年3月20日
発行　昭和44年3月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975

印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部　300円・送料共

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山田崇雄

KENTIKU TO SHAKAI

No. 3 Vol. 50, March 1969

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: T. Yamada

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan
Price: *single copy price ¥300*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture *27*
Column for Readers *28*
News for Architecture and Society *31*
Column of New Buildings *33*
Class-mates *35*
Essayes ("Kentiku no Me") ..... *37* — by *Hirozo Shiraishi, Masami Tokunaga, Kenzo Nanao, Tadami Okano*

Photograph: Mortar Culture (Una Casa a Via dei Cerchi, Rome) ..... *41* — photo: *Seiken Fukuda*

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

New Architecture of Tokai Area: Aichi, Mie and Gifu Prefecture *42*
Okazaki Civic Hall. New Campus of Nagoya Commercial College, Aichi University of Engineering. Bicycle Technique Laboratory, 105 Bank Building, etc.

SPECIAL FEATURES=PROJECTS AND RESIDENTS—REPORTS FROM CHUBU PROVINCE

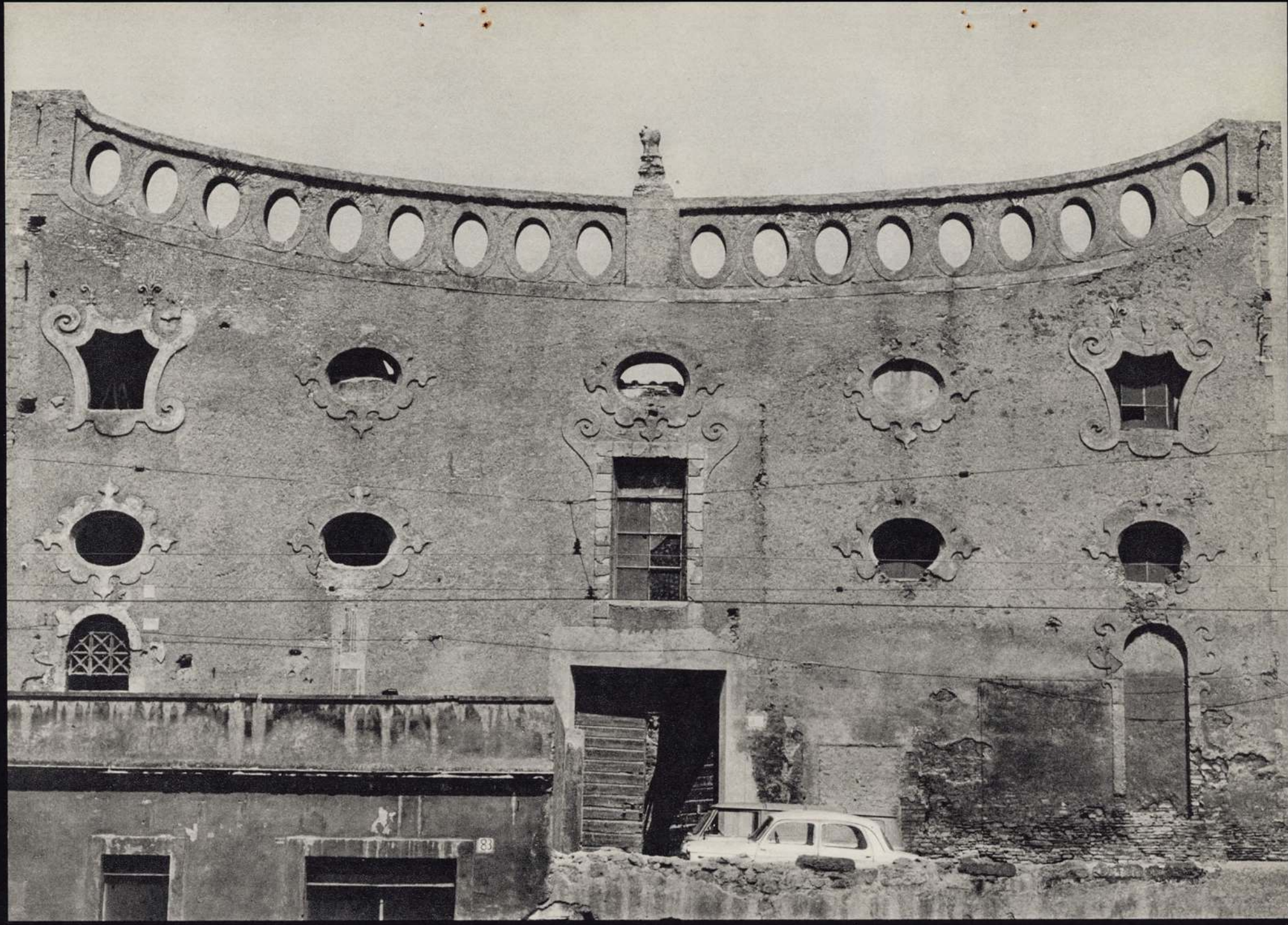
1. Projects and its Background in Chubu Province *61*
2. From the View Point of Residents living—What has the Project brought to the Residents. *64*
3. Development of Residential Movement *69*
4. The Facts of Project and Residential Movement *73*

Postscript-Planners Role *76*
Supplement: Plans in Hagoya and Environs From the Side of Residence, Education and Health *77*

COLUMN OF ENGINEERING

78. Catalog-Table for Column of Engineering *83*

BULLETIN *23, 84*



海外写真

写真と文　福田晴虔

漆喰文化——ローマ・ヴィア・ディ・チェルキの家

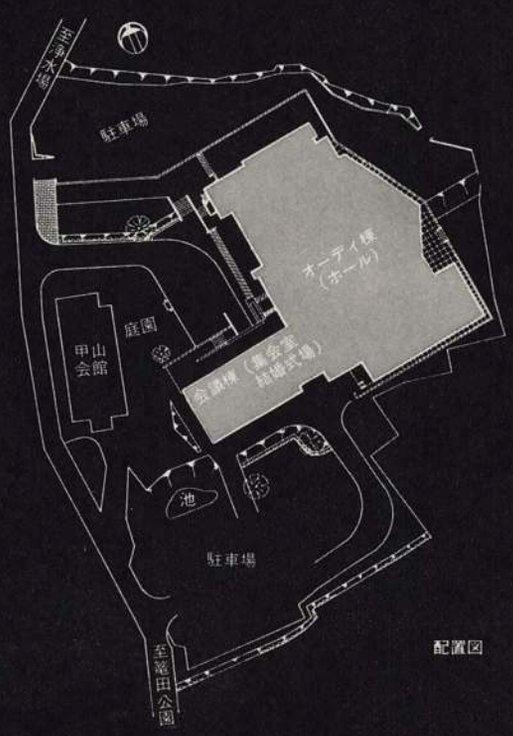
ローマのチルコ・マッシモ、即ちベン・ハーの戦車競技で知られる競技場沿いに、半ばこわれて舞台の書割然と建っている。実はこれが何物か私は全く知らないのだが、御存知の方はあるまいか。漆喰の落ちた所からローマ特有の薄べったい煉瓦がのぞいている。それにしても、ハリボテだからといっておとしめるには、少々風格があり過ぎる。

東海の新建築

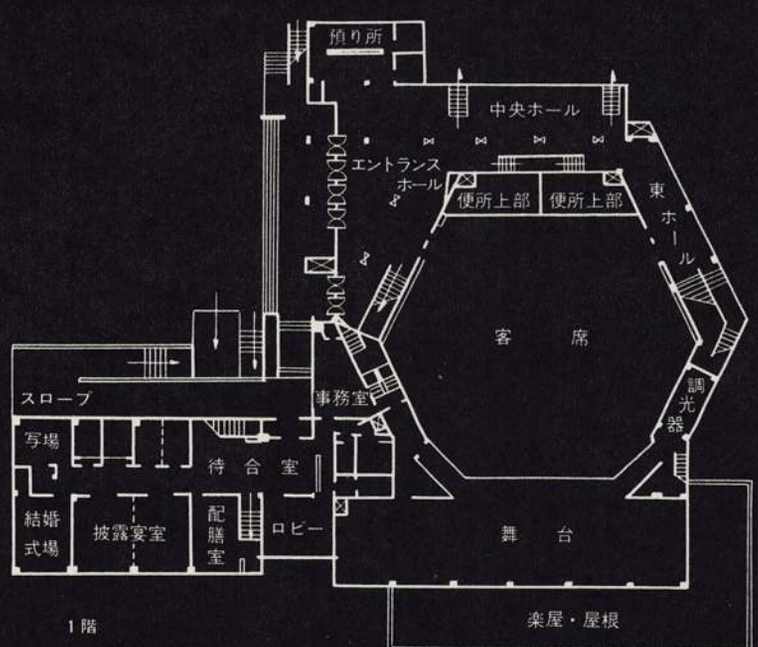




岡崎市民会館



配置図



1階

去る43年11月中旬に、編集委員会作品作風小委員会のメンバーは、三班に分れ、それぞれ三日間にわたって、東海三県（愛知県・岐阜県・三重県）における最近1・2ヵ年に竣工の新建築を見て回った。この企画は、以前の「四国の新建築」調査（この結果は昭和42年10月号に集録した）につづくものである。今回調査した新建築は全部で150点を超えたが、写真は委員らが撮影したものと関係者から提供していただいたものを使用した。従来、大々的にとり扱われたものや、本号の他の頁で補足されているものは重複をさける意味で一応のぞいたものもあるが、それでも約90点ばかりになった。もちろん、これで東海三県の優秀新建築がもれなく集録できたものでなく、調査もれや、調査時点以降に竣工の新建築などで優秀なものがかなりあると思われる。この点はご了承ねがいたい。この企画ならびに調査にあたって、東海三県下の関係官公庁、設計事務所、建設会社その他多くの方々のご協力をえたことを感謝します。

作品作風小委員会メンバー：西村源之助・高木富夫、中村文男、寺嶋繁久、山口哲夫、遠藤良介、遠藤毅、星野三雄、森秋孝。

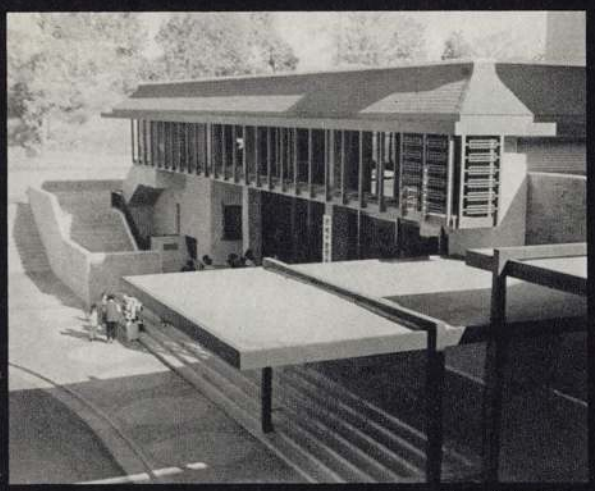
岡崎市民会館

設　計　日建設計工務株式会社
施　工　飛島建設株式会社

所在地　岡崎市六供町字出崎
15～1
敷地面積　16,059.262㎡
建築面積　3,588.486㎡
延面積　5,589.104㎡
内　訳　オーディトリアム棟
4,203.978㎡
会議棟　1,385.126㎡
構造規模　RC、B2、4F
工　期　昭和41年5月～
昭和42年6月
外　装　ドイツ壁、波型鋼板型
枠打放しその他
屋　根　三星シングル葺、その他



オーディ棟玄関より会議棟を望む



オーディ棟玄関



会議棟南面▲



エントランスホール

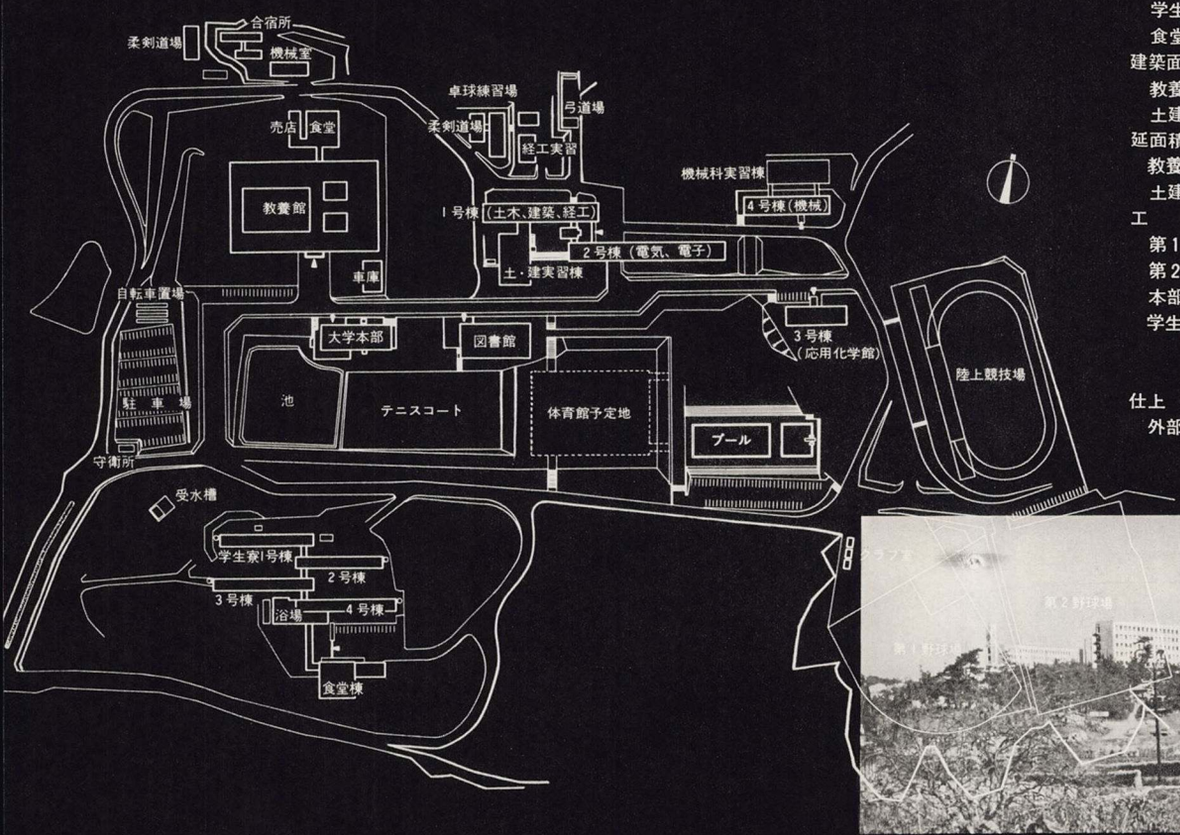


▼オーディ棟大ホール客席

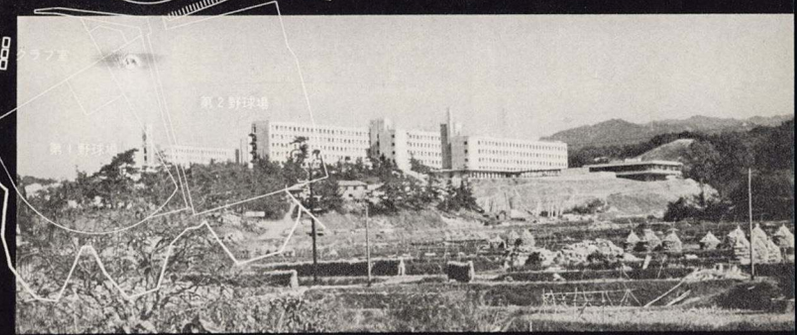
中央は本部棟、右向うは土木建築科棟、左向うは教養棟。

愛知工業大学工学部

設　計　清水建設株式会社設計部
施　工　清水建設株式会社

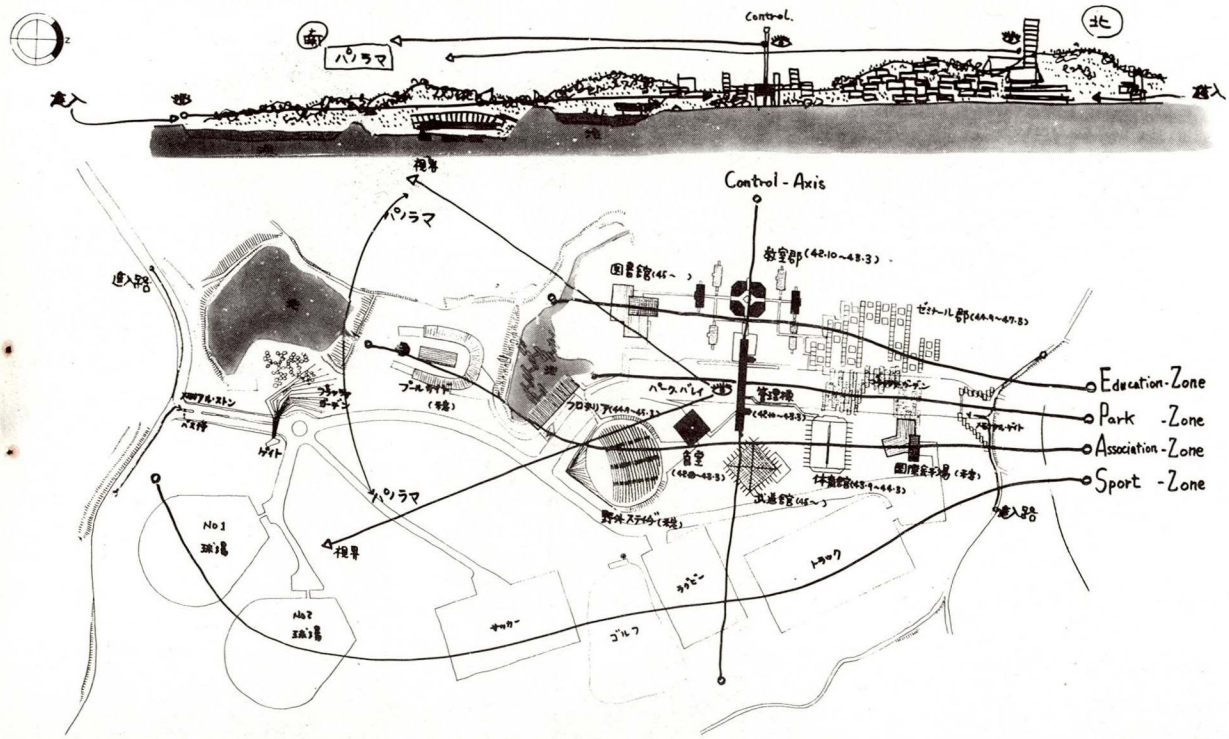


所在地　愛知県豊田市大字八草
規　模
　第1期　教養館RC造2階建
　第2期　土木建築科棟RC造6階
　　（実習棟2階建）
　本部棟　RC造地下1階・地上4階
　学生寮棟　RC造地上5階建
　食堂棟　RC造平家
建築面積
　教養館3,887.9M²本部棟899,50M²
　土建棟1,782.9M²学生寮食堂2,491.5M²
延面積
　教養館7,308.2M²本部棟2,869.6M²
　土建棟7,420,5M²学生寮≒7,600M²
工　期
　第1期　S40.12.5～41.7.31
　第2期　S41.8.1～43.3.31
　本部棟　竣工　43.1.31
　学生寮1号棟　S40.12.15～41.7.31
　　2号棟41,8.1～42.7.31
　　4号棟食堂棟　S42.9.1.～43.3.31
仕上
　外部　コンクリート打放し仕上
　　アルミサッシュ取付

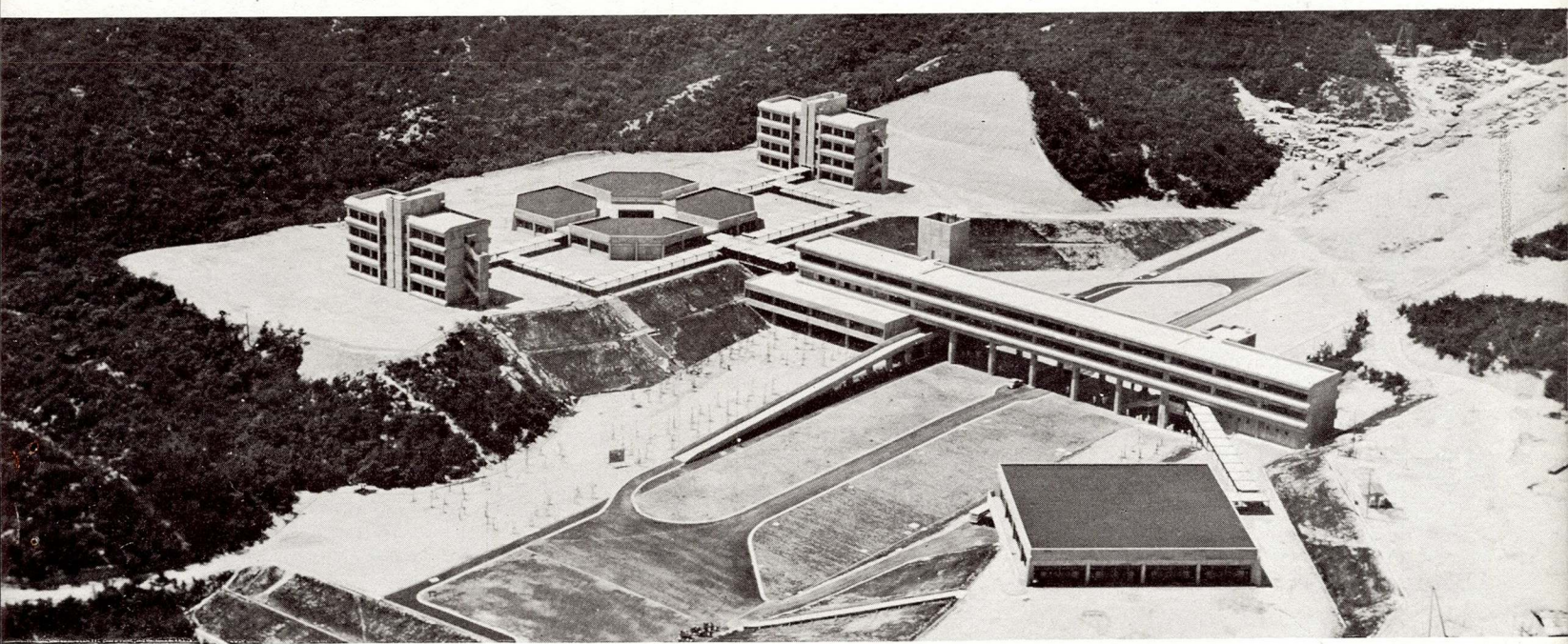


学生寮と食堂棟（右端）を望む

名古屋商科大学新キャンパス



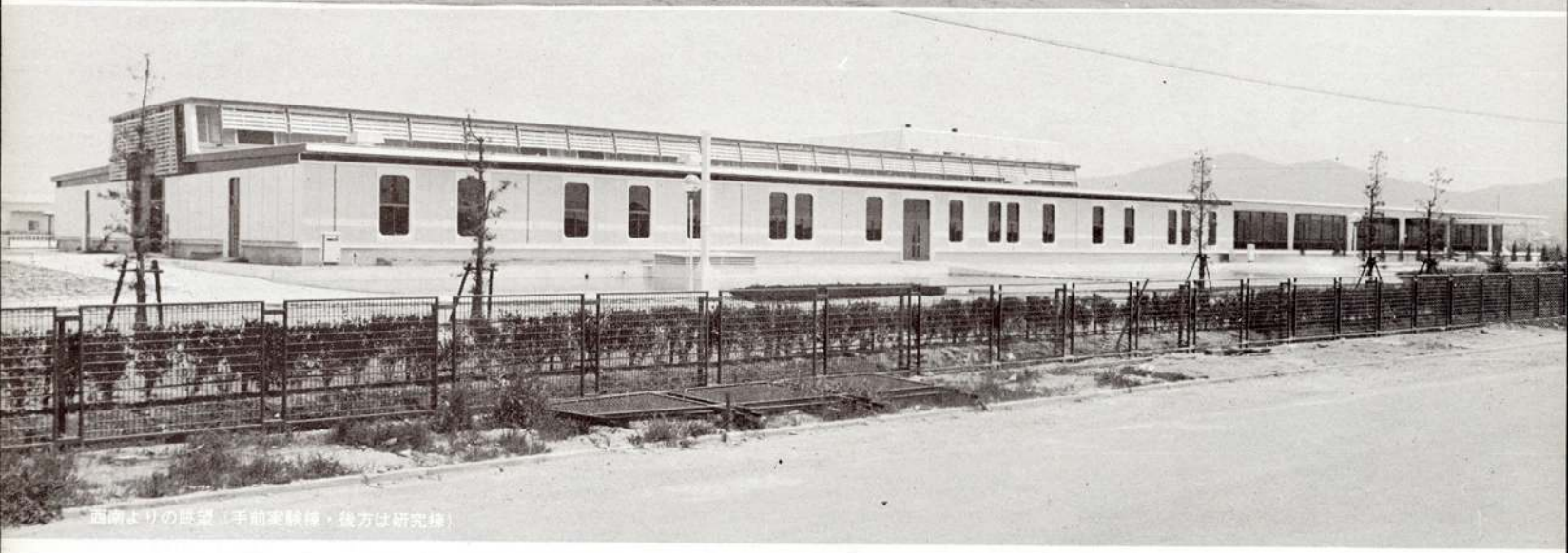
設計監理	株式会社 竹中工務店 名古屋支店設計部
施工者	株式会社 竹中工務店 名古屋支店
所在地	愛知県愛知郡日進町 大字米野木三ヶ峯4の4
構造	RC&S
規模	管理棟 RC・F4，P2． 大教室 RC・F1， 小教室 RC・F4，P1 食堂 RC・B1，F1 渡廊下 RC&S・F1．
建築面積	6,713.9㎡
延面積	12,475.7㎡
工期	42.10.24～43.4.8
外部仕上	屋根：モルタル防水または化学防水 外壁：コンクリート打放し（合板型わく） 開口部：アングル骨組によるユニットスチール・サッシュ．O.P仕上







正面外観（東面よりの眺望・後方は実験棟）



西南よりの眺望（手前実験棟・後方は研究棟）

自転車技術研究所

設計監理　日建設計工務株式会社
施　　工　清水建設株式会社名古屋支店

所 在 地　愛知県犬山市大字羽黒新田
敷地面積　40,020.614㎡
建築面積　6,597.835㎡
研究棟床面積　2,274.613㎡
実験棟床面積　3,273.561㎡
構　　造　軸部鉄骨造　研究棟柱ＳＲＣ造
外　　装　モルタル金鏝特殊塗装
　　モルタル刷毛引　天然石吹付
　　建具 ＰＣ窓枠アルミサッシ（発色法）
工　　期　昭和42年10月～43年６月



研究棟玄関ホール（手前は展示コーナー）



実験棟内部。梁下に３tonサスペンションクレーン
天井パネルはパネルヒーティング（温水）

A．春日井市立藤山台小学校

設 計 者　吉武研究室・三阪建築事務所
所 在 地　春日井市高蔵寺ニュータウン内
建築面積　953m²　　延面積　1,680m²
工　　期　昭和43年5月一部完成

B．新瀬戸電話局

設　　計　東海電気通信局
施　　工　大成建設株式会社
所 在 地　瀬戸市陶栄町一番地
建築面積　1,097m²
延 面 積　6,660m²
構造規模　SRC,BI,6F及び10F
工　　期　昭和41年10月～43年3月

C．津島公団住宅

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　㈱間組
所 在 地　津島市錦町
建築面積　8,152m²　延 面 積　28,199m²
構造規模　RC,8·5F,6棟,431戸
工　　期　昭和41年3月～44年1月

D．一宮市消防庁舎

設　　計　一宮市建築課
施　　工　西松建設株式会社
所 在 地　一宮市花祇通り6丁目
建築面積　694,32m²
延 面 積　2,079,96m²
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和42年7月～43年3月

E．愛知県茶臼山野外活動ロッジ

設　　計　㈱大阪建築事務所
　　愛知県建築部営繕課
施　　工　㈱花田工務店
所 在 地　愛知県北設楽郡豊根村
　　大字坂宇場
建築面積　1,169,9m²
延 面 積　2,292.9m²
構造規模　RC、3F一部2F及び平家
工　　期　昭和42年6月～43年6月

F．名豊ビル

設　　計　名鉄不動産㈱
　　山下寿郎設計事務所
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　豊橋市駅前大通り2－48
建築面積　1,642m²　延面積　19,354m²
構造規模　SRC,B2,9F,P3
工　　期　昭和42年6月～43年9月

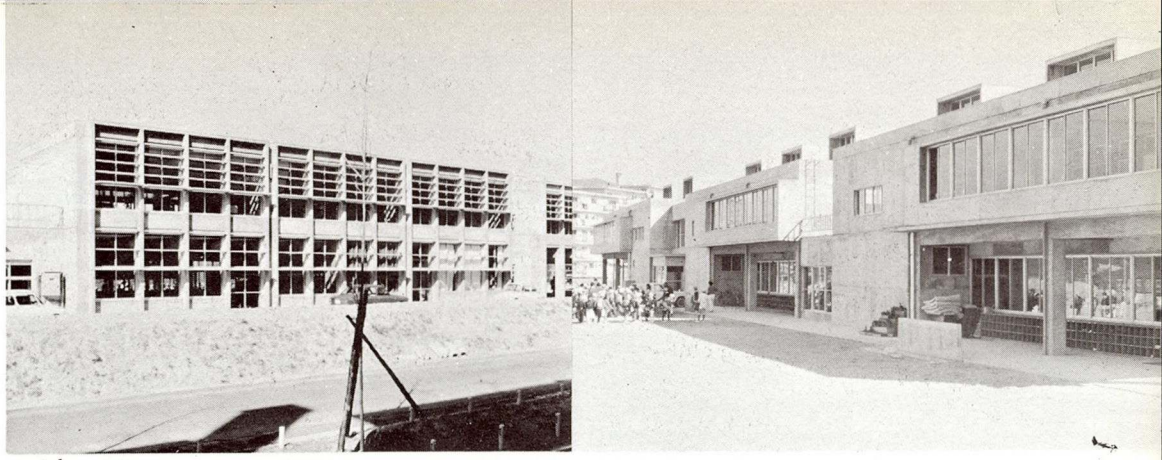
G．岡崎スポーツガーデン

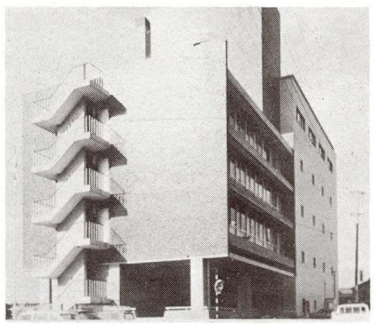
設　　計　岡崎市建築課
　　RIA建築綜合研究所
施　　工　小原建設
所 在 地　岡崎市康生通
建築面積　3,904.75m²
延 面 積　7,167.37m²
構造規模　3F
工　　期　昭和43年1月～43年6月

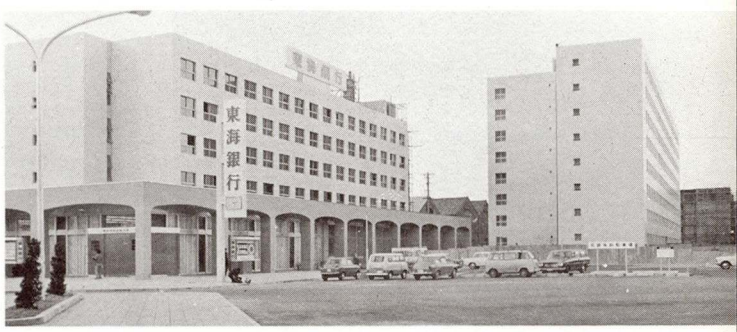
H．名古屋学院大学

設　　計　山下寿郎設計事務所
施　　工　㈱熊谷組
所 在 地　瀬戸市上品野町1350
建築面積　5,287.82m²
延 面 積　28,738.87m²
構造規模　RC及びS
工　　期　昭和41年5月～43年4月

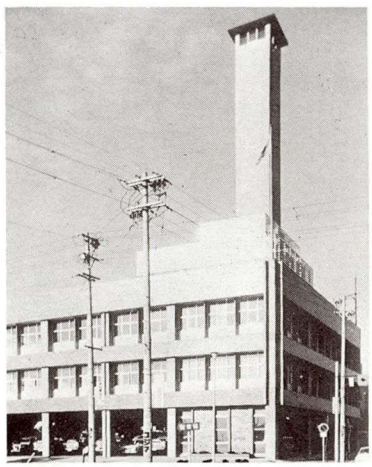
〈愛知県〉
（瀬戸・津島・豊橋・一宮・岡崎）


▲A


▲B



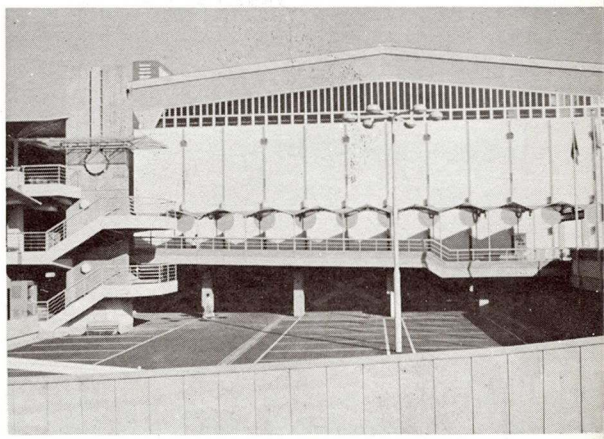
▲C


▲D


▲E

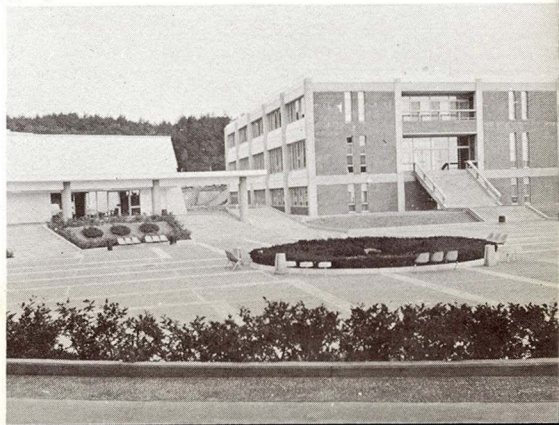

▲F

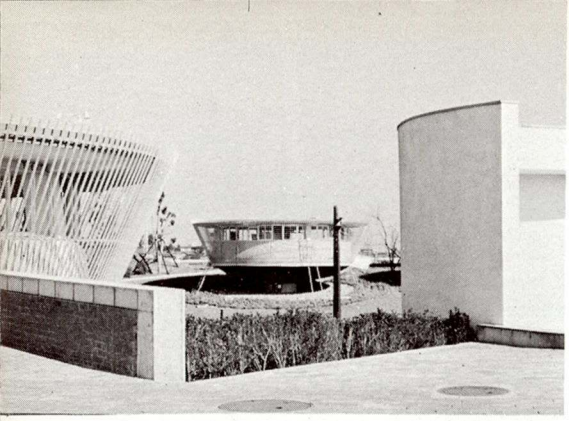
▼H－1


▲G

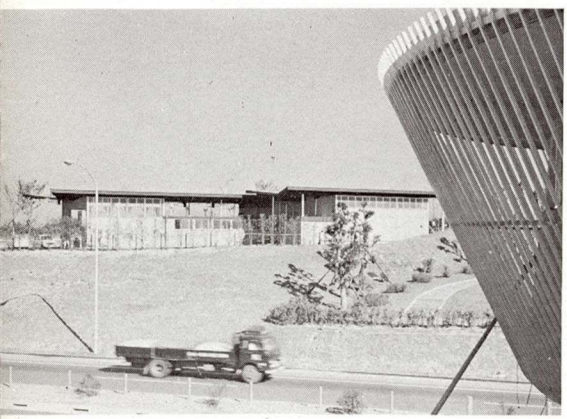
▼H－2

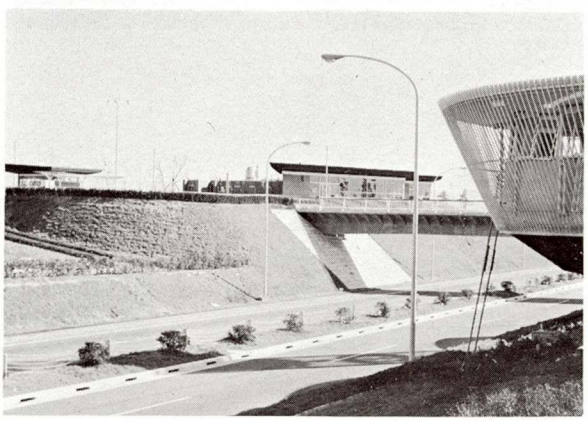












▲A（4点とも）

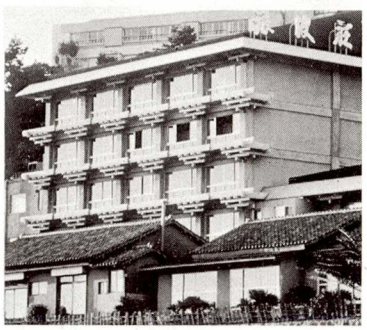
▼B



▼C



▼D



▼E



▼F



▼G



A　東名上郷サービスエリア

設　　計　柳建築設計事務所
施　　工　前田建設工業株式会社
所 在 地　豊田市大字永覚新郷
延 面 積　1,986.80㎡
構造規模　S造、RC造、及びCB造
工　　期　昭和42年9月～43年4月

B．安城市庁舎

設　　計　桂建築設計事務所
施　　工　三井建設株式会社
所 在 地　安城市
建築面積　1,534㎡
延 面 積　5,344㎡
構造規模　SRC、3F、B1
工　　期　昭和42年11月～41年11月

C．安城市農協会館

設　　計　丹羽英二設計事務所
施　　工　㈱鴻池組
所 在 地　安城市御幸本町9の6
建築面積　600.50㎡
延 面 積　2,329.25㎡
構造規模　SRC、4F、P2
工　　期　昭和42年2月～42年12月

D．銀波荘

設　　計　名古路建築設計事務所
施　　工　㈱浅沼組
所 在 地　蒲郡市西浦町大山25
延 面 積　2,621.67㎡
構造規模　RC、5F
工　　期　昭和42年11月～43年8月

E．名古屋大学空電研究所

設　　計　各務建築設計事務所
施　　工　三井株式会社
　　松井建設株式会社
所 在 地　豊川市市田町
延 面 積　3,000㎡
構造規模　RC、3F、P(SC)
工　　期　昭和42年3月～42年12月

F．常滑市民病院看護婦宿舎

設　　計　田中西野建築設計事務所
施　　工　榊原建設株式会社
所 在 地　常滑市字鯉江新開1番地
建築面積　101㎡
延 面 積　506㎡
構造規模　RC、5F
工　　期　昭和42年8月～43年5月

G．蒲郡市民体育館

設　　計　石本建築事務所
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　蒲郡市緑町1番地
建築面積　4,239㎡
延 面 積　5,263㎡
構造規模　S、及びRC
工　　期　昭和42年4月～43年1月

〈愛知県〉

（安城・蒲郡・豊川・豊田・常滑）

H．東海産業医療団中央病院

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　愛知県知多郡上野町字
　　荒尾丸根34
建築面積　2,046m²　延 面 積　6,497m²
構造規模　RC、4F、BI
工　　期　昭和42年3月～ 43年3月

I．富士製鉄上野台団地22号棟

設計施工　鹿島建設株式会社
所 在 地　愛知県知多郡上野町
　　大字富木島
建築面積　970m²　延 面 積　10,870m²
構造規模　RC、14F
工　　期　昭和42年12月～43年10月

J．富士製鉄体育館

設計施工　大成建設株式会社
所 在 地　愛知県知多郡上野町
建築面積　3,862m²
延 面 積　4,029m²
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和40年12月～41年8月

K．上野町役場

設　　計　浦野設計事務所
施　　工　佐藤工業株式会社
所 在 地　愛知県知多郡上野町
建築面積　1,093m²延面積　3,281m²
構造規模　RC、3F、B1
工　　期　昭和40年7月～41年6月

L．東浦町役場

設　　計　加藤建築事務所
施　　工　㈱竹中工務店
所 在 地　愛知県知多郡東浦町

M．松崎病院

設　　計　三井建設株式会社
　　一級建築士事務所
施　　工　三井建設株式会社
所 在 地　豊橋市三本木字元三本木
建築面積　479.224m²
延 面 積　855.643m²
構造規模　RC、平家及び2F
工　　期　昭和42年12月～43年8月

N．中部電力知多火力発電所

設　　計　中部電力火力部土建課
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　愛知県知多郡知多町
建築面積　9,007m²　延 面 積　25,946m²
構造規模　SC、一部SRC、3F
工　　期　昭和38年9月～43年2月

O．常滑市民体育館

設　　計　三橋建築設計事務所
施　　工　西松建設株式会社
所 在 地　常滑市鯉江新開
建築面積　1,872m²
延 面 積　3,725m²
構造規模　SRC、3F、B1
工　　期　昭和40年11月～41年9月

P．刈谷市民会館

設計施工　㈱竹中工務店
所 在 地　刈谷市大手町
建築面積　2,677m²延面積　6,141m²
構造規模　RC及びSRC、3F、B1
工　　期　昭和39年10月～40年5月

〈愛知県〉

（知多・豊橋・常滑・刈谷）



▲H



▲I



▲J



▲K

▼L



▼N



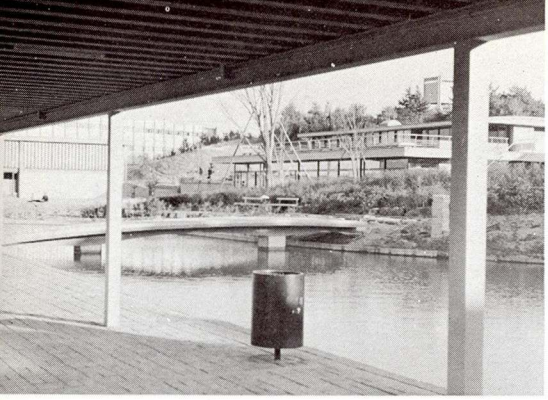
▲M　▼O





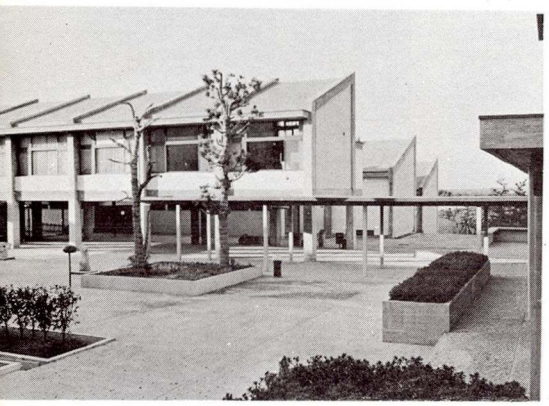
▼P







▲A（4点とも）



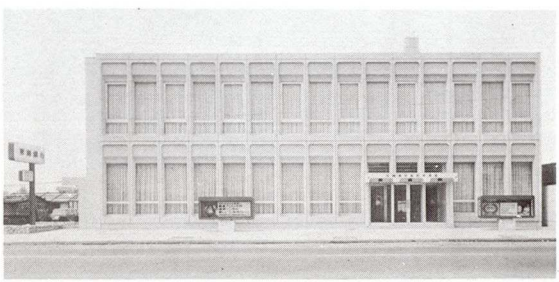
▼B



▲A



▼D



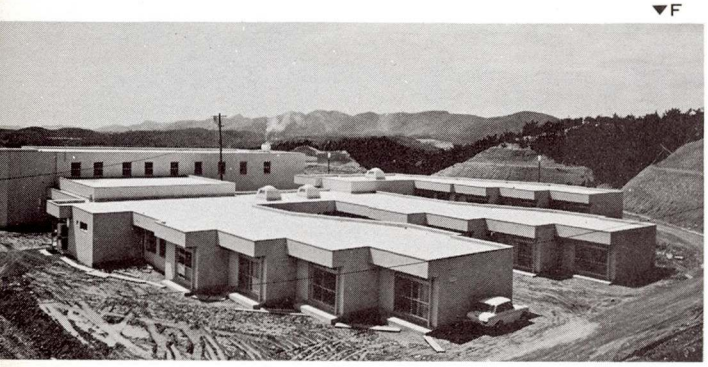
▲C



▼F

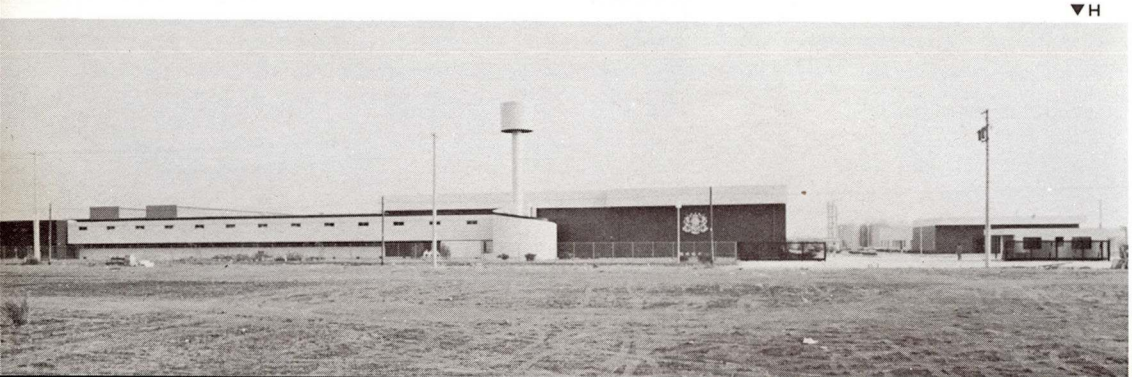


▼E　▼G





▼H



A．県立芸術大学

設　　計　愛知県建築部
　　吉村設計事務所
所 在 地　愛知県愛知郡長久手村
敷地面積　306,307m²
延 面 積　9,618m²
工　　期　昭和40年7月～44年7月
　　（第4期完成予定）

B．愛知県警察学校

設　　計　建設省中部地方建設局
施　　工　三井建設株式会社
所 在 地　春日井市廻間町 神尾洞703
延 面 積　1,050m²
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和42年10月～43年2月

C．東海銀行春日井支店

設　　計　㈱安井建築設計事務所
施　　工　佐藤工業株式会社
所 在 地　春日井市鳥居松町5丁目37
建築面積　479m²　延 面 積　880m²
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和41年12月～42年7月

D．結婚式場共栄会館

設　　計　岡建築設計事務所
施　　工　㈱浅沼組
所 在 地　瀬戸市共栄通1－20
延 面 積　1,099.64m²
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和42年5月～42年10月

E．農業総合試験場研修館

設　　計　㈱篠田川口建築事務所
施　　工　栄興建設株式会社
所 在 地　愛知郡長久手村大字岩作
建築面積　2,774.54m²
延 面 積　3,016.91m²
構造規模　RC、2F一部1F
工　　期　昭和42年10月～43年3月

F．愛知県心身障害者コロニー

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　佐藤工業株式会社
所 在 地　春日井市神屋町海道713－1
建築面積　3,106.8m²
延 面 積　5,068.11m²
構造規模　RC、平家及び2F
工　　期　昭和42年11月～43年3月

G．高蔵寺ニュータウン藤山台団地

設　　計　日本住宅公団
　　日建設計工務株式会社
所 在 地　春日井市白山町藤山外
敷地面積　116,034m²
延 面 積　69,605m²
構造規模　RC、主に5F、1577戸
工　　期　昭和42年6月～43年5月

H．サントリー㈱木曽川工場

設　　計　㈱安井建築設計事務所
施　　工　東海興業株式会社
所 在 地　犬山市大字羽黒新田
建築面積　6,370m²　延面積 6,824m²
構造規模　SC一部RC、平家
工　　期　昭和42年9月～43年4月

〈愛知県〉
（春日井・瀬戸・犬山）

I．愛知トヨタ本社別館

設計施工　㈱竹中工務店
所 在 地　名古屋市昭和区東郊通
　　9－17
建築面積　2,490m²
延 面 積　6,398m²
構造規模　RC、BI、3F、P2
工　　期　昭和41年12月～42年10月

J．名城大学天白4号館

設　　計　丹羽英二建築事務所
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　名古屋市昭和区天白町
　　八事裏山69
建築面積　4,306m²
延 面 積　19,097m²
構造規模　SRC、5F、P3
工　　期　昭和42年3月～43年3月

K．国立療養所梅森光風園

設　　計　厚生省
施　　工　㈱大林組
所 在 地　名古屋市昭和区天白町
　　植田字梅森坂21－8
建築面積　3,990m²
延 面 積　15,950m²
構造規模　RC、7F、P2
工　　期　昭和40年4月～43年3月

L．瑞穂プール

設　　計，㈱大阪建築事務所
　　名古屋市建築局営業課
施　　工　㈱大林組
所 在 地　名古屋市瑞穂区萩山町
建築面積　7,051.8m²
延 面 積　9,285.9m²
構造規模　RC、2F一部SRC、3F
工　　期　昭和41年8月～42年7月

M．野垣病院

設　　計　木村建築事務所
施　　工　大成建設株式会社
所 在 地　名古屋市瑞穂区川澄町1
建築面積　583m²
延 面 積　4,118m²
構造規模　RC、BI、6F、P2
工　　期　昭和42年1月～43年2月

N．メソン東山

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　名古屋市千種区新池町2の1
建築面積　645m²
延 面 積　3,806m²
構造規模　RC、7F
工　　期　昭和42年1月～42年12月

〈名古屋市〉



▲I

▼J



▼K



▼L

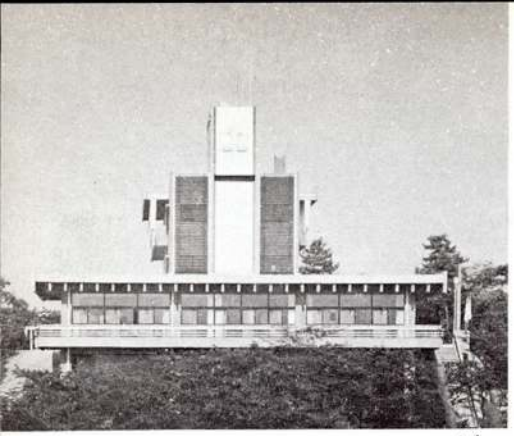


▼M



▼N





▲A



▲B

A．市立名古屋ユースホステル

設　計　㈱大阪建築事務所・名古屋市
　　建築局営繕部学校建築課
施　工　㈱松村組
所在地　名古屋市千種区田代町
　　字瓶机１の50
建築面積　639.4m²　延面積　1,212.6m²
構造規模　RC、3F一部BI
工　期　昭和42年８月～43年３月

B．安田火災自由ケ丘家族寮

設　計　㈱浦辺建築事務所
施　工　大成建設株式会社
所在地　名古屋市千種区田代町鹿の
　　子殿81－1047
建築面積　442m²　延面積　1,387m²
構造規模　RC、3F一部BI
工　期　昭和42年11月～43年６月



▲C



▲D

C．吉田外科病院

設　計　永設計事務所
施　工　㈱間組
所在地　名古屋市千種区大久手町５
建築面積　328.88m²
延面積　1,623.69m²
構造規模　RC、BI、5F、P２、
工　期　昭和42年６月～43年４月



▲E



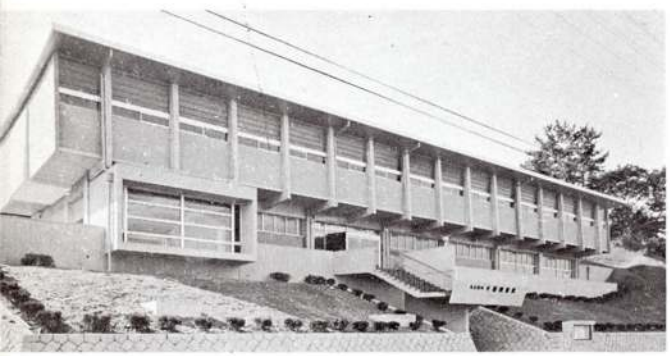
▲F



▲G

D．サンモリッツ

設　計　芦原義信建築設計事務所
施　工　清水建設株式会社
所在地　名古屋市千種区猪高町
建築面積　1,195m²延面積　1,873m²
構造規模　RC、2F、B1
工　期　昭和43年２月～43年６月



▼J



▲H

E．名古屋工業大学
一般教養学部

設　計　教育文化研究所
施　工　㈱鳴池組
所在地　名古屋市千種区花田町
建築面積　3,088.95m²
延面積　9,401.05m²
構造規模　RC、BI、7F、PI
工　期　昭和41年10月～42年８月

F．名古屋第二赤十字
病院病棟

設　計　㈱横河工務店
施　工　㈱大林組
所在地　名古屋市昭和区妙見町２
建築面積　885m²
延面積　4,644m²
構造規模　RC、6F、P２
工　期　昭和41年10月～43年３月



G．岡田病院

設　計　大西設計事務所・㈱大林組
施　工　㈱大林組
所在地　名古屋市南区松池町
建築面積　987m²延面積　3,057m²
構造規模　RC６F
工　期　昭和41年５月～42年10月

H．千種図書館

設　計　名古屋市建築局営繕部
　　学校建築課
施　工　㈱松村組
所在地　名古屋市千種区田代町
　　字瓶机１の13 7
建築面積　696.960m²
延面積　1,106.508m²
構造規模　RC、2F、
工　期　昭和43年３月～43年９月

〈名古屋市〉

I．東海銀行汁谷単身寮

設　　計　㈱安井建築設計事務所
施　　工　㈱間組
所 在 地　名古屋市千種区汁谷町11
建築面積　1,449m² 延 面 積　4,220m²
構造規模　RC、5F及び4F一部平家
工　　期　昭和41年9月～42年5月

J．マツダオート名古屋 覚王山営業所

設　　計　岬建築事務所
施　　工　㈱鴻池組
所 在 地　名古屋市千種区月見坂町2の4
建築面積　539.5m² 延 面 積　623.74m²
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和42年12月～43年5月

K．野村証券名古屋支店

設　　計　㈱安井建築設計事務所
施　　工　㈱竹中工務店
所 在 地　名古屋市中区錦町2丁目
建築面積　1,492m² 延 面 積　3,733m²
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和42年8月～43年5月



▲K

L．名古屋商工会議所

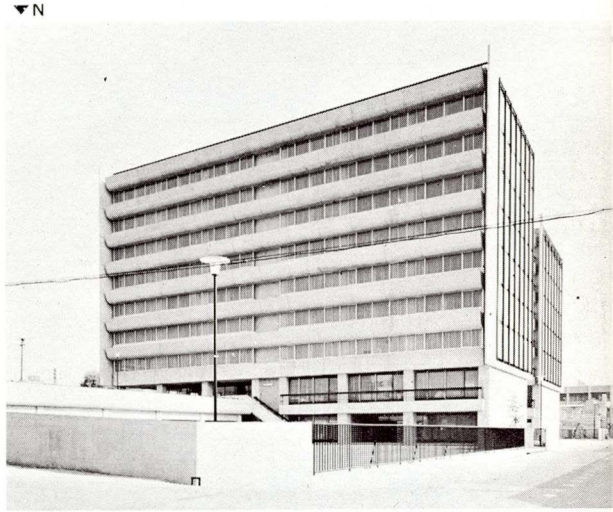
設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　㈱竹中工務店、㈱大林組
所 在 地　名古屋市中区2丁目10番19号
建築面積　2,191m² 延 面 積　26,906m²
構造規模　SRC、11F、B2
工　　期　昭和41年2月～42年10月



▼L

M．住友生命栄町ビル

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　名古屋市中区錦3丁目16番1号
建築面積　580m²　延 面 積　5,980m²
構造規模　SRC、9F、B1
工　　期　昭和41年12月～43年6月



▼N

N．東海電気通信局庁舎

設　　計　電々公社本社建築局設計課
施　　工　㈱鴻池組
所 在 地　名古屋市中区小林町30の5
建築面積　1,863.06m²
延 面 積　18,465.83m²
構造規模　SRC、B2、8F、P1
工　　期　昭和40年3月～42年5月



▼O

O．日本住宅公団老松アパート

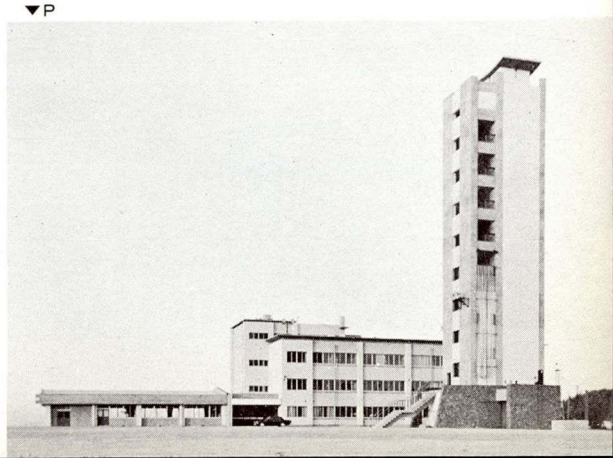
設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　清水建設株式会社
所 在 地　名古屋市中区老松町7の8
建築面積　2,931m² 延 面 積　13,541m²
構造規模　SRC、9F、B1
工　　期　昭和40年7月～42年8月



▼M

P．名古屋市消防学校

設　　計　名古屋市建築局
施　　工　㈱石田組
所 在 地　名古屋市守山区下志段味
建築面積　1,464m²延面積　3,097m²
構造規模　(本館)RC、3F (塔)SRC、11F
工　　期　昭和42年10月～43年7月



▼P

〈名古屋市〉



▲A



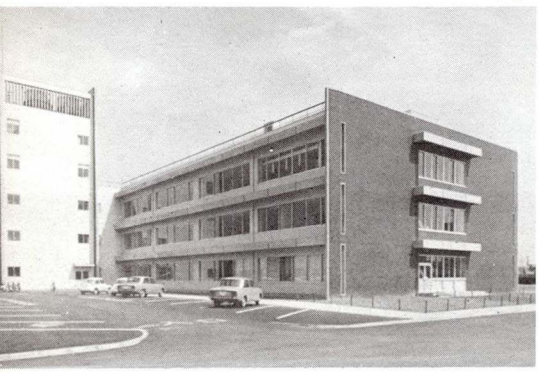
▲B



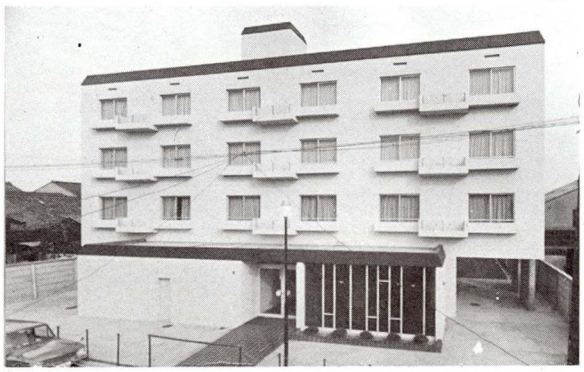
▼C

▼D

▼E



▼F



▼G





▼H



▼I



A．創価学会名古屋文化会館

設　計　創造社
施　工　鹿島建設株式会社
所在地　名古屋市西区数寄屋町
建築面積　442m²　延面積　2,700m²
構造規模　RC、B1、5F
工　期　昭和42年2月～43年4月

B．全国信用金庫連合会 名古屋支店

設　計　日建設計工務株式会社
施　工　安藤建設株式会社
所在地　名古屋市東区添池町
建築面積　657m²　延面積　2,132m²
構造規模　RC、5F
工　期　昭和42年1月～42年11月

C．名古屋合同庁舎第2号館

設　計　建設省中部地方建設局営繕部
施　工　㈱竹中工務店
所在地　名古屋市中区南外堀町
建築面積　1,542m²　延面積　15,813m²
構造規模　SRC、B2、8F
工　期　昭和40年9月～42年10月

D．㈱大隈鉄工所本社事務所

設　計　日建設計工務株式会社
施　工　戸田建設株式会社
所在地　名古屋市北区辻町1の32
建築面積　1,794m²　延面積　5,466m²
構造規模　RC、3F、B1
工　期　昭和42年11月～43年7月

E．日生ホームランド

設計施工　㈱竹中工務店
所在地　名古屋市東区新出来町3-118
建築面積　436m²　延面積　1,534m²
構造規模　RC、4F、P1
工　期　昭和42年3月～43年10月

F．名鉄バスターミナルビル

設　計　日建設計工務株式会社
施　工　鹿島建設㈱・㈱竹中工務店
　　大成建設㈱・清水建設㈱㈱間組
所在地　名古屋市中村区笹島町1の223
建築面積　9,438m²　延面積　84,779m²
構造規模　SRC、18F、B2
工　期　昭和39年8月～昭和42年10

G．名古屋港郵便局

設　計　名古屋郵政局
施　工　㈱大林組
所在地　名古屋市港区名港通り1-40
建築面積　952m²　延面積　3,816m²
構造規模　RC、B1、3F、P2
工　期　昭和42年3月～43年7月

H．両口屋

設計施工　㈱竹中工務店
所在地　名古屋市東区東門前町
建築面積　192m²　延面積　192m²
構造規模　W、平家
工　期　昭和42年11月～42年12月

I．真宗大谷派名古屋別院

設　計　日建設計工務株式会社
施　工　清水建設株式会社
所在地　名古屋市中区下茶屋町57
建築面積　2,228m²　延面積　4,870m²
構造規模　SRC、2F
工　期　昭和41年11月～43年3月

〈名古屋市〉

105銀行本店

所在地　津市伊予町津403番地
設　計　清水建設株式会社
　　設計部
施　工　清水建設株式会社
規　模　ＳＲＣ、Ｂ１、Ｆ11
　　最高高さ　43ｍ
敷地面積　3,555㎡
建築面積　1,670㎡
延面積　10,335㎡
工　期　着工　昭和41年12月
　　竣工　昭和43年８月

〈三重県〉　（津・鳥羽・度会郡）

Ａ．ホテル鯛池

設　計　吉中建築設計事務所
施　工　大成建設株式会社
所在地　三重県鳥羽市小浜町
　　字城山610の１
建築面積　2,497㎡
延面積　7,742㎡
構造規模　ＲＣ、Ｂ６、４Ｆ、Ｐ２
工　期　昭和41年11月～43年１月

Ｂ．池の浦荘

設　計　彦谷設計事務所
施　工　大成建設株式会社
所在地　三重県度会郡二見町池の浦
建築面積　2,126㎡
延面積　6,423㎡
構造規模　ＲＣ、Ｂ１、６Ｆ、Ｐ１
工　期　昭和42年５月～43年３月

▼A



▼B



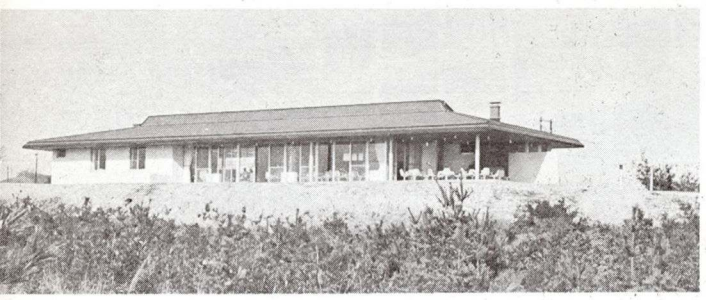


▲A

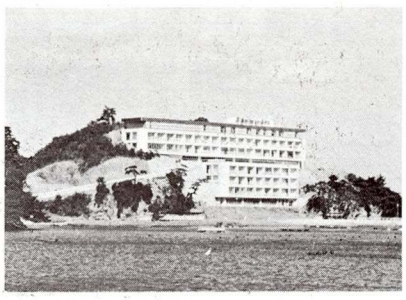
A．長島温泉熱帯植物園

設計施工　㈱竹中工務店
所 在 地　三重県桑名郡長島町大字福吉字青鷺川880
建築面積　14,276m²
延 面 積　14,227m²
構造規模　S、1F
工　　期　昭和43年2月～43年7月

▼B



▼C



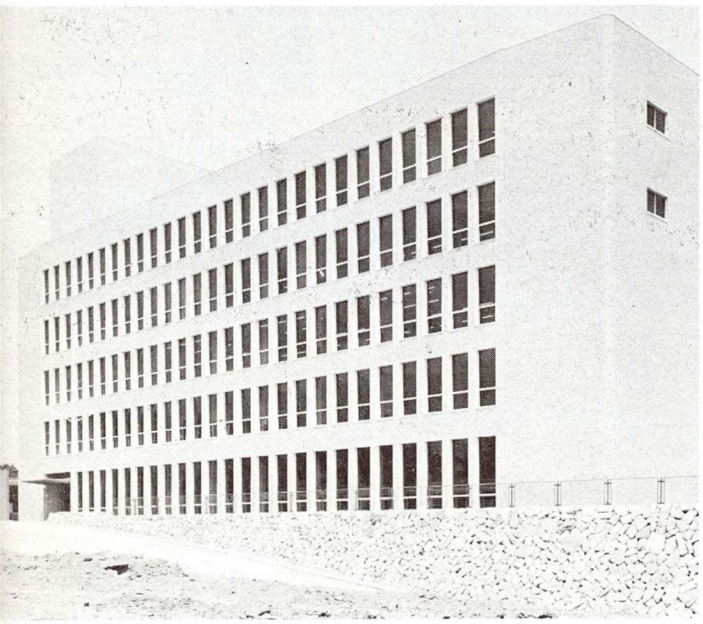
B．日楽合歓の郷

設計施工　大成建設株式会社
所 在 地　三重県志摩郡浜島町大崎
建築面積　2,471m²
延 面 積　2,471m²
構造規模　SRC、平家
工　　期　昭和42年8月～43年1月

C．上野観光日ヶ崎荘

設　　計　岡建築設計事務所
施　　工　鹿島建設株式会社
所 在 地　三重県鳥羽市小浜町
建築面積　1,138m²
延 面 積　4,406m²
構造規模　RC一部S、B1、4F
工　　期　昭和42年2月～昭和43年7月

▼D



▼E



D．三重県農協会館

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　清水建設株式会社
所 在 地　津市栄町1の179
建築面積　1,832m²
延 面 積　8,635m²
構造規模　RC、5F、B1
工　　期　昭和41年7月～昭和42年7月

E．四日市市水道局庁舎

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　大成建設株式会社
所 在 地　四日市市堀木町135
建築面積　1,257m²
延 面 積　4,237m²
構造規模　RC、B1、4F、P1
工　　期　昭和42年4月～昭和43年3月

▼F



F．合同ビル

設　　計　東畑建築事務所
施　　工　㈱竹中工務店
所 在 地　津市栄町1丁目171番地
建築面積　1,887.14m²
延 面 積　8,216.49m²
構造規模　SRC、B1、6F、P1
工　　期　昭和42年12月～43年3月

▼G



G．日本鋼管㈱共同宿舎

設　　計　R.I.A建築総合研究所
施　　工　六合建設株式会社
所 在 地　三重県一志郡久居町大字本村
建築面積　1,757m²
延 面 積　3,367m²
構造規模　RC、5F及び平家
工　　期　昭和42年11月～43年8月

〈三重県〉

（津・四日市・鳥羽・長島他）

H．赤阪総合福祉センター

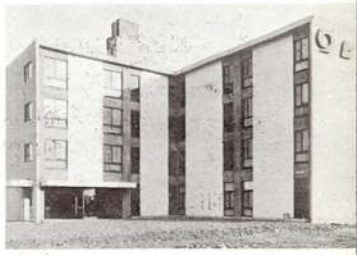
設　　計　大名設計株式会社
施　　工　㈱奥村組
所 在 地　大垣市書籍町
建築面積　1,144.4m²
延 面 積　3,673.1m²
構造規模　RC一部S、B1、4F
工　　期　昭和42年7月～43年6月



▲H



▲I



▲J

I．NHK岐阜放送会館

設　　計　野生司建築設計事務所
施　　工　㈱大林組
所 在 地　岐阜市京町2丁目3
建築面積　1,025m²
延 面 積　2,407m²
構造規模　RC、3F、P1
工　　期　昭和41年11月～42年11月

J．広田株式会社寄宿舎

設　　計　岬建築事務所
施　　工　大日本土木株式会社
所 在 地　岐阜市長森字沓掛2443
建築面積　336.7m²
延 面 積　1,153.1m²
構造規模　RC、4F
工　　期　昭和43年3月～昭和43年10月

K．大垣市民会館

設　　計　畠山建築事務所
施　　工　岐建木村株式会社
所 在 地　大垣市新田町
建築面積　4,200m²
延 面 積　8,003m²
構造規模　RC及びSRC、3F
工　　期　昭和42年2月～43年3月



▲K

L．大垣商工会議所

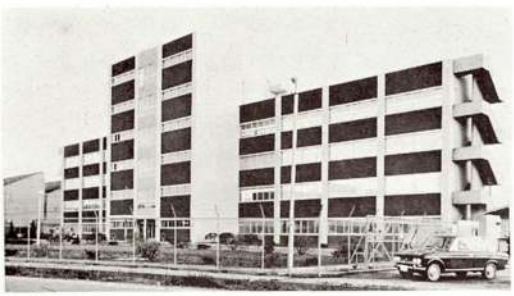
設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　土屋組
所 在 地　大垣市寐島町3の7
建築面積　1,589m²
延 面 積　4,901m²
構造規模　RC、5F一部2F
工　　期　昭和42年5月～昭和43年5月



▲L

M．川崎航空岐阜製作所

設計施工　㈱大林組
所 在 地　岐阜県各務原市三柿野
建築面積　2,800m²
延 面 積　13,000m²
構造規模　RC、6F
工　　期　昭和42年10月～昭和43年11月



▲M

N．各務原ボウリングセンター

設　　計　登光建築設計事務所
施　　工　㈱土屋組
所 在 地　岐阜県各務原市柿野町字堀切973
建築面積　1,444.04m²
延 面 積　1,648.86m²
構造規模　RC及びS、2F
工　　期　昭和43年6月～43年10月

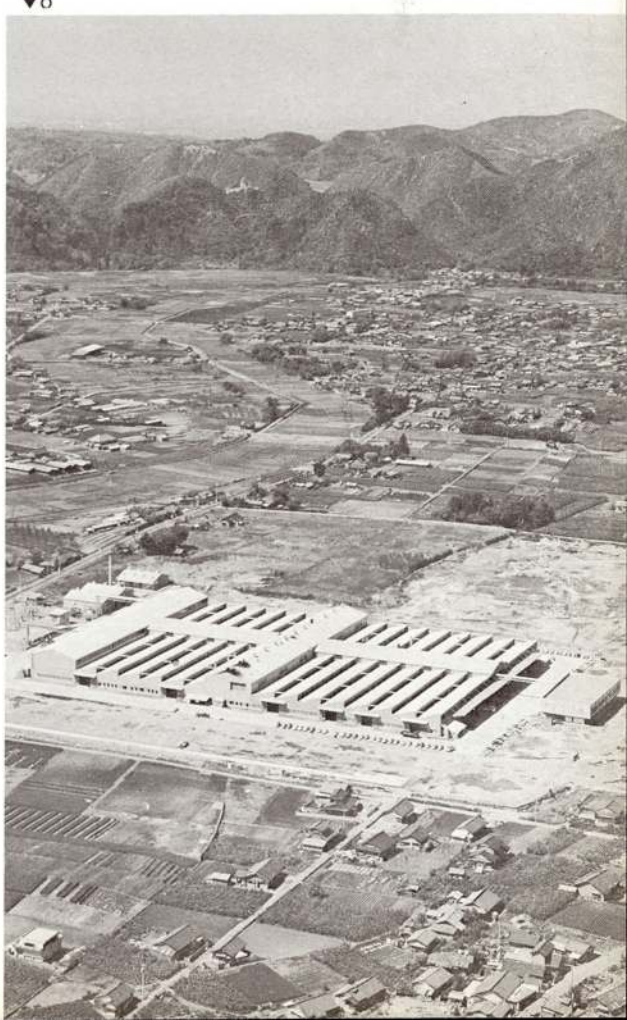
▼N



O．萱場工業岐阜北工場

設　　計　㈱大阪建築事務所
施　　工　大成建設株式会社
所 在 地　岐阜県可児郡可児町土田2548
建築面積　22,050m²
延 面 積　24,510m²
構造規模　RC及びRC、一部2F
工　　期　昭和42年7月～昭和43年1月

▼O



〈岐阜県〉
（岐阜市・大垣市・他）

感想：東海の新建築を見て廻つて

作品作風小委員会のみなさんは，150点近い東海の新建築を三日間で，まあ非常な強行日程で見て廻られてきたわけです。個々の建築物をじっくり鑑賞する時間的余裕は余りなかったと思いますが，それでも一応東海地方の最近の建築動向に対して各自感想をもってお帰りになったと思います。それを話しあっていただきたい。

その前に，既にみなさんには自明のことなんですが，地方の作品を特集としてとりあげる，その為に資料を集めて実際に見て廻るという企画，こういう企画の意図をもう一度明らかにしておきたい。まず第一に，大阪を中心とした京阪神の地元を除いては実際に自分の目で建築物を見ることはまず無い。何らかの目的をもって或る特定の建築物を見に行く以外には殆んどない。自分の目で見るということ，このことが何をおいても重要だということです。第二に，建築雑誌でとりあげられる作品は，東京中心の京浜地区と大阪中心の京阪神地区に集中している。地方の作品で紹介されるのは大抵中央に事務所をおく有名な設計者の作品が殆んどである。そういう，いわば中央の建築で全体の動向が云々されているような傾向がある。果してそれで良いのか，二中心地域とそれを囲む地方建築をトータルに把えることが必要ではないか，そういう問題意識が根底にあったと思います。こういう企画の意図も考慮に入れて印象を語りあっていただきたい。三重県を廻られた班からどうぞ。

――県庁所在地の津市を除いては，新建築は観光旅館に集中している。伊勢から鳥羽まで海岸沿いの観光地帯を車で廻ったのですが，目につく作品はほとんどなく，池の浦荘やホテル鯛池など2・3を除いて，建築家の手になると思われる品の良い作品はなかったようです。

――津市の印象，というより三重県の新建築の印象といえば，すぐに百五銀行ビルが目に浮かんできます。津という町は，非常におちついた，いやむしろ少々湿っぽい感じのする町なんですが，そういうところに真白な清潔なビルがすっくと突き出ている。こんな眠ったような町にも躍動する生活があるんだなあという感慨が湧いてきます。古い殻から出ていこうという活動意志がうまく街と調和している。矛盾と思れるかも知れませんが，不思議といって良い程対称の美を創り出しています。

岐阜から愛知県北部を廻られた班はどうでした？

――岐阜県には全体的に民間でこれといった建築物はなく，目につくものは公共建築物でしたね。

――愛知県北部には学校建築の良いものがあり，計画的に行なわれているようです。非常に着実に計画を実施に移しているようで，そういうことが可能なのも土地が広く敷地に余裕があるからなんでしょうね。ずっと廻ってみて，まず直接的な印象といえば，何といってもゆったりした感じ，のびのびした感じですね。名古屋市内でもそうだった，それが大阪や兵庫に比べてもっとも違った面だという気がしますね。

愛知県の東部・南部どうでしたか。

――岡崎市民会館を別にして，近代建築らしいものはあるが，特にきわだったものはなかった。知多半島では民間建築物は見られず，町役場などが唯一建築美を誇っているように思えたんですが，それが必要以上に正面をメカシこみ，権力に媚びたものが多く，余り良くありませんでしたね。

――確かに岡崎市民会館はすばらしい作品ですね。ロケーションが良いということ，それに近代建築が時としてもつあくどさ，いやみが少しもなく，誰がみても溶けこめる感じを与えますね。

――岐阜班でも言われたことなんですが，人口密度が小さく，ゆったりした感じを持ちますね。

――丘陵地に学校が計画的に建てられている。ところが，通学には車を使わなければ通学できない立地にあるものが多いようです。自動車産業の中心地だけあって，実際に車が普及しているかどうかは別として，考え方において車優先という影響があるのではないかと思うんですが。そのため大量輸送機関などの普及はわれわれからみたらおくれているように思います。東京・大阪ではまず交通の便が論議される，だからずいぶん土地の選択が限られる，しかも縛られた土地の中で何とか工夫する，後にはそこが不充分になるから，継ぎ足したり，タコ足式になる。ところが愛知県ではこういう制約からかなり逃れているように思える。まず土地を大きく確保する，そして一歩一歩計画を実施してゆく。そんな感じがします。

それでは，名古屋市内の印象を，みなさんで。

――何といっても都市計画の良さでしょうね。官庁街は敷地が広々しているし，駐車場は完備している。大阪のせせこましさをいつも感じる身には，日本にもこんなところがあるのかと思えるほどですね。

――確かにそうですね。まず名古屋周辺を廻って，先程話に出たような学校建築計画など非常に印象づけられたわけですが，そういう計画性がどこから入ってきているかわからなかった。ところが，名古屋市に入って成程と思う，名古屋市にそういう伝統があり，それが県全体に影響しているんだとわかるんですね。

――豊橋駅前は名古屋市の駅前を倣った小型版でしたね。しかしまとまりがよいとはいえないですが…。

――建築物としては，名城大学など私立の大学が良い建物を建てている。

――学校は別にして，ビル建築は栄町付近の中心部に密集しているが，良い作品は少ないように思われた。

――東山付近は，学校とか研修所とかがあって文教地区として発展すれば良いなと感じたのですが，学校のすぐ傍にけばけばしいホテルが建ち始めている。これはまずいなと思っていたら，調査直後に規制（東山地域文教地区指定）がでたようでしたね。

それでは綜括的にどうぞ。

――最初に企画の意図で言われたように，その地方で成った独自の建築物を発見したかったのですが，土地の建築家の作品で良いものを見つけだせなかったのが残念でした。目につくのはやはり中央の建築家の作品だった。

――それに，地方環境の問題になるんですが，村役場など，その土地の建築家の設計でなった作品が，中央の建築家の作品よりかえって環境にマッチしていない。地方の建築家が中央にデザイン面で追いつこうとする悪い典型がここに現われている。

――そう，中央の流行をひたすら追っているところが有るようですね。地方には，地方の材料，技術なりが有るはずなんですが，その良さを生かそうという自覚がない，もし自覚があれば建築物にもそういうものが現れてくるはずなんだが。

――瀬戸へは，陶器の歴史を生かした建築物にお目にかかれるんじゃないかという期待をもって行ったんですが，全然見られなくて寂しかったですね。

――岡崎市民会館では近くに産出する大谷石を利用していましたね。

――地元の設計者・施工者には，結局，地元の材料を充分生かしきれない技術面の発展の不充分さがあるんじゃないのかな。

ありがとうございました。いろいろ出ましたが，大きくまとめてみますと，都市計画の良さと，逆に建築物としては土地の独自性を打ち出した作品が少ない，ということになりますね。こういう企画は1昨年に四国の新建築特集をやってから今度で2度目なんですが，これからも機会を見てたとえば「九州の新建築」なども調査していきたいと思います。

特集：計画と住民―中部からの報告―

“中部は一つ”“中部を拓く”“白いキャンパス―中部”……首都圏や近畿圏のどこか憂いを帯びた響きにくらべ，中部圏を彩どるキャンペーンは奇妙なほど明るく澄んでいる。たしかに，青年都市名古屋を中心とした中部圏は可能性に充ちた地域であろう。しかし，ここもまた多くの人々が住み，生活しているところである。このレポートは，愛知県を中心とする中部圏で，どのような計画がなされ，こんごどう展開してゆくのか……，これを住民の側から……，いわば裏側からみた中部圏報告とでもいうべきものである。



計画と住民―中部からの報告―

はじめに

“中部も燃えている”，今回のグループ調査を通して感じた素直な感想である。

表面上はなにごともなく順調に進んでいるかにみえる中部での「計画」も，住民の福祉はあとまわしにとする産業資本の論理によって地域開発は進行しており，またほんらいなにをおいてもまず住民の福祉を考えるべき自治体においてさえも，時代の潮流に巻き込まれ，押しながされてしまっているため，住民にとっては自分たちの生活，環境，生命を守るのは結局のところ自分たちでしかないという不安のうちに問題を認織せざるを得ない状況である。

わたしたち，日常なんらかのかたちで「計画」に携わる立場にあるグループは，こんにち的状況の中で「計画」とは何か，「われわれ計画者はこんにち何を為すべきであるか」という基本的な命題を考えるにあたって，自分たちの周辺でおこっている「計画」の現実を冷静に見つめる必要があった。

今回の調査では，この種の作業を行なうには限界とも思える20名程の若い人達が集まり，愛知県を中心とする地域で，住民に大きな影響を与えたり，またそれが予想される計画，さらには困難な条件の下でいろいろと模索を試みている計画など26余を選び出し，それぞれ現地に赴くなどして，計画の内容，それが惹き起こしている影響などについてつぶさに調査を行なった。そしてそれを持ち帰り，グループでの討論を幾度か積み重ねることによって，われわれなりに考え，まとめたのがこのレポートである。

この小論全体の構成は，つぎの5章からなる。

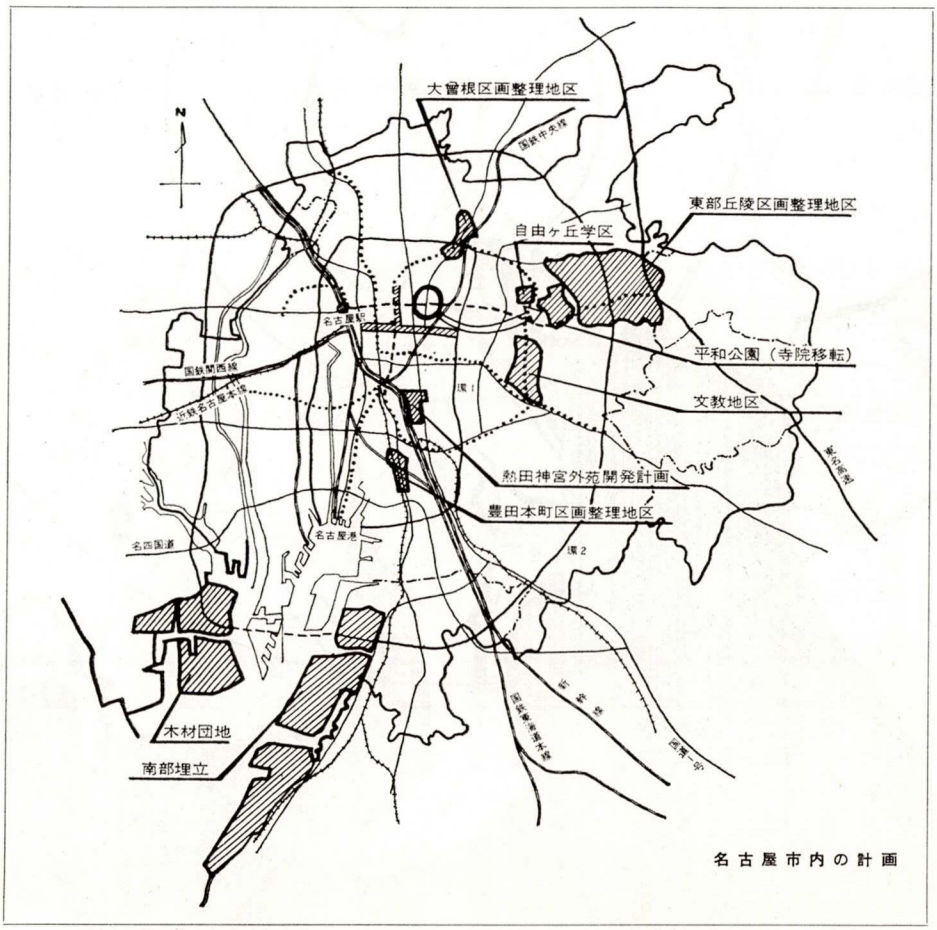
1. 中部圏における計画とその背景
2. 住民生活の視点から―計画は住民に何をもたらしたか―
3. 住民運動の展開
4. 計画の実態と住民運動
5. あとがき――計画者の役割―

第1章では，26の計画を戦後から今日に至るまでの社会的，経済的背景との関連づけから考察したものであるが，そこでは戦後の混乱した復興期から，最近の経済安定成長期に至るまで，一貫して，産業振興を中心に，もろもろの「計画」が進められてきているのを読みとることができよう。

第2章では，産業中心に立案され，実施されてきた計画は，必然的に他の重要な側面，生活環境造りをおろそかにしてきたともいえるわけであるが，それを第1章で述べられた軸のなかから，それぞれの時期の代表的計画（事業）をとりだし，個々の計画がどのような面で，どの程度に影響を及ぼしてきたか，またどう予測されるかについて触れようとしている。

第3章では，第2章で述べられているような計画が，住民生活に及ぼしたマイナス面に対して，地域の住民はどのように反応しているか，その程度と，内包している問題点をやや具体的に指摘しようと試みている。

ところで，ほんらい住民の福祉を目的とすべきはずの「計画」が，その本旨からはなれ，住民生活をおびやかしていることの方が多いというこんにちの現実をみるとき，あらためて計画とは何かを考えざるを得ないし，そこでの“住民参加”は住民の“抵抗”としてのかたちをとらざるを得ないともいえる。第4章では，こうした状況における，こんにちの住民運動の役割と，今後の課題，さらに住民にとっての「計画」とは何かを考えてゆきたい。



名古屋市内の計画

1. 中部圏における計画とその背景

この章では，戦後からこんにちにいたるいろいろの「計画」が生み出されてきた背景―社会経済的背景―について概観しながら，愛知県を中心に今回のケース・スタディで取り上げた「計画」についてその位置づけを試みようとしている。

戦後二十数年を「計画」の背景の特徴をとらえる観点から，次のいくつかの時期に区切ってみた。

(1) 戦後復興期（昭和20年～25年）
(2) 「国土総合開発計画」期（昭和26年～30年）
(3) 「高度成長」期（昭和31年～35年）
(4) 「所得倍増計画」期（昭和36年～40年）
(5) 「安定成長」期（昭和41年～　　）

戦後復興期

この時期は，最も端的にいえば，食料確保の時期であり，都市計画など「計画」の面からは，アイデアとしてはそれなりに出されたけれども，実際には資材不足の中で「応急住宅」さらに公営住宅があちこちで，ぽつぽつ建てられた状態であった。

こういう中で，名古屋市においては，いちはやく100m道路や平和公園の大胆な構想を含む戦災復興区画整理の「計画」がたてられ，いまから考えると，きわめてスピーディに実行に移されていったのである。この背景には，戦前からの区画整理の伝統と，土木技術者を中心とした「計画」家の蓄積があったこと，および，敗戦直後の「真空地帯」ともいうべききわめて特殊な空白時期をとらえ，新たな創造に結びつけようとした為政者の決断があったといえよう。さて，それらの100m道路，平和公園やさらに区画整理の展開は，はじめは「常識はずれ」などといわれ，数年前には「さすが先見の明があった」といわれ，現在では住民ないし市民生活の確保という点からさまざまの問題が指摘されている。

くわしくは，後章で触れられるとして，この時期以後，都市交通の展開がモータリゼーションを軸とするのにきわめて有利な条件づくりをしたのではないかということだけを述べておきたい。

道路と共に，港湾，工場用地などは，産業活動振興にとってきわめて重要な施設であり，明治末から続いていた名古屋南部埋立事業は，戦後いちはやく復活し，昭和30年には「金城埠頭建設」計画がつくられている。そして埋立地には，製鉄，後には石油化学などの工場が立地した。

「国土総合開発計画」期

この時期は，食料確保から「国土総合開発計画」にみられるような治山治水の時期であると同時に，朝鮮戦争の「特需」によって息を吹きかえした大企業の要求に答えて，「産業基盤」整備に力の入れられはじめた時期でもある。こういう政策を背景として，中京圏では愛知用水の構想が持ちあがってきたのである。この構想は次期以降本格化する。

一方，昭和25年には，住宅金融公庫法，昭和26年には公営住宅法が公布され，公的住宅供給が徐々に整備され出した。名古屋市においては，昭和27年，市内最初の公的住宅「団地」として千種台「団地」が成立した。この中の自由ケ丘学区では，団地自治会が町名変更，バス路線変更，さらに集会所や保育所の獲得へと住民運動をすすめ，その後の地域コミュニティ活動の“はしり”となった。

「高度成長」期

いわゆる経済の高度成長が展開する時期である。

朝鮮戦争を契機とし息をふき返した日本の資本主義は，安保条約に支えられ「軍事」支出を節約しながら，急速に大きくなってきた。人口は都市化し，都市は広域化しはじめる。その中で，都市中間層の住宅需要に応えるべく，昭和30年，日本住宅公団が設立され，いわゆる「団地」を供給しはじめる。東京周辺では，都市広域化に対応して昭和31年に，首都圏整備法が公布された。「経済白書」が，31年に「技術革新」という言葉を使い出し，資本の拡大再生産が強力に展開していく。

それを端的に示すものとして，昭和32年の「長期経済計画」があり，そこでは次のように述べられている。「今後の生産増大のための設備の新設拡張が必要となってきた現段階においては，主要鉱工業地帯について，立地条件の整備を先行させる必要に迫られているといえよう。このため既成の鉱工業地帯の隘路打開と，新規鉱工業地帯の造成を中心として，工業用水，用地，港湾，鉄道などにつき，行政投資ないしは，財政投融資，その他の国家的助成措置を重点的，総合的に推進するものとする。」

その資本の「産業基盤」づくりとして，まず，交通手段では，昭和32年に名神高速道路が着工され，同年建設省は「道路整備10カ年計画基本構想」を発表している。名古屋市においては，都市人口増大に対処する地下鉄の第1期工事が32年に完成し，同時に「地下街」も発足した。水については，農業用水開発を主目的とする「愛知用水公団」が昭和30年に設立され，愛知用水開発にとりかかった。工業用地については，名古屋南部埋立がつづくと同時に，四日市市において，旧海軍燃料しょうが昭和30年「三菱グループ」に払い下げが決定するとともに，新たに埋立への動きも強くなってきた。中小企業も，生産拡大や流通機構の確保に対処するため，郊外へ「中小企業団地」として移転するということもおこりはじめた。たとえば，名古屋においては，木材工業がそのような動きを示し，昭和34年の伊勢

湾台風で壊滅的な打撃を受けたのを契機として，「名古屋港西部移転計画」を実施すべく「名古屋木材街建設促進協議会」がつくられた。

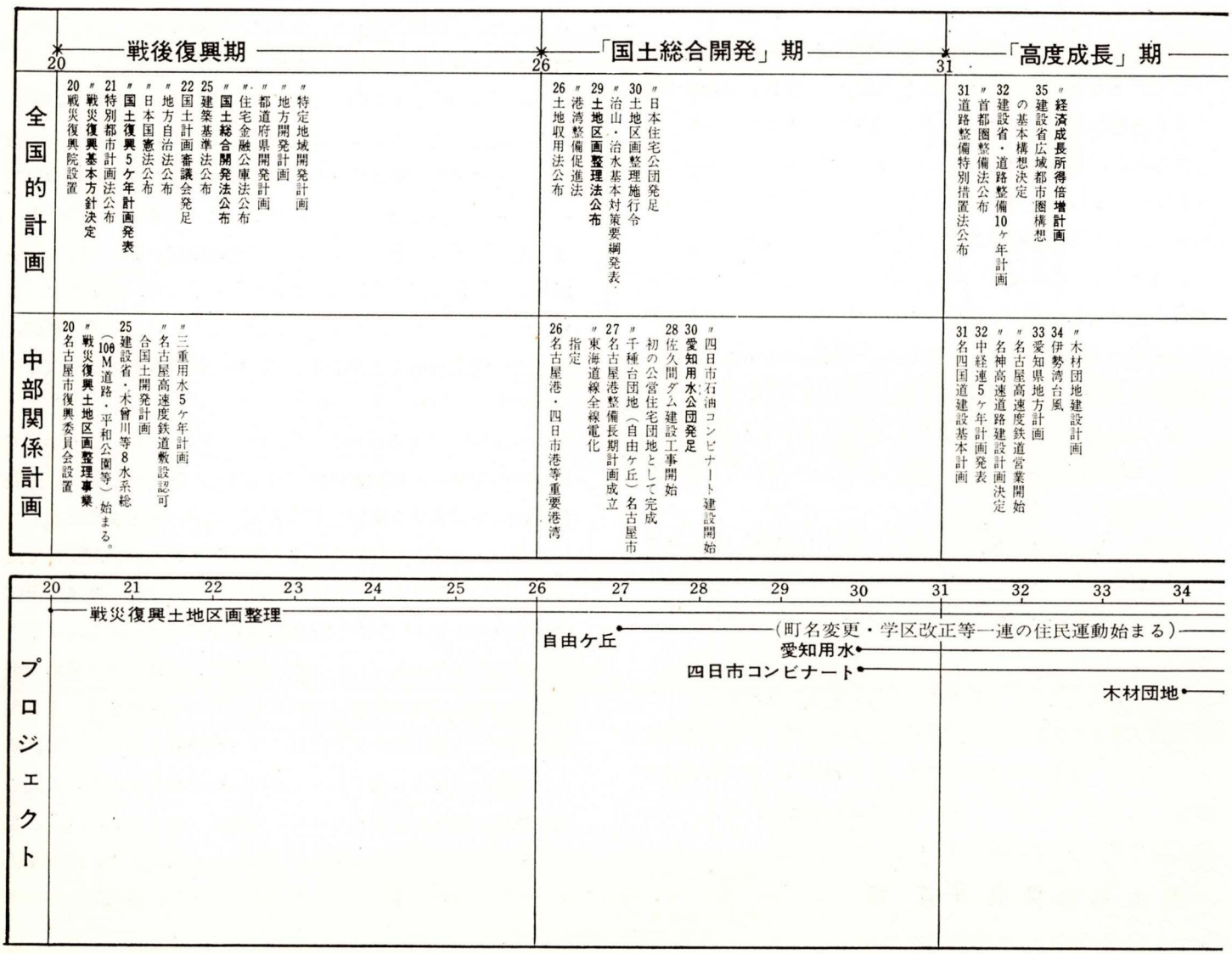
「所得倍増計画」期

その是非をめぐり，まさに国をあげての興奮に陥し入れたあの安保条約改定（昭和35年—1960年）が一段落したとき，国家の経済政策もまた装いを新たに登場していた。すなわち，安保改定を境いに「高姿勢」の岸内閣から「低姿勢」の池田内閣へと政権は引き継がれるが，池田政権は，昭和35年９月に，10年間で所得を２倍にするという「国民所得倍増計画」を発表した。その経済政策を支える具体的内容は，いわゆる「産業基盤」たる交通手段であり，水であり，工場敷地などである。この「所得倍増計画」の愛知県版は昭和36年の「愛知県新地方計画」であるといえよう。

交通手段についてみると，都市間高速道路としての名神高速道路，さらに東京—大阪間の国鉄新幹線があいついで昭和39年に開通した。この広域高速道路の実現と，さらなる展開（名神から東名へ）および自動車の急激な増加は都市内道路の拡張整備，新設への新たな圧力となってきた。東京，大阪では都市内の高速道路への動きも強まったが，名古屋においては旧来の道路のボトルネックを解消することに主要な力がそそがれて，伝統的な区画整理による道路拡幅整備がすすんだ。代表的なものとして南部の豊田本町，北部の大曽根がある。しかしこのころになると，いままで順調に進んでいた区画整理事業も，住民の権利意識の芽ばえから抵抗が多く，また，四日市市においても，いままで産業開発の陰にかくれていた「公害」問題がようやく世間の注目を集めるようになり，昭和38年には四日市市公害対策協議会が生れ，住民の生活環境を守り，良くする運動がはじまる。名古屋市内の中心企業（商店）の自衛運動としての特徴を持ち，建築ジャーナリズムにも大きくとりあげられた「栄東」の住民運動もはじまった。住宅を良好な住環境とともに与えようとする日本住宅公団名古屋支所の「高蔵寺ニュータウン計画」もこの時期に出発する。水についてみると，愛知用水が完成し，昭和40年には工業用利用が農業用利用を追い抜いた。

さて，大都市—特に東京，大阪，名古屋—中心の産業の発展は人口を大都市へと吸いよせ，いわゆる後進地域は人口減少，財政の逼迫などに悩まされてきたが，その打開策として，工場誘致→雇用・固定資産税増→財政・人口増の図式の「地域開発」を行ないたいという希望が高まってきた。政府はこれに対して，昭和37年に「新産業都市建設促進法」を公布し，地方自治

年　表（計画と関連法律について）



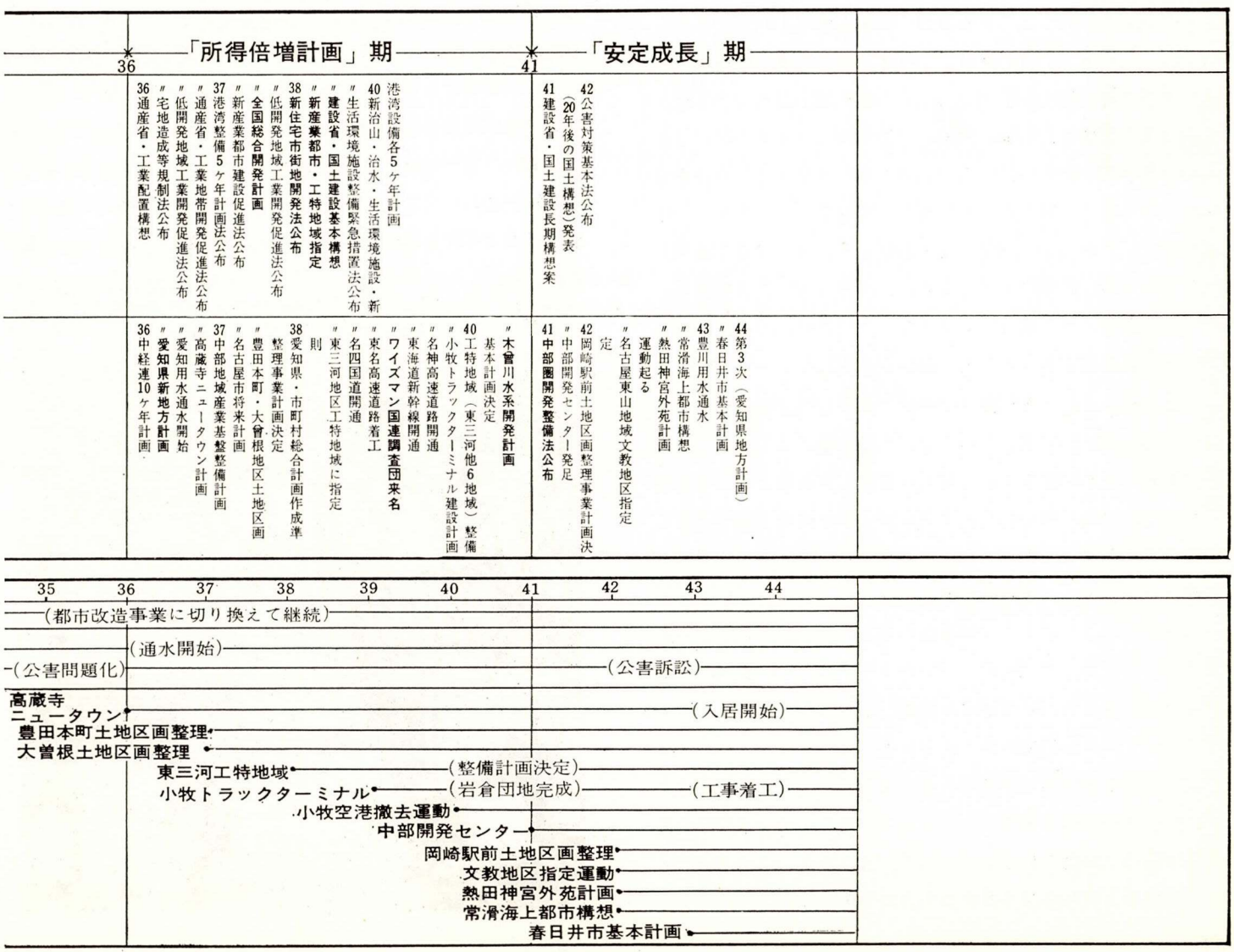
体の陳情合戦のあったあと，昭和38年閣議で新産業都市13カ所，工業整備特別地域6ケ所を指定した。愛知県においては東三河地域が「工特地域」に指定された。この「新産都市」，「工特地域」はその後の実行段階で，かならずしも地元雇用が増大しない，税収入よりもむしろ「地盤」整備にお金がかかる，さらに「公害などの地域への悪影響があるということで，なかなか進展していないのが実情である。東三河地域（豊橋中心）においても，漁業補償はおわり，工場用地，港の建設はすすんでいるが，道路，国際空港建設，豊川用水の利用や上水道の統合・値上げをめぐって地域住民との対立が表面化してきている。

「安定成長」期

「高度成長経済」が次第に住民との対立によってその矛盾を露呈しはじめ，「社会開発」の必要性が叫ばれはじめるが，一方，資本の「自由化」の進展を前にして，一層の「安定成長」もはからねばならないというのが大企業の課題となり，企業の合併や，業務提携が続いている今日このごろである。他方，住民の自覚的な地域づくりへの意識と行動も成長してきた。

中部圏では，首都圏整備法，近畿圏整備法につづいて，昭和41年に中部圏開発整備法が成立した。中部財界はただちに，名古屋商工会議所内に，民間企業出資による中部開発センターを設けて，調査活動，ＰＲ活動を展開しはじめた。道路については，東名高速道路が一部開通し，名古屋市内の高速道路の計画も発表されている。岡崎市では，内陸工業（自動車）の商品流通道路の性格の強い道路を整備するために，区画整理が進められようとしている。これらに対して，住民側でもいちはやく地域を破壊する高速道路反対，あるいは，区画整理反対の活動がはじめられている。さらに，名神，東名と名古屋をつなぐ小牧インターチェンジの南に，トラックターミナルの計画が県企業局の手ですすめられてきたが，たまたま，その予定地の隣が公団の岩倉団地であったため，自治会が公害（騒音，排気ガス交通事故など）を問題にしはじめ，計画の変更を迫っている例もあらわれた。小牧空港周辺では，騒音問題から撤去への要求が強まり，東三河国際空港予定についても，住民が反対活動をはじめている。

水については，愛知用水公団が，水資源開発公団に吸収され，昭和43年には「木曽川水系水資源開発基本計画」が閣議決定され，工業用水の確保をめざして，水に関する広域計画が強力に進められている。昭和43年に開通した豊川用水についても，東三河工特計画が進むにつれ，水の配分権を県が握るなど



広域支配が進行するが，一方では水道料金値上げ反対を起点として，住民の広域行政に対する不信がひろがろうとしている。こうしたなかで，高蔵寺ニュータウンをかかえている春日井市は，これまでの工場誘致による地域造りから，名古屋都市圏における住宅都市としての方向に活路を開こうとし，「住宅都市宣言」を発表し，産業基盤偏在の都市造りから新たな脱皮をはかろうとしている。名古屋市においては，東部の大学などが集まり住宅地としても発展しつつある丘陵地域で，最近のいかがわしいホテルや，ナイトレストランなどが進出しつつあるのに対して，大学，住民一体になっての「文教地区」指定運動がおこり，その指定を勝ち得た例があらわれている。このように住民の自発的環境づくりも次第に行なわれてきている。一方名古屋財界が中心となって，「熱田神宮外苑計画」が出されてきた。さらに，名古屋南部の工業地帯から少しはずれた常滑市の青年会議所は，若手学者や，技術者を動員して「海上住宅都市」構想というアドバルーンをあげている。ここでは，地理的な要因もあって，重化学工業誘致はむづかしいが，かといって放っておけば，地場産業（瓦，土管など）も経済的地盤沈下のすう勢にあるため，地域のオピニオンリーダーたちの間のあせりが，そのようなキャンペーンをはじめさせたともいえよう。

「産業基盤」に重点があるということは，「生活基盤」が軽くみられるということでもあるが，都市と農村という捉え方をすれば，都市重視，農村軽視，いわゆる都市と農村の対立も進展してきた。昭和30年前後から人口の都市集中は進行するが，その当初の形態は，農地，農家，世帯を残したままでの，二・三男の都市化，あるいは主人・長男の出稼ぎであり，逆に農業は，「三チャン」農業といわれたが，それから「一チャン」農業を経て，一家あげての農村流出も増える。いわゆる「過疎」問題であるが，愛知県においても，三大都市圏でありながら，奥三河地域などは「過疎」地域になりつつあり，三河都市部との唯一の鉄軌道である私鉄田口線が廃止された。

ところで，このような種々の計画が進行してくる過程，とくに，「所得倍増計画」期ごろからは，大型投資による建設ブームが目立ち，それが政策の中にも大きな国力の象徴として浸透するなかで，地域計画もまた大型プロジェクト優先主義へと質的転換をはじめる。新全国総合開発計画に対応する，中部圏開発整備計画，さらに，愛知県新地方計画，名古屋市将来計画などが中部におけるこのような動きとしてあげられよう。これらに共通していることは“白いキャンバス—中部”への意欲的提案であるが，裏をかえせば道路と鉄道，工業用水と港の，大型プロジェクトのみが具体的にイメージされているばかりで，住民にとって最も身近かな課題である，過疎対策や都市再開発はあいかわらず抽象的な表現にとどまっている。「社会開発」の必要性が盛んに議論されるこんにち，いまいちど，その「社会」の意味するところを問う必要があるのであろう。

2. 住民生活の視点から—計画は住民に何をもたらしたか—

1章では，日本の戦後開発史を概観しながら，愛知県を中心に中部の動きを位置づけてきた。ここでは，各時代ごとにその典型例，あるいは代表的な計画（事業）をえらび，計画と住民生活とのかかわりあい，といった観点から触れてゆくことにしよう。

戦後復興期—戦災復興区画整理事業—

日本の国土はいたるところで戦災の大きな打撃をうけ，名古屋市もその例外ではなかったが，＜戦災復興区画整理事業＞により都市の再建を図ったのである。これは市域の27%（40,000 ha）におよぶ旧市街地の街区整備計画であり，それに伴なう＜平和公園＞・＜100m 道路＞とともに戦後の名古屋が都市計画において，全国的に高い評価を受けることになった記念碑的な計画であり事業というべきものであった。そしてこれらは，名古屋の街を近代的な都市形態にかえたと同時に，住民生活そのものを大きくかえてゆくのである。城下町であった名古屋市の中心部は，道路狭隘で密集した市街地を形成しており，街の要所にはコミュニティ核としての寺院が数多く存在していた。これらが戦災により一きょに壊滅してしまった昭和20年，戦災復興事業が計画され，翌21年から事業が進められることになる。

戦前，旧市街地周辺を区画整理方式によって整備してきた実積と経験をもつ名古屋市は，ふたたびこの手法を用いて戦前の網の目のような街路形態を格子状の街路形態にし，特別の事情



を除いて道路はすべて6m以上，特に100m道路2路線や，22m以上の幹線街路22路線および補助幹線街路14路線を整備した。また積極的に公園緑地，学校敷地，官公庁用地を確保した。この結果道路率は13.5%から28%に（特に都心部では40%近くに），公園率は0.6%から4.8%と高くなり，全体の公共用地は14%から30%へと飛躍的に整備されることになるのである。ところでこの計画の意図であるが，当時の計画担当者の話を聞いても，今日ほどのモータリゼーションを予測して道路を広くしたわけではなく，100m道路などはむしろ防災道路として，こんにちでいうところのグリーンベルト的な性格の道路と想定されていたようである。それがこんにち，名古屋を訪れるほとんどの人に「道路が広くてりっぱだ」と感嘆させ，モータリゼーションに適応した街のごとき印象を与える結果となっている。しかしここ数年来の車の増加はすでに，そうした幹線道路のキャパシティを越えようとしている。商店街が分断され，再編成されないまま学区も分断され，交通事故が激増している。ここ2～3年愛知県の交通事故死者が全国一であることも，こうした街づくりと無関係ではないだろう。

また，この事業では，事業前30坪未満の土地の所有者には換地が交付されず，それ以上の土地所有者でもその平均減歩率は35%と高く，大地主はともかくとして零細土地所有者にとっては極端に不利だった。その他，建築物を移転したり，一部除却したりする場合の補償は実存補償のみで，それに伴なって生ずるさまざまな被害（たとえば家がせまくなることにより住めなくなること等）に対する補償はきわめて低い。さらに事業の性格上その期間が長く，その間，増改築できず，交渉も突然にくることなど住民にとまどいを与えた。

このように，戦災復興区画整理事業は，名古屋の全市民をまきこむ壮大な事業であっただけに，旧来からの市民にとっては，なんらかの形で，事業に“参加”していることになり，「街づくりは市民生活と深くかかわりあっている」との実感を植えつけることになる。その結果が後にもふれる「街づくりは市民自らの手で」という運動に発展してゆく土壌を作ったともいえるが，一方では，区画整理事業のもつ矛盾した側面にも理解を深めさせることになり，当初は昭和25年完了を予定していたものが昭和30年となり，ついには現在に至っても完了ははるか先であり，当初の計画を完成させようとすれば，あと何年かかるかわからないともいわれている。また，事業があまりにも膨大であり，「名古屋の都市計画は日本一」との評価を受けてきた反面，「名古屋の都市計画は道路計画のことだ」，「道路に分断されてまったく殺風景な街だ」，「緑が少ない，うるおいのない街」という街の声にみられるように，ほんらいの意味での「街づくり」は進んでいるとはいえず，軍事工業都市として発展した名古屋が，戦後，産業都市名古屋となっただけで，文化都市・市民のための街づくりはこれからの課題といわねばならない。

国土総合開発計画期—愛知用水—

この時期は日本の各地でダム建設などが盛んにおこなわれた時期であるが，中部圏における代表的なものとして愛知用水があげられる。

＜愛知用水事業＞は，国土総合開発計画の一環として計画され，昭和30年愛知用水公団の設立により実施に移されたものである。当初の主要計画目標は農業用水であり，受益面積30,000haにおよぶ当時としては画期的な農業構造改善事業であった。総事業費422億円の事業別負担金割合でも，受益者負担金も含めた農業分は78.3%，上・工業用水分16.3%，電力分5.4%である。しかしこの事業が完成し，給水を開始する時期になると，農業用水の受益地区は「末端配管が工場用地造成のブルドーザーでこわされたこともある」というできごとに象徴されるように，大都市周辺部の工業開発の余波を受けて，農地自体が減少しているほか，残った農地においても「今まで溜池で水をまにあわせてきた。これまでの農業のやり方なら水を買う必要がない」という農民感情に示されるように，用水のメリットに対応する農業の指導がなされていないこと，兼業化によって農業意欲も減退していることなどにより，おのずから受益を辞退するものもあらわれ，計画当時の受益面積は30,000haであったものが，現在では1,2000万haにまで減少している。

一方，進行しつつある名古屋南部の工業化は，工業用水の供給を必要とし，この受益面積の減少に伴なう農民負担金の軽減措置として，農業用水から工業用水へと転用されることとなり

水利用状況（1000m³/年）

	上水道	工業用水	農業用水	計
計画水量	23,160	125,909 (21,840)	104,719 (149,547)	253,788 (194,547)
36	2,432	9,072		11,505
37	9,611	32,396	45,526	87,533
38	12,558	37,215	63,046	112,819
39	16,383	54,765	95,736	166,884
40年	17,132	75,261	73,079	165,472

現在では工業用水量は農業用のそれを追いぬくまでになっている。このようにせっかくの農業用事業としてなされたものであっても，それに伴なう農業政策・指導がなく，そればかりか，一方では人口都市化現象による無秩序な農地転用・産業立地のために，結果的には産業政策の一環に組みこまれてしまったわけで，産業政策偏重の典型的な例として傍観するだけではなく，あらためて農業政策のあり方が問われているといわなければならない。

高度経済成長期—四日市市・名古屋港埋立計画—

この時期には産業計画の重点が重化学工業へ移り，それまで資本集積のあった大都市周辺の開発が盛んに行なわれるようになった。中京工業地帯ではその典型として＜四日市市＞・＜名

古屋港埋立>の計画があげられる。

四日市市で推進された計画は，産業振興（工場誘致）→雇用増・所得税・市民税増→住民福祉という論理に基づくものであった。そして石油産業に続き重化学工業部門の誘致が行なわれた。しかしその結果は，当初の期待の多くは裏切られ，公害に代表されるいくつかの矛盾が住民にかかってきている。

具体的な例をあげるとまず公害については，昭和43年9月現在，公害認定患者382人，これまでに公害による死亡者（自殺者を含む）は9人である。市計画担当者の家族が公害病患者であったり，従業員の家族が患者であっても会社の手まえ公表できないこともある。公害の他，コンビナート各社をつなぐ有毒・高圧地下パイプがあり災害時には非常な危険にさらされる。万古焼等地場産業は計画の進展に伴なって好影響をうけるであろうと期待されていたが，ばい煙規制法の適用を受け石炭から石油への燃料変更を余儀なくされるなど，零細企業には無理な体質改善を迫られたり，労働力がコンビナートに吸収されることによる従業員不足という打撃を受けている。このように日夜地元住民の生活がおびやかされているにもかかわらず，自治体は工場誘致を推進した手まえ企業に敵対するような対策がとれず，公害患者の治療費負担などの対症療法的な対策しかとっていない。そればかりか，これら産業公害が明らかにされた現在，その対策が十分に保障されないままに，さらに霞ケ浦埋立が行なわれ，企業誘致が市議会で採択されている。

これらの事柄は産業誘致による住民福祉という論理にいくつかの隘路があり，住民福祉に結びつく面よりも，逆に住民生活を圧迫する面が強いということを示している。この意味で資本の論理による計画は再検討される必要があろう。

また一たん大企業と自治体との癒着がなされると，住民生活も自治体行政も企業に依存せざるを得ない面が強くなり，ドロナワ式に企業の要請に行政が引きずられる傾向のあることを示している。大企業に対する自治体のありかたは計画の上でもあらためて考えなければならない問題といえよう。

産業公害については名古屋港埋立計画における<南部埋立>の場合にもあてはまる。

<南部埋立>の場合は，昭和31年名港管理組合の港湾計画によって1,750haほどの用地が造成され，同地帯は現在富士製鉄を中心とする鉄鋼・石油関連コンビナートの重化学工業地帯となっている。さらに現在，埋立は西部臨海に及んでおり1,680haの用地が形成され，市内の運河沿いに点在している<木材工業の移転>による木材街建設—計画敷地660ha—をはじめとして石油二次製品・水産加工業などの誘致がみこまれている。

埋立地の重化学工業化がさかんになるにつれ，大気汚染・海水河川汚濁などの公害問題が顕在化している。ところによっては汚染状況が四日市以上である場合もある。

とくに工場地帯の中核をなす南区・港区でひどく，風向きによっては市東部丘陵地まで影響することがある。その汚染度は



年々高まる一方であり，昭和42年には人体に危険となる汚染度第5度の5 $mgso_2$/日/100$cm^3$$pbo_2$を突破した。

このように悪化した状態も都市中心部をはずれた南部で顕在化している点で，それに対する市民の意識もまだ充分でない。大都市の場合は資本の集積も大きいだけに問題は複雑であり，かつ，より大きいといわねばならない。

所得倍増計画期—東三河工業整備特別地域計画・高蔵寺ニユータウン—

経済の高度成長が進み，資本の集積が特に大都市において行なわれ，人口集中が激化する中で，大都市の限界がみえ始め，その一方で地域格差が激化していく。これらの背景のもとに計画は企業側からの要請ともあいまって，大都市問題・地域開発が中心的課題となり，かつ大型のものとなっていた。

中京圏においても，産業開発の遅れていた豊橋市を中心とする東三河地域が工業整備特別地域に指定された。計画は地元資本が中心となり4市7町村が参画，学者や関係官庁技術者により作成されたきわめて大がかりなものであり，その計画内容・技術は共にきめ細かく優れたものといえる。しかし実施の段階では新産業都市建設法の枠で事業が進められ，埋立・用水・港湾整備等が中心となっている。産業基盤整備という形で計画の一部が実現されつつあるわけである。そしてこれらが具体化する時点で計画作成の段階では理解し難かった住民へのさまざまな影響が顕在化してくる。

一例をあげると，地域を貫通し渥美半島の先端に至る豊川用水は「オレンジ半島・ミルク用水」のかけ声で出発し，明らかに農業用水的性格を持っていたが，計画が実現し始めた過程で計画主体側からの強い要請により，愛知用水と同様誘致工場用の用水に重点が移った。また市町村単位に持っていた上水用取水権は，建設費の肩代りと引きかえに県に移されたが，それと同時に豊橋市では水道料金が値上げされ，住民の不満が高まった。県による取水権・配水権の独占により市町村の権限を超えた上位機関による水の価格の一方的な決定をしうる条件ができたわけである。

このことは市町村レベルをこえる大型プロジェクトにおいては，市町村の行政は上位機関の要求に従わざるを得ない事情により，踏みにじられがちであること，そしてそのために住民にしわよせが及ぶことを明示しているといえよう。

用水の他でも，埋立地への企業進出が予定されているが，計画が大型であるため，市町村の自治権がさらに押えられるとなると，四日市の教訓を知りつつもその二の舞を演ずる恐れも考えられる。

この点で大型プロジェクトにおける地方自治の問題が，計画の住民への影響を軸として考えられる必要があろう。

一方名古屋に集中する人口の収容対策として日本住宅公団により計画された「高蔵寺ニュータウン」は，住宅地の大型プロジェクトとして春日井市に建設が進められている。

この計画は大都市問題の解決策としては問題を残しているとはいうものの，計画技術上あるいは住宅地としての居住水準に大きな業績をもたらしたものとして評価されよう。そしてそれは住宅公団という事業能力の高い機構により実施可能であったこと（裏返せば市町村レベルでは到底なし得ないこと）も認められよう。しかしそれ故にこの高蔵寺の計画がもたらす影響も大きいといわねばならない。

その最大のものとしては，地元春日井市にかかる財政負担の大きさであろう。春日井市は，ニュータウンにかける公共施設整備負担で，昭和52年度には17億円の累積赤字が予想されている。また既成市街地の住民とニュータウンとの格差の是正も，住民の不満を高めないために急がねばならなくなっている。

春日井市の場合はこれらのことが市の基本計画を住宅都市として方向づける一因となったことで，結果的には，住民本位の計画の誕生として，住民にとってはプラスに働いた面があることは否定できない。しかし一般的に考えるならば，計画が上位でなされ，それが市の財政を圧迫し，住民の福祉がそのためにおろそかになるという事態は，東三河の場合と同様問題とされねばならない。

ここでさらに述べなければならないことは高蔵寺のみと限らないが，公団住宅を始めとする公的住宅団地の建設が住民にもたらしたもう一つの影響である。

それは，団地という全く新しい地域住民の集団が忽然と誕生したことにより，既成市街地における町内会のような古い住民組織とは異なる新しい住民自治組織が誕生し始めたことであろう。これらは，物価問題・施設要求などを中心に自立的な活動を展開しつつある。比較的にインテリ層の多いこと，同一階層集団であること，ボス支配が断ち切れたこと等の条件があったためと考えられるが，かって存在しなかった真の意味での住民自治組織の芽ばえとして注目されよう。

安定成長期—中部開発センター・木材工業の名港西部移転計画・熱田神宮外苑整備計画—

高度経済成長政策の著しい進展とそれによる歪みが公共投資の不足＝生産基盤・生活基盤の不足となって意識され“社会開発”という言葉によって示されるようになお一層の公共事業の必要性が生じてきた。その結果投資効率を高める上での広域計画の必要性と，機能麻痺に陥った大都市の再開発の必要性という面が強調された点が注目される。首都圏・近畿圏につづいて中部圏開発整備法が制定され，都市計画法の改正につづいて，都市開発法案も制定されようとしている。まず中部圏開発整備法については，首都圏と近畿圏にはさまれた中部地方の経済的な立遅れが目立っており，高度成長の過程で生産の伸びは高いものの，大企業本社の東京集中にあらわされているごとく，産業界におけるイニシアティブを奪われつつあることに対し，地

元大企業（特に東海地区）を中心とする巻きかえしの意味が多分にあったように思われる。

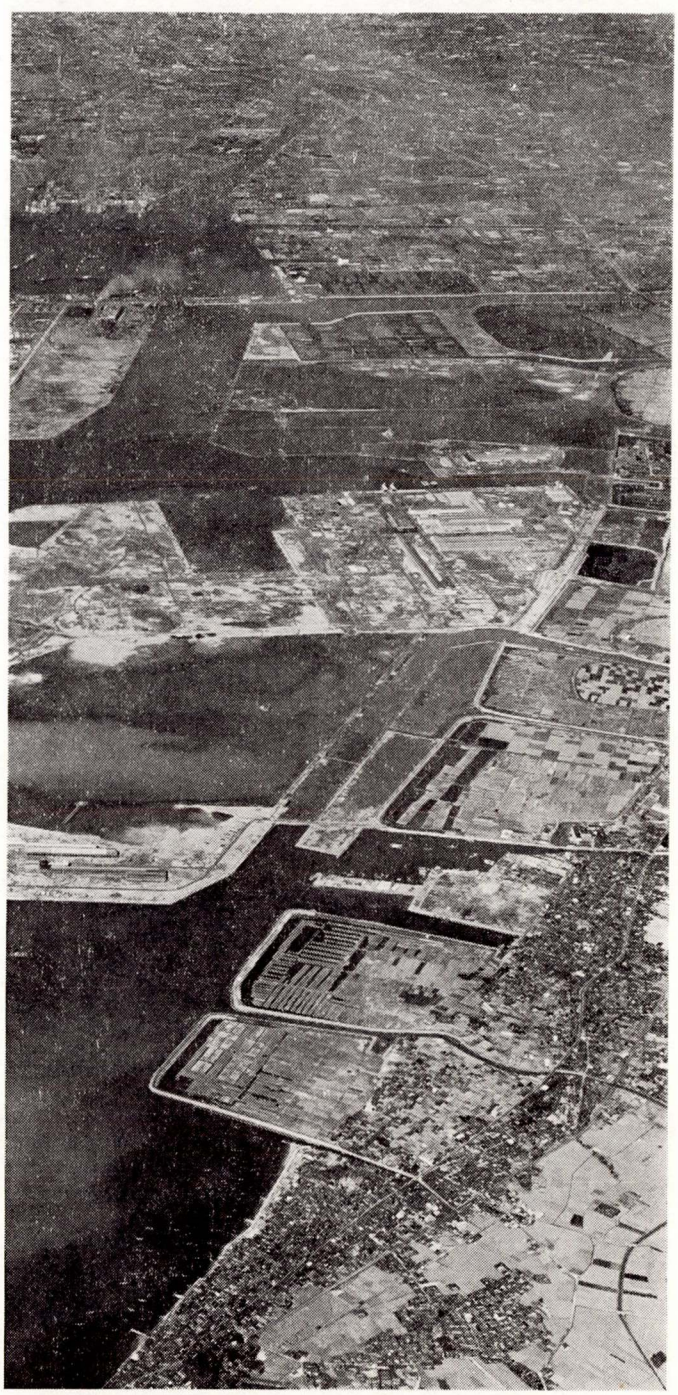
首都圏・近畿圏両整備法では，民間側からの支えの欠除が制度的欠陥として指摘されていたのに対し，中部圏開発整備法はこれを盛り込んだ点にその特徴がある。それは先に述べた事情から，法の要請が中部財界という企業側から発想されたことによっても，企業という民間の参加は，提案の当初からすでに用意されていたことがわかる。

ここでその民間側の支えの具体化と考えられ，中部圏構想の提案に力のあった中部開発センターについて，その機能を見ると，「中部圏の均衡のとれた開発を進めるとともに中部圏をどのようにデザインするか，またそのデザイン実現のための問題は何かをまず調査します。それらの調査研究の成果は“中部圏づくり”に対する民間側の意見としてどしどし提言が試みられます。いわば中部圏開発整備法にもとづき運用される広域行政に対し，側面的な協力機関の役割を果すよう務めるのが目的であります。… 地域住民の意志が充分反映できるように各界・各層の学識経験者に参加していただき…」―センターのあらまし―となっている。

つまり先にのべた企業という民間側としての意見を，広域行政に対し提案することをその役割としている。また地域住民としての民間の意識は，各層・各界の学識経験者の参加によってくみあげようというものであろう。ただし，この場合に問題となるのはこの開発センター自身が，企業団体のイニシアティブで誕生し，資金もこれに頼っていること，計画の執行力は持っていないことから考えると，学識経験者の選定の段階で住民意識がどのようにくみあげられるかに問題がある。またこれが充分にくみあげられたとしても，企業にとって都合のよい部分だけが利用される危険性がある。対象とする地域が広域なだけに，日常の生活基盤確保・充実を要求する「地域住民の意志」にたいし，どこまで応えていくことが可能かが問題となろう。

一方，法的改正が進められている再開発に関係する計画をみると，工場跡地利用にかかわる＜木材工業の名港西部移転計画＞・＜熱田神宮外苑整備計画＞が注目される。前者は，市の計画により移転手続きが着々と進行しているが，その反面跡地（木材関連工場敷地約400ha）利用計画は，何ら手がつけられていない。市当局の行政力のおよばない等，制度的欠陥のあらわれといえよう。後者は，候補地（45ha）が名古屋の中心地であるという立地条件を利用した企業側の手によるもので，総合的レジャースポーツセンターが計画の内容である。最終資本金50億円，発足より5年目で黒字にしようとするものである。この計画に対し，県・市は共に5千万円づつの出資を決定している。この計画が住民に与える直接の影響はともかくとして，この地区が名古屋の都市構造を定めていく上で極めて重要な地区であり，大規模な土地の用途変更ができる稀なチャンスであることは否めない。このような観点からみると，この計画内容が適当かどうかは，市民にとっては重要な意味を持ってくる。企業の活動ゆえに企業が勝手に振舞い，直接周辺の住民に悪影響を与えるものでない性格上，地元住民の反対もないとすれば，このような市全体に影響の及ぶ計画のチェックは誰によってなされるのか，住民の代表たるべき議会はこの計画について深く検討する姿勢を見せてはいない。

再開発法案の主旨にのっとり，民間たる企業が強大な資本により，大規模な計画をどんどんと実現していく可能性は，今後ますます大きくなっていくと思われるが，このことと先ほどの2例にみられる自治体の無力さとを考えあわせるとき，もし企業の利潤追求の手段としてのみ再開発が行なわれるならば，都市空間は一体どのようなものになるだろうか？　こんご真剣に考えてゆかねばならない課題というべきであろう。



3. 住民運動の展開

1・2章では，中部圏における計画とそれが住民生活におよぼす影響について触れてきたが，そこでの住民たちはどのような反応を示しているのだろうか。今回，我々が調査したいくつかの住民運動を整理してみると次のように分類できる。

（i）生活環境を防衛しようとするもの。

(a) 地域，地区的規模のもの

・四日市公害反対運動・田口線存続運動・東三河工特地区の運動。

(b) 住区的規模のもの。

・岩倉団地トラックターミナル設置反対運動・区画整理反対運動（大曽根・豊田本町・岡崎）・小牧飛行場撤去運動。

（ii）生活環境を創ってゆこうと提案するもの。

(c) 地域，地区的規模のもの。

・春日井市総合計画実施の動き・常滑海上都市計画の動き・栄東再開発運動。

(d) 住区的規模のもの。

・文教地区指定運動・自由ケ丘学区の活動。

（i）—(a)は，産業基盤優先による高度経済成長のひずみが，住環境の悪化をもたらしたことに対する住民の運動である。四日市市は経済成長政策のなかで脚光をあびながら，生活環境・住民福祉無視の巨大な産業投資の結果，多くの公害問題を生じた。これに対する多くの運動や組織は生れたが，まだ反対運動として大きく浮びあがってはいない。また，経済成長政策の日陰にとりのこされた過疎問題に悩む三河山間部の設楽町では，唯一の交通機関である田口線（豊橋鉄道）の廃止に対して，自治体，住民が一体となって存続運動を押し進めてきたが，結果的には廃止決定という憂き目をみている。東三河工特地区のような場合には，理論的には反論し得てもなかなか住民運動にはなりにくく，計画の進行過程で住民への利害が明らかとなった個々の事業に対して運動が盛り上っている。たとえば，豊橋市における水道料金値上げ反対の運動は，県の広域用水配分権に反対する運動でもある。そこでは，革新政党や市民による水道料金値上げ反対同盟（60団体2万人）が組織されたが与党の単独採決によって52%の値上げを強行した。しかし，工特地区計画を背景にでてきた県の地域独占に対して，この運動は工特地区計画そのものの反対をめざして続けられようとしている。

（i）—(b)は，上位計画が地区住民の福祉・利益に結びつかないという点から住民の運動がおきているものであり，区画整理反対運動・岩倉団地のトラックターミナル設置反対運動がある。後者は，計画のまずさから住宅団地とトラックターミナルが隣接するという事態に対しておこった運動であり，騒音，大気汚染など公害を発生させないという共通目標で巾広い住民運動を行なっている。区画整理反対の運動は，大曽根地区・豊田本町地区・岡崎駅前地区にみられるように，白紙撤回を目標にかかげてはいるものの，住民の利害対立や要求が複雑であるため，運動の形態は複雑な様相を帯びているものが多い。小牧飛行場撤去運動は，飛行場のある小牧市にではなく，隣接の春日井市でおこっている運動である。地理的に春日井市側のうける被害が大きなためであろう。飛行機事故で死者を出すなど直接被害のあるたびに運動は盛り上ってきたが，41年飛行場移転に関する決議書を市議会全会一致で可決。42年，幼稚園附近への墜落事故を契機に飛行場撤去市民大会を開くにいたった。同年飛行場撤去促進市民協議会（市議員35，市役所職員7，市民代表97）を結成し，撤去運動・陳情要望活動・拡張防止などの運動をつづけている。

（ii）の場合は環境づくりに住民側から提案を続けている例である。

（ii）—(c)は，この中でも提案・発想が住民というよりは，市長や特定グループがリーダーとなり住民に提案している。常滑海上都市計画の動きは，一計画者の広域的観点からの常滑市への示唆を地元青年会議所グループがうけとめ，衰退する常滑市の将来を住民とともに考えてゆこうとするものであり，シンポジウム，意識調査などで住民の意識高揚を図っているが，一

豊田本町区画整理事業地区



般住民の意識は海上都市構想には結びついていないのが現状である。春日井市の場合も，住民が主体性をもった運動ではなく，革新系市長誕生により，市の基本計画が住環境整備・住民福祉を強力に打出しており，民主的によい町をつくり上げてゆこうという市民への呼びかけである。栄東にみられる再開発運動では，一商業経営者の熱心な呼びかけに専門家グループが加わり，地道な再開発運動を進めている。

（ii）—(d)は，住環境をよりよくしてゆこうとする提案が住民から出され運動している場合である。名古屋市東部丘陵地帯に起った文教地区指定の運動は，市に対して提案をし実現した例である。また，自由ケ丘学区の活動は共通の利益を求めて，身近かな要求をしてゆこうという運動であり，選挙立会演説会の開催・市政懇談会・座談会・意識調査を通じて為政者と共に住みよいところをつくろうとする静かな運動である。

以下それぞれについて特徴的な運動・組織を紹介しょう。

四日市公害反対運動

石油コンビナートによる大気汚染・悪臭・水質汚濁などの公害がひどく なりだしたのは 昭和35年頃 からである。魚が油臭い，煤煙がひどいなど住民から苦情が出はじめ，3月には県衛生部，四日市保健所が公害調査にのりだした。

塩浜地区連合自治会からは煤煙・騒音に関する善処要望が，高浜地区からは大気汚染解決の陳情が出された。四日市市は公害防止対策委員会を，また三重県は四日市地区大気汚染協議会を設置し，汚染状況調査を大学に委託した。37年10月には雨池町自治会45世帯全員が移住同意書をもって市議会へ移住陳情をしている。38年6月磯津漁民が中部電力三重火力の冷却用排水口を封鎖し，企業・警察と対立したが，自治会長・県知事の仲介で一年後3,600万円の漁業補償で決着をつけている。同年には，四日市公害対策協議会，公害から子供を守る母親の会，市連合自治会などの組織が生れ，県に公害防止条例の制定を要望している。39年3月，厚生・通産省の調査報告にもとづき，四日市と楠町に煤煙規制法が適用された。同年4月，肺気腫による公害病犠牲者を出し，翌年4月公害 認定制度 を発足した。現在認定患者は約400人で,「認定患者の会」をつくっている。41年3月，川尻町住民が集団移転を市長に陳情。同年公害認定患者が生活苦で自殺したのを機に，公害訴訟の準備が進められ以後「公害訴訟を支持する会」「認定患者をはげます会」などが生れている。こうした動きの中で，42年，さらに霞ケ浦コンビナート地区誘致が決定され，周辺地区全住民による反対運動がはじまったが，コンビナート企業労組は，労働条件，生産性があがるとして誘致反対運動に参加せず，市議会が誘致案を可決し現在建設が進められている。しかし43年11月には，革新政党・労組・商工会・母親連絡会による「公害をなくす四日市市民協議会」が結成され，四日市の自治体労働者を中心に公害に関する広報活動などがはじまっている。

このように，四日市における公害は逼迫した地方自治体財源の確保，都市の発展という目的による石油コンビナート工場誘致が結果的には地域住民の生活と生命を奪ってしまっていることを社会的に明らかにし，全国的な工場誘致ブームのなかで安易な工場誘致に対する強い警鐘として認識を新らたにさせることになった。しかしながら「四日市には公害対策はあっても公害反対運動はない」との言葉に象徴されるように，四日市の市民的自覚が必ずしも高まっているというわけではなく，公害防止の点で成果があがっているとはいえない。その理由をあげると，一つには農村地帯から突然に産業都市となったため，市民の保守的性格が強く反映し，従来からの行政末端組織である連合自治会を通しての市・県への要望・陳情という型の働きかけが多いことである。公害規制の権限が全面的に与えられていない行政体への陳情運動にのみ終始することは，行政体のできる範囲内での現実的糊塗対策という結果になりやすい。二つめの理由として補償金闘争で終っていることである。住民と企業の対立に，行政体が仲介として入り，補償金で事態を解決しようとすることは，住民に対しては公害の本質をあいまいにし，企業に対しては，補償金さえ払えば公然と公害を認めさせる結果になっている。さらに「公害患者を守る会」「認定患者の会」「公害訴訟を支持する会」などはあるが，地域コミュニティに根ざした運動とはいえず，被害者の保護や被害に対する法廷闘争には役立つが公害そのものを解決してゆく推進力にはなりえていない。ところで当のコンビナート企業についてであるが，従業員は公害認定患者になるよりも企業内健康保険による方があらゆる意味で生活を補償されるため，表面的には現われてこないし，コンビナート労働者の半数を占める下請企業労働者などは，子供が認定患者になるにも会社・組合にかくれて申請するといった例もみられるように，あまりにも日本的な風土が支配的である。また，そうした組織に依存する既存政党の取り組みも必然的に消極的なものとならざるを得ない。その意味では，四日市市の自治体労働者を中心とした公害への取り組みは，地道ではあるが貴重なものであり，改めて，地域の環境づくりにおける自治組織の重要さが認識される結果となっている。

田口線存続運動

昭和39年豊橋鉄道による田口線バス化提案より，43年廃止決定にいたるまでの奥三河山間部設楽町と住民によるバス化反対運動である。

39年9月，人口流出による利用客減少・それまで大きな収入源であった木材のトラック輸送への切りかえによる赤字の結果として田口線廃止が新聞報道された。町議会はただちに事実調査を行うため豊橋鉄道を訪れ，同時に廃止反対を申し入れた。10月，町議会に対し正式文書で田口線バス化の申し入れがなされると，町議会はこれに対し反対を決議し，名古屋陸運局に廃止の許可を与えないよう申し入れた。11月，全住民の署名請願をとりまとめ，以後県議会，豊橋鉄道に存続を要請した。また40年には，設楽町・鳳来町合同の存続協議会を設置し，陸運局，運輸大臣以下各部長に陳情運動を開始した。過疎によって，同線の経営 は苦しいが，一企業体の経営問題，一町村の 問題ではなく，僻地農山村に関する国政・県政の問題であるという観点から，同線の国鉄買上げなどの陳情も行なわれたが，台風による同線の不通を機に，豊橋鉄道は復旧に着手せず，43年1月田口線の廃止を正式に陸運局に申請した。これに対し県陸運局・運輸省は，豊橋鉄道は赤字をかかえている，鉄道の保安上に問題があれば運行を休止させることもあるなどの理由から地元に歩みよりを要請，地元は条件つき廃止の線

まで譲歩し，以後廃止に伴う協議をつづけることとなった。

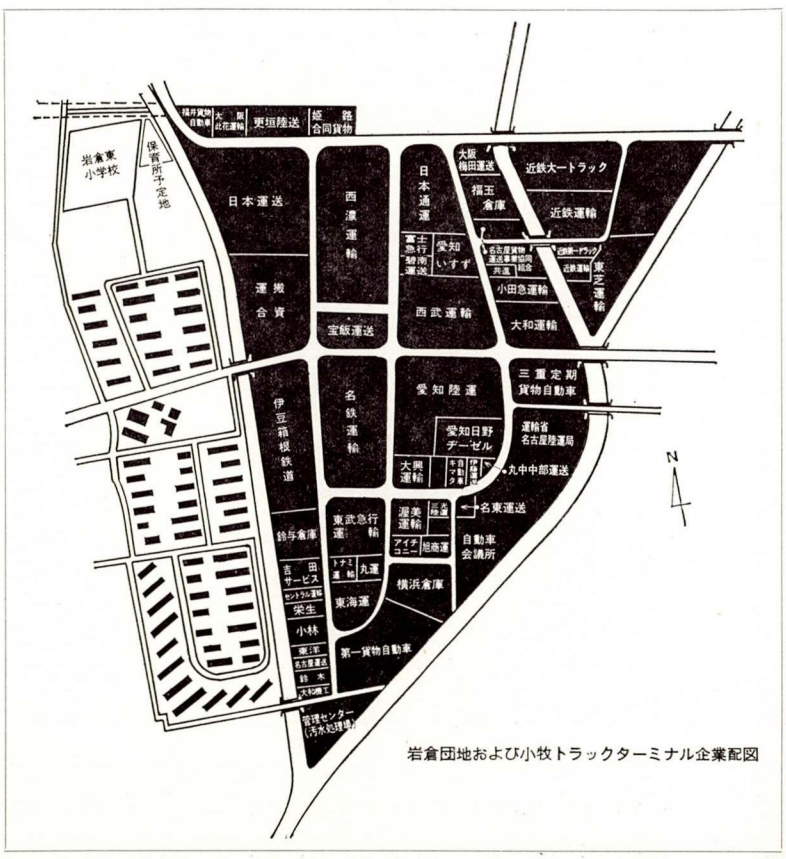
この運動にみられるように，町議会・自治体・住民が同一目標にむかったにもかかわらず，過疎問題という大きな壁を前に，目的を遂げることができなかったわけである。過疎問題は，政策そのものの問題であるが，社会開発という名のもとで行なわれる政策も結局は経済採算性によっているかぎり，解決の道はない。新全国総合開発計画では過疎対策として，全国津々浦々に交通網を確立すると述べているが，地域にとり死活的な意味をもつ交通網も「赤字」の前には廃止を黙認するという典型を例示する結果となっているのである。

岩倉団地のトラックターミナル設置反対運動

設置反対運動は42年５月，新自治会発足よりはじまった。このとき，すでに県企業局は進出55業者と譲渡契約を完了し，造成工事にとりかかっていた。

自治会はトラックターミナル設置により，騒音・排気ガス・交通事故などの発生は必至であるとし，調査を行なうとともに自治会で反対運動を決議し，「トラックターミナル設置反対実行委員会」を設けた。42年８月，県へ公開質問状を提出，また第１回懇談会（実行委員会・運輸省・県企業局・進出企業委員会）での話し合いから，造成工事は進んでおり移転は不可能，公害はたいしたことでなく，進出企業の協力で防止できるという県の表明があった。

８月～12月にかけて，既存トラックターミナルの調査を，実行委員会独自で，また県公害課，企業局，町議会を含む合同で，また主婦が中心となって再三行なううちに，騒音に対する認識を深めていった。このような経過から，県は「公害に関する調査」を大学（名大水野教授）に委託した。43年３月，第２回懇談会において県企業局は，造成完了後は所管は陸運局，県公害課に移ることを表明し，ヒマラヤ杉の苗木を団地との境界に植えることで事態を収めようとしたが，６月に発表された「小牧トラックターミナル公害調査報告」(名大水野教授)は，そのようなことで解決し得ないことを示した。すなわち，団地と隣接するターミナルの立地そのものに問題があり，ターミナルを地下方式にしなければ問題は解決しないと結論するものであった。これに対し，県企業局は騒音防止策を東工大松井教授に委託し，この報告が提出されるまで工事を中止させることを約束した。しかし，企業はパイル打ち工事を開始したので主婦を中心とする阻止行動は急速に盛りあがり，11月には1300人参加の設置反対住民大会を開くに至った。このころからマスコミもこの問題を大きくとりあげ，また社会党成田委員長の来訪により県議会・国会へと問題がもちこまれた。このようななかで，県は対策協議会（県・企業・町・住民）の設置を提案し，解決への姿勢を少しずつみせはじめた。12月第３回対策協議会で松井報告がなされたが，高層共同住宅を防音壁に利用するという非人道的提案，それにもかかわらず騒音減少は疑わしいなど住民の反論に対し，明確な回答がなかったため再度検討することを申し入れている。その後自治会は住民の意向調査を実施した。これによると，ターミナル敷地の全部を宅地化する要求が55%を占め，松井案（県企業局案）受入れは14%にすぎない。具体的公害対策を実施させる，特定政党に偏向しない，話し合いを解決への基本におき，現地デモ，県当局関係機関へのデモは手段である，民主主義のルールを守るなど基本事項を確認しながら運動をすすめている。



岩倉団地および小牧トラックターミナル企業配図

ここまで運動が盛り上ったのは，県の計画性のなさがあまりにも明白で，企業局の責任のがれの言動が役所不信を高めたこと，さらに企業側が「産業のためには少しぐらいの公害はやむを得ない。いまどき静かなところに住みたいなら山奥にでもいってもらうしかない。もちろん常識的な公害対策はやるつもりだが……」(新聞談話）といった発言が一層住民の反発を強めたこと，また公害を出させないという目標で住民の意志が統一されており，住民間の利害対立がないこと，などがあげられる。しかし，設置反対運動が自治活動の一環として考えられ自治会組織を通じて，情報，調査，広報が巾広く敏速に行なわれたことが運動を盛り上げた大きな理由であろう。とりわけ，このなかでの主婦の役割は大きく，こまめな調査活動，工事中止の座りこみ，企業局長との直談判など多様な運動でその巾を広げており，男性があまりにも企業系列化した管理組織社会にくみ込まれてしまっている今日の状況でのコミュニティー活動のあり方を示唆しているといえよう。また，政党やマスコミを利用し世論に訴えたことも大きな成果をあげる一因となっている。団地自治会組織にふれると，組織は行政末端機構としての役目もうまくとり入れ，これにかかわる連絡事務は自治会広報紙を通じて行われている。このため，町より支払われる連絡事務費は自治会予算として計上され，年間財政の1/6を補っている。また，予防注射などのような通知と反対運動に関する広報が同一紙面に記載されるという工夫もみられる。自治会は任意加入で，個人意志の尊重に運営の重点がおかれているが，このことが結果的には主体性のある住民運動をもりあげる力となっているといえよう。

区画整理反対の運動

区画整理事業は先にもふれたように，名古屋地域では市民にとってとくに大きな影響をもつ事業である。これに関連する運動は最近各地で数多くみられるが，その運動の動機や形態は相当似かよっているといえる。ここでは，名古屋市の大曽根地区，豊田本町地区，最近では都市内高速道路予定地である阿由知通り商店街，さらに岡崎市をとりあげているが，いずれの場合も上位計画実施のための土地提供手段として考えられ，目的が住民の福祉，住民のための町づくりから遠ざかっていることが反対運動の理由である。

これらに共通する住民の声をひろうと，道路を拡げれば土地の値が上るというが，それは土地を売って儲ける人のことだ，土地をとられただけで税金もあがるし，なんのとくにもならぬ。100米道路をつくった時代と今は違う。かってに計画しておいて協力しろとは住民不在もはなはだしい（高速道路反対期成同盟阿由知通り）・我々は被害者なのに受益者だと押しつけ土地をとりあげようとしているんだ，ほんとうの受益者は会社（富士製鉄，トヨタ自工のこと）なんだからそこから金をとるべきだ（豊田本町・岡崎市）・"市は道を作ってやる，おまえらかってに店をつくれ"というわけだ，ところが道が拡がればますます危くなるし，お客さんも減る……どうして受益者ですか（大曽根・豊田本町）・一本の道路を通すのになぜこんな奥まで区画整理の必要があるのかわからない，駅前広場や道路をつくるのだったら市や鉄道の金でやるべきだ（豊田本町・岡崎）

このように，住民は計画が直接生活にかかわっていることを実感として感じており，かって区画整理事業が市民相互の協力で良い町をつくるといえた時代から，モータリゼーションの進行により道路のもつ意味が変ってしまった今日にも，それを適用しようとする矛盾——結局は産業資本奉仕のための第二の税金だといわれても仕方がない——に対して住民は敏感に反応している。

大曽根区画整理事業地区



ところで住民運動の側面からこれを見ると，大曽根地区の場合，昭和38年，地方選挙により，この地区の区画整理事業に対し各政党が態度を表明した。このなかで某政党は，他地区での経験者をオルグとして派遣し，反対宣伝活動にのりだした。これが借地，借家人に反応し，住民大会（200人）で反対決議をし，対策協議会を設置することになった。同年，市による事業計画の説明会で計画の内容が明らかにされ，これに対し白紙撤会要求が打出され市・建設省と交渉を続けるが，41年事業計画の縦覧となる。このとき全世帯3,600から4,300通にのぼる行政不服審査法に基づく審査請求の意見書が提出されるが，全員個人的理由によるものとして一括却下され事業計画決定となる。その後住民のなかには敗北感が広がり，審議会委員をめぐって白紙撤回派と改良派に分裂することになる。このように大曽根地区の場合は，白紙撤回のみを主張しつづけ，土地所有者・営業者・借地借家人の間に入りくんだ複雑な利害関係を運動に吸収することができず，運動に柔軟性に欠いたことが運動を停滞させる一因となっている。

この点，豊田本町地区では，当初白紙撤回要求をかかげたが，住民の利害，多様な要求を取り入れ巾広い運動として持続させるために，計画をより良くさせる，民主的に施工させるという運動に転換している。パンフレット，ニュースなどにより計画への住民の意識を高め，事業計画への異議申し立て，変更申し入れ，不平等換地に対する行政訴訟，下水処理・学校・公園の確保など計画の欠点を指摘し，巾広い支持を得ている。組織は，借家人部会・借地人部会・土地所有者部会よりなる連合組織で地区1,700世帯のうち500人の参加を得ている。

このように，区画整理に反対する声は高まっているが，かといって住民は現状に満足しているわけではなく，大曽根地区のように，白紙撤回要求のみをかかげていたのでは，悪化する環境に対応することはできない。今後の課題としては，反対運動から一歩を進め住民からの環境づくりへの提案が必要になるのではないだろうか。もちろん，その場合，部分的な改良主義に陥り，全体の目標を見失ってしまう危険を意識しなければならないが，なおかつ，住民のみづみづしい意欲を新たな町づくりに育てあげてゆく努力は否定さるべきではないだろう。その点，これらの運動が大きなエネルギーとなっているものが多いにもかかわらず，共通して指摘できる点は調査活動が不足していることである。住民の複雑な要求を分析しそれらを実現させてゆくという過程にこそ，現在さかんに議論される計画における"住民参加"の現実的可能性があるとすれば，それは同時にわれわれ自身の課題というべきであるかもしれない。

生活環境創造への動き

前述の運動の多くは，計画からくる矛盾が住民に直接被害を及ぼしはじめたとき，またはそのことが明白となった時点で，生活防衛として運動が起ってきたものである。これに対して，文教地区指定運動，春日井市総合計画，栄東再開発運動などのように，住民側から生活環境改善への提案を，また計画そのものの提案をしようとする動きがみられる。

文教地区指定運動は，教育施設の集った名古屋市東部丘陵付近におこったものである。住宅地としても大変よい環境であったが，最近ホテル・ナイトレストランなどが建ちはじめ，教育環境・住環境を脅かし始めたため，4大学と地元の主婦が中心

となって運動をおこし，文教地区指定に成功したものである。地区全体の運動というものではなく，関係する教育者，ＰＴＡ会員・数人の主婦がその推進役であった。そして，これをとりあげた一新聞社がキャンペーンを行ない，広く市民に報道したことが指定への大きな力となっている。このほかに，市長選を控えた市長の政治的配慮なども大きな要因ではあったが，いづれにしろ，住民が自からの環境に目を向け，地区指定という計画的レベルまで高めていった点では評価されるべきであろう。

栄東の再開発運動は，一商業人の商業経営への関心が，共同店舗建設案から再開発へと高まっていたものであり，この熱心なリーダーと専門家グループの参加で再開発運動は始まった。運動はまず各地区で住民懇談会を開くなど，各地区のまた各層の住民の意志を聞くことからはじめられた。次に，住民の声を知るとともに啓蒙広報活動が重視され，再開発に関する映写会や無料機関紙「さかえひがし」を発行し，また町づくりには長い年月を要するものであり，明日をになう子供たちの関心を呼びおこすことが必要であるということから，地区小学生による児童作文集の刊行を行っており，現在までに５集を出している。このようにこの運動はプロジェクトを住民に押しつけるというかたちではなく，住民との対話から住環境向上への意欲を高め，再開発への可能性をさぐりだそうとするものである。

革新自治体として発足し日の浅い春日井市は「市民の共感にささえられた都市建設」という基本にたち，「豊かな教育・住みよい春日井」という春日井市基本計画を策定し，全戸に配布した。市民に情報を提供し，市民の声を聞くことによって，自治体と市民が都市建設に共通のイメージをもってゆこうとしている。そして，市民参加をえるためには市長，自治体が信頼されることが重要であるとし，市長に手紙を出す週間・動く市役所・市民相談室の設置など市民の声を吸収する努力がなされている。また，職員に対しては，上位計画をうのみにせず住民側で判断するよう，その資質向上をはかり自治体としての質を高めようとする努力がみられる。これらの基本姿勢・具体的提案は市長の指導性に負うところが大きいといえる。しかし，市民と自治体が一体となってよい住環境をつくってゆこうとする民主的都市建設の方法は大きく評価されよう。

このように，住民とともに生活環境を積極的に創造してゆこうとする動きもみえはじめたが，それは未だ共通して啓蒙活動の段階であり，また，運動は強力な指導者あるいはグループによって支えられている面が強い。その意味ではこんごに残されている課題は多いといわねばならないが，しかし組織活動――運動――はいつの場合も共通の理解とそれを導く啓蒙活動が基盤として必要であり，それを実践に移してゆくのは，ある特定の個人の力に負うことの多いのも歴史的な事実である。

すでにふれてきたように，ようやくにしてよりよい生活環境を求める気運が高まっている以上，こうした小さな試みが，やがてはより大きな歴史的状況を作りだしてゆくきっかけになるだろうという期待のもとに注目したいと考えるのである。

4. 計画の実態と住民運動

計　画　の　現　状

「計画」というものの第一義的な意味は，「住民（国民・市民）が生活してゆく上でのさまざまな要求を空間構成に置き換え，斉合・発展させてゆく技術」にあるといえようが，現実に我々の周辺で進行しつつある「計画」をみるとこの意義が生かされているとはいえないように思える。

「国民のため」・「県民のため」・「地域住民のため」を標榜する「計画」の多くが時間の経過とともにその「たてまえ」と「現実」のひらきをあらわにしている例を前章までにみてきた。

われわれはここに改めて住民にとってその福祉に連なるべき「計画」とは何なのか，それはいかに達成されるのかを考え直してみる必要にせまられているというべきあろう。

住民の立場からみる場合，「計画」とは３つの型に分類することができるだろう。すなわち，公共団体，または自治体が主体となって計画，実施されるもの，および，資本の要請あるいは積極的な介在によって進められるもの，さらにある特定の地域ぐるみ，特定多数の「住民」によって進められるもの，である。

ところで，われわれが最も注目しなければならないことははじめに述べた公共機関による計画である。それはほんらい的には，当然，市民の生活・福祉向上を目指すものであるはずである。しかしながら，すでに述べてきたように，多くの計画は資本の要請とあまりにも癒着している。そればかりか，公共機関が実質的には資本の奉仕機関になり切っているとさえいえる場合も多いのである。

自治体がそうした計画をおこなう場合の論理は，一貫して，産業の振興・発展→地域の振興→雇用の増大・税収の伸び→住民福祉という図式であるが，しかし，この結果実際に住民福祉をもたらしたかどうかは，四日市の例が典型的に示しているところである。

にもかかわらず，こうした一連の計画は，その後もあいかわらず進められてきた。

伊勢湾の埋立による東海製鉄（富士製鉄）を中心とした名古屋市南部コンビナート地帯は，いまや第二の四日市化しており，たびたび公害警報が発せられるまでに至っている。

小牧トラックターミナルの例はまた別の典型であろう。

流通機構の整備という名のもとに，あまりにも無計画な「計画」が進行している。

ここでは，産業の発展→地域の振興→住民福祉という図式さえ，もはや意識はされてはいない。そこにみられるのは，〝産

業のため”そのものであり，そのために，住民の福祉が損なわれることも致し方がないという割り切り方でしかない。

このような一連の動きをみるとき，それらの計画を推進してきた「県」という行政体の果している役割がどのようなものであるか，に改めて気付くことであろう。ほんらい，地方自治体と国家とを結ぶ中間的組織として，広域的な住民福祉を担当する行政体であるべきものが，その当初からもつ性格のあいまいさのゆえに，実態としては，国家の代行機関として，また，同時に資本の代行機関として機能する危険をもっているわけである。このように計画は戦後，一貫して手段・形態をかえてはいても産業基盤整備のためであったといえるが，一方では住民の自覚も高まってきているのであり，また，同時に住民の成長の歴史であったともいえよう。

すなわち，四日市においては生命を守るという基本的な問題としてとらえられねばならなかった。しかも，それは，事後処理としてである。

東三河においては，それは事前の問題として，意識されようとしている。岩倉団地の小牧トラックターミナルでは，それが既に，強力な住民の運動として展開されている。一方，豊田地区や大曽根・岡崎では，区画整理事業の本質が理解されはじめており，生活権の問題として，ようやく，計画が住民にとって何を意味するかを問おうとしているのである。

住民運動の必要性

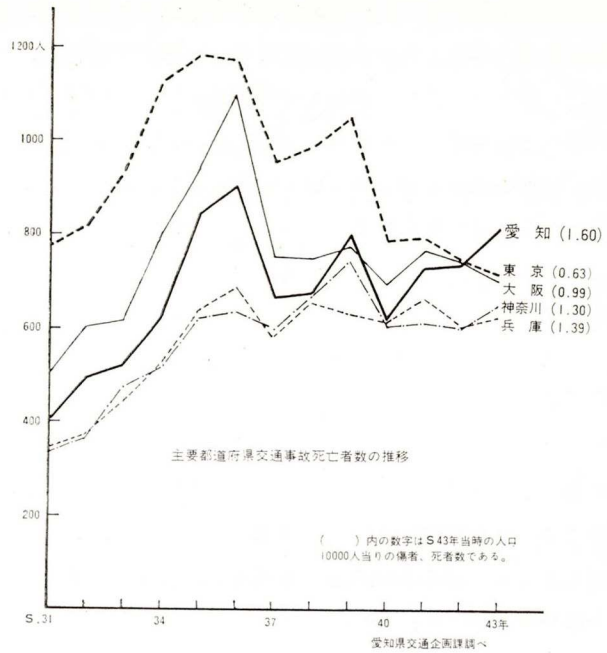
われわれは，各地での住民運動の展開をレポートしてきたが，それは，言葉をかえて述べるならば，まさしく，地域における民主主義の芽ばえとして受けとるからである。

民主主義とは，多数決の論理と教えられ，かつ，信じられていた時代があった。裏をかえせば，多数のためには少数の犠牲は致し方がない，がまんしろということである。しかし，ことが生命や生活の問題にふれるとき，そうした論理にももはや限界があるのは明白である。そこでは，当然，人間としての最低限の権利を保証するという意味での抵抗の論理がうかび上ってくるだろう。

しかしながら，より重要なことは，民主主義の論理は決して抵抗の論理を否定するものではなく，むしろ，そうした権利をその根底として成立っているということである。

さらに言葉をかえれば，住民の基本的人権を守るという点において—それを住民の生活環境・社会生活として把えるならば「住民自治」の確立を根底として成立っているというべきである。

生活環境を育成・発展させてゆくという点において，こうした，まず，住民自らが自分たちの生活環境を維持し，発展させていかねばならないという—義務ではなく，権利としての—意識の芽ばえこそが，あらゆる計画の根底にあるべきものであろう。



こうした観点においてこそ，与えられた民主主義から，自分たちのものとしての民主主義—それに伴なう権利と義務—が育ってゆくに違いなく，ようやくにして，自らの環境・社会に対する共同意志の芽ばえを認めるのである。

その意味において，各地における住民運動の展開は貴重なものというべきであろう。

住民運動の今後の課題

ここでは，住民運動が直面しなければならない二つの問題について触れたい。

その一つは，今年6月に施行されようとしている新都市計画法での「住民参加」に関してである。この法では「住民参加」という名のもとに，計画の縦覧期間として2週間の期間が新たに設けられようとしている。これは今までになかったものであり，たしかに，一つの前進であるかも知れない。しかし，住民参加とは，本来的にそうした軽薄なものではないはずである。地域空間を造るのは公共機関や企業ではなく，ほんらいそこに住む住民である。都市空間は住民・市民の生活の営みの中から造られ，発展してきたことを想えば，2週間の縦覧が終われば，住民の同意を得たというかたちで処理されるものではない。

そればかりか，現実の運用においては，土地区画整理事業が最も典型的に示すように，2週間の縦覧とは，住民に知らせた——「住民の参加」を得たという形式をとるための道具でしかなく，真の意味でのフィードバックシステムとはいい難いものである。

住民運動はこうした一種の合法的なまやかしを注意深く見守らなければならないと同時に，住民にとって，その生活空間の創造とは，ほんらい，永い年月を要するものであり，わずかな期間での即効を期待するよりも，永い年月における住民の営みと智恵との結集の中から，その地域に適した最も有効な生活空間の創造があり得るのである。

つまり，計画は住民の成長とともに成熟してゆくのだという理解を具体化してゆく“住民参加”のあり方が検討されなければならないだろう。

第二の点は，計画ムードといわれる現在，新全国総合開発計画，あるいは中部圏開発計画といわれるような上位計画に採用されはじめている大プロジェクト主義の問題である。

大プロジェクト優先主義を支配する論理は，一つには基幹施設の整備があってはじめて下位計画としての地域空間計画の斉合性が得られるという点であり，他には拠点的重点投資によって，効果的に開発して行こうとする戦略的な配慮が働いているからである。

この論理自体は必ずしも否定されるべきものではないし，複雑な社会機構の中では有効に働く可能性も大きいものである。

しかしながら，現実に出されている計画をみるとき，そうした論理の陰にかくれている次のような事実を見逃すわけにはいかない。すなわち，一つには，そうした計画のほとんどは，住民が理解できない種類のものであり，何らの“住民参加”の機会をも含まないものである。すなわち“計画”が大規模なものであるほど“住民参加”からはほど遠くなる。それは住民自治の方向とはまっこうから対立するものである。

あえて述べるならば，住民運動はそうした“計画”と対立する—“反対運動”—ところから芽ばえてゆくとみることもできよう。

さらに他の点は，こうした大プロジェクトという「結構な絵」のかげにかくれて，より必要とされている現実の政策が等閑に付されているという点であろう。

こんにちほど，都市問題が喧伝されているときはない。それ故にこそ，“大型プロジェクト”も一応の説得力をもって住民に受け入れられる基盤をもっている。しかしながら，日常の政策ともいうべき，交通事故対策・通勤難・住宅・公園等々は，大プロジェクトの出現によって決して解決されるものではないし，現実には，そうした大プロジェクトにより，その進行がかえって遅れるということもおきている。

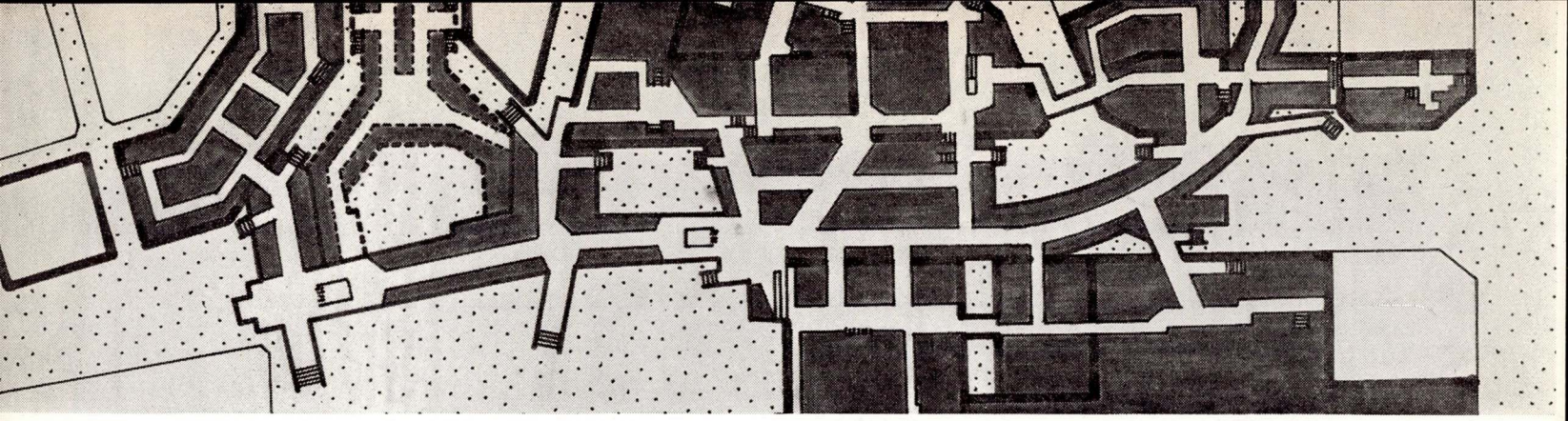
典型的には，田口の場合にみられた，過疎問題等は，資本投資が都市に集中すればするほど，もはや手の下しようのない段階にまできている。そして，いまや，そうした経済の論理と，企業活動の無制限の自由を認める限り，有効な解決策はなく，新たな観点—空間の創造を経済の論理ではなく，生活そのものの立場から把えるという—がなければならないことを示唆しているといえよう。と同時に，こうした過疎問題を解決せずして，都市問題の解決—いぜんとして人口都市集中は続くのであるから—はあり得ないということも自明であろう。

同様にして，高速道路や環状道路の建設は新たな交通混乱に拍車をかけるに過ぎない。また大団地の建設のかげにかくれ，劣悪な木賃住宅群は急速に都市空間を埋めつくしている。

とするならば，今，最も必要としているのは，自治体にとっても，永い将来を見通した，先見の明ある計画とともに，日常の政策ともいうべき，住民生活の直接的な需要に応えうるという姿勢であるといわねばならない。

すなわち，その場合における地域の「計画」とは，地域住民の生活すべてにかかわっているものである以上，それは，すでに地域の「政治」そのものというべきであろう。





あとがき—計画者の役割—

今回の作業にあたっては，われわれが常に持ち続けてきた問題意識——「プランナーとして，いかにあるべきか」——に対する何らかの手がかりが得られれば，という気持があった。

前章まで，中部圏における特徴ある多くの計画に触れてきたわけであるが，やはりほとんどの場合に「計画者」のあり方が大きな問題になっている。「計画」のよしあしが「計画者」のよしあしに帰することも，多くの計画と住民運動の実態をみる中で明らかにされているといってよいだろう。「計画」にたずさわる者にとって，この問題はきわめて重要なことであり，真に計画を住民のものとするために強く反省しなければならない点が多い。

われわれが感じた点を簡単に述べてみると，

第1に，多くの実例は，計画者の「計画」に対する認識が充分ではなかったため，また計画者としての専門的技術知識が著しく不足していたために，多くの計画者をして無気力・無関心・体制順応という方向へ傾斜せしめていったことを物語っている。このことは，われわれプランナー自身に，資質向上のための不断の努力が必要であることを痛感させるとともに，プランナー教育の重要性をあらためて認識させるものである。

第2に，住民とともに計画する，あるいは，住民が主体となって進めるためには，自治体が弱い現状では計画者こそが住民と密接なつながりを持たねばならないということである。事実計画者の努力によって，住民参加の進んでいる例もあり，われわれプランナーのあり方に示唆を与えるものとなっている。その場合，プランナーは住民の要求を敏感に感じとることができるよう，地方にじっくり腰を落ちつけ，住民との交流を深めることが不可欠であるとともに，住民自身の生活環境に対する意識を高め，強力な運動に結集できるような基盤づくりを行なうことも必要である。そうした住民意識の開発こそが，いま最も求められているというべきであろう。

さいごに，計画者の多くが強く感じている問題として，計画者がそれぞれの組織において，孤立させられているという事実がある。かりに，地域住民を第一義的に考える計画者が，その思想を組織内で実現しようとして行動すれば，たちどころに障害にぶつかるだろうし，実施の段階ではその計画者の参加が阻まれたり，計画の中味で都合のよい部分のみをつまみ食いされてしまうこともおこりうる。

ここには計画者の主体性はない。この問題に対処するためには，計画者自身がほんらいの責務を認識するとともに，計画者相互の連帯を強め，計画者というものを組織的に認めさせていくことが必要であろう。そのようにしてつくられた計画者集団によって，それぞれの計画者が個々にまとめ上げた計画をお互いに検討しあうというシステムの作られることが望ましい。

換言すれば，計画の立案，実施にあたって，計画者が住民に働きかけ，住民の組織化をはかり，住民の要求を敏感に受け取ること，そして計画者自身の認識を深め，同時に計画者の横のつながりを強くすること，以上が今回の作業を通して明らかにされたことといえる。そしてわれわれは，「計画者連合」の必要性を痛感したのであるが，これは今回の作業で掘り下げるまでにはいたらず，こんごの課題として残されている。

なお，この作業は，下記のグループによりまとめたものであるが，充分意を尽したものとはいいがたい。また，グループ作業からくる制約により，記述に重複のきらいもみられ，読者の方々へのご迷惑をおそれるが，忌憚のないご叱正，ご批判を賜われば幸いである。

赤嶺健一*5　岩井鉄也*2　岡田年弘*5　加藤征男*5　神谷東輝雄*5　木村光宏*4　今野卓*4　桜井大吾*2　佐藤圭二*1
鈴木正勝*5　玉置伸侶*4　富岡孜*1　名口繁行*1　西村一朗*3　松浦志郎*4　松尾博雄*5　薮田仁一郎*2
（50音順）

なお，本特集および次頁以降の「名古屋と周辺の計画」についての文責は，以上のグループが負うものであることを明らかにしておきたいが，同時に，今回の作業にあたっては，国連地域開発訓練中部センターの長峯晴夫氏，名古屋工業大学の服部千之氏のご指導，ご助言をいただいた。記して謝意を表したい。

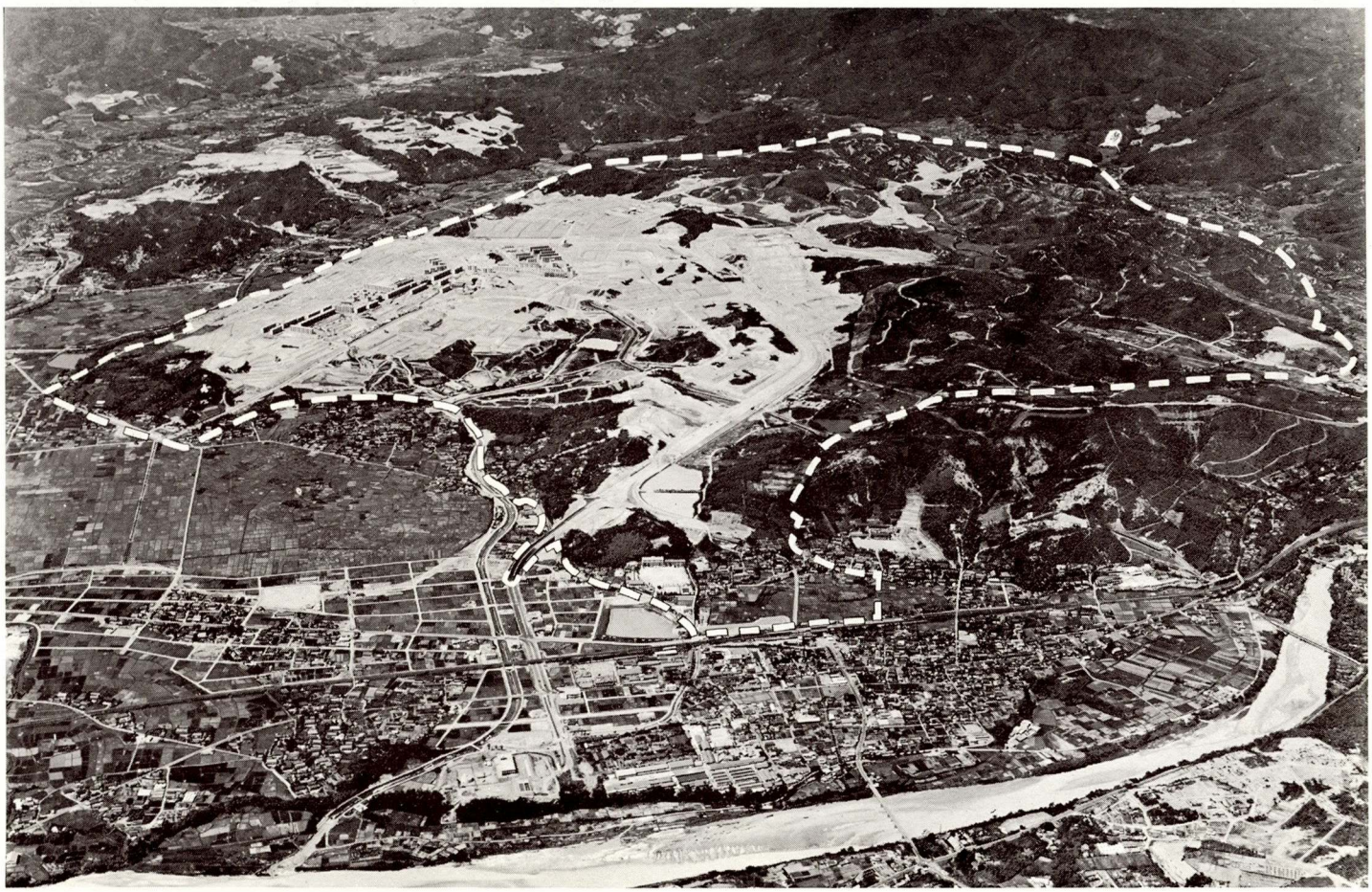
*1　名古屋大学
*2　名古屋工業大学
*3　豊田工業高等専門学校
*4　住宅公団名古屋支所
*5　名古屋市

名古屋と周辺の計画

住居・教育・健康の面から

最近注目された計画の中から、生活と密接につながっているものをとりあげ、そのあらましを紹介する。

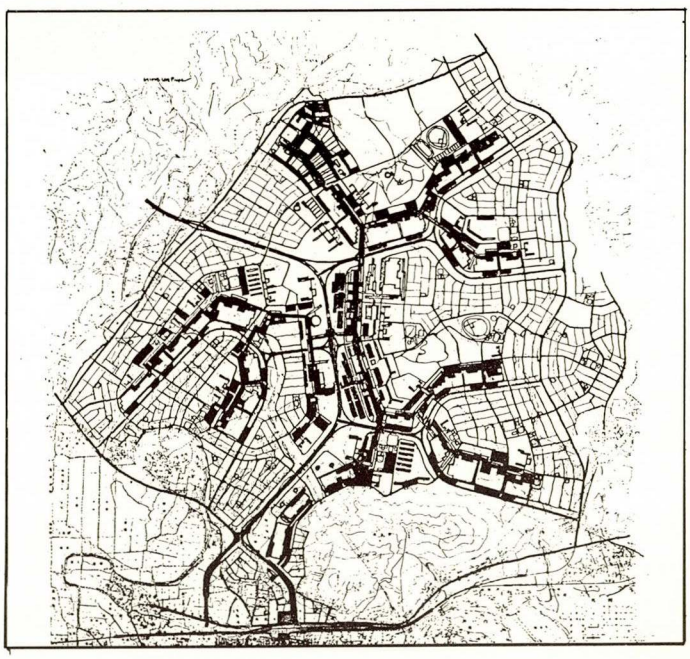
資料提供：愛知県，南山大学，レーモンド建築設計事務所，大成建設KK



高蔵寺ニュータウン

所在地	愛知県春日井市高蔵寺
敷地面積	850ha
事業主体	日本住宅公団
基本計画	東京大学高山研究室、他
建設年次	S39～S65
工費	約 1,500億円
住宅戸数	22,000戸（うち、公団 15,000戸）
計画人口	87,000人
人口密度	100人／ha（グロス）
施設	幼稚園22、小学校16、中学校6 高等学校2、店舗 1,500他

名古屋都心部より20km、濃尾平野の東北端、山塊に突当る部分で、地区全体が起伏に富んだ丘状をなしている。地区東側は、県立公園、国民の森などのグリーンベルドにかこまれ、南西に名古屋市を一望する。昭和36年に計画が着手され、計画面積850Haのうち700Haが区画整理事業によって進められている。現在約1,500戸の公団住宅が建設されて、6,000人の人々が生活をはじめている。



又穂公団住宅



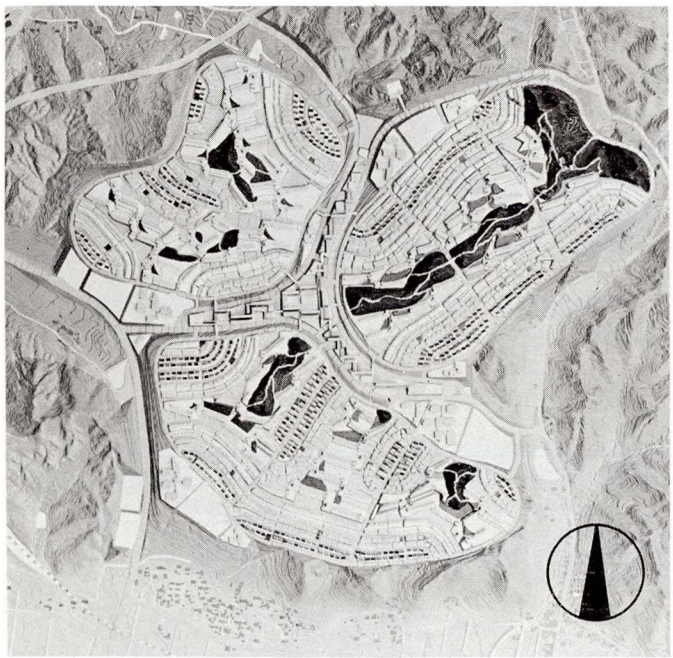
住宅戸数　1,044戸
計画人口　2,800人
人口密度　844人/ha
施　設　店舗、スーパーマーケット、レストラン、プール、郵便局、派出所、幼稚園



市内北部の住・工混在地にあり、都心まで20分の交通至便な位置である。敷地はある紡績会社の工場跡地で、そこを利用した市内初の大規模な市街地再開発事業である。建物は15階建の1号棟を中心に3棟配置され、豊かな空地（建ぺい率21.4%）を確保している。

所在地　名古屋市西区又穂町2－1　敷地面積　33,140m²
設　計　日本住宅公団名古屋支所・大阪建築事務所
工　期　S40.2～S42.5
施　工　戸田建設K.K.　　工事費　24億円

菱野ニュータウン

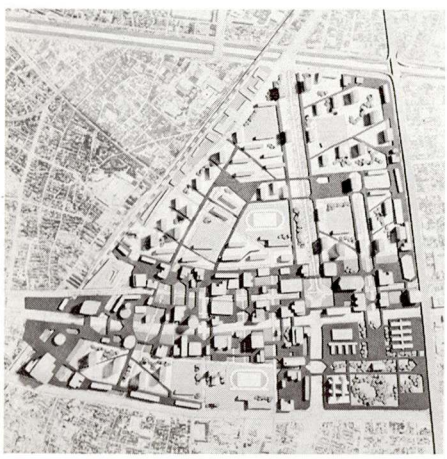


名古屋の都心から東へ18キロの丘陵地に計画され、プランは全体を3住区とし、住区間を埋める形で線状にサービス施設が配置される。道路網は住区内への通過交通を避け、歩車分離システムを採用し、交差点はすべてT差路となる。建物配置はポイントハウスとフラットを同一軸上にならべて単調さを避け、各棟は歩路で地区全体に結びつけられる。

住宅戸数　7,240戸
計画人口　30,000人
人口密度　170人/ha
施　設　幼稚園5
小学校3，中学校1，
店舗200，マーケット5
工　費　約200億円

所在地　愛知県瀬戸市菱野
敷地面積　174ha
事業主体　愛知県住宅供給公社
基本計画　黒川紀章建築都市設計事務所
工　期　S42～S50

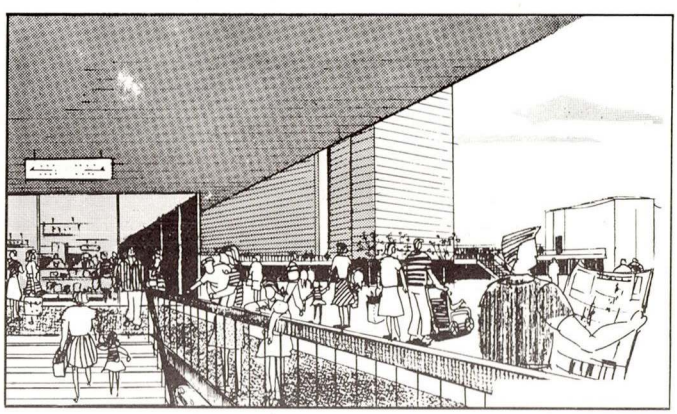
栄東地区再開発計画



名古屋の都心部に位置する面積165haの市街地区域の市区再開発計画である。もともとは一商業者の熱心な唱導により運動が開始されたもので、住民の話し合いの中から、市民のための生活空間を創造してゆこうとするところに今までとは異なった新鮮さがみられる。

所在地　名古屋市栄東地区
面　積　165ha
現人口　23,000人
計画人口　50,000人

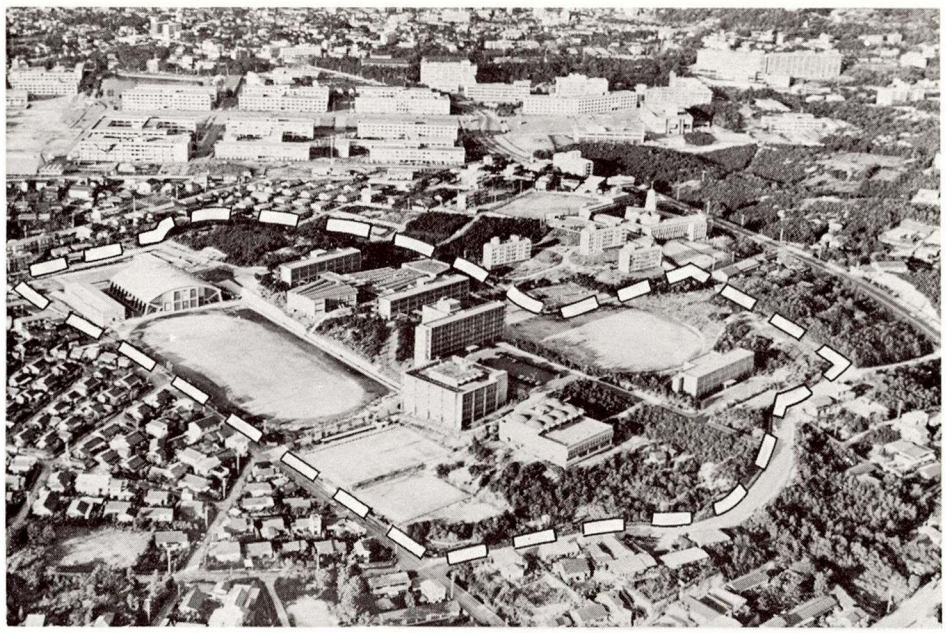
住区サービス施設▶



南　山　大　学

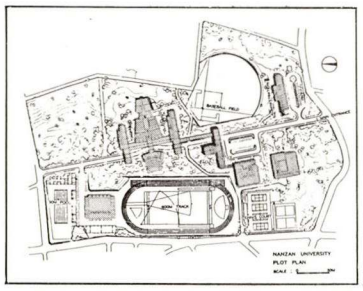
所 在 地　名古屋市昭和区山里町
敷地面積　139,867m²
事業主体　学校法人　南山大学
設　　計　レーモンド建築設計事務所
施　　工　清水建設K.K.
工　　期　S37.8～S39.3

建築面積　8,829m²
延床面積　23,581m²
主要施設　教室棟　研究棟　食堂　図書館　体育館　プール　管理棟



▲南山大学　（遠景は名古屋大学）

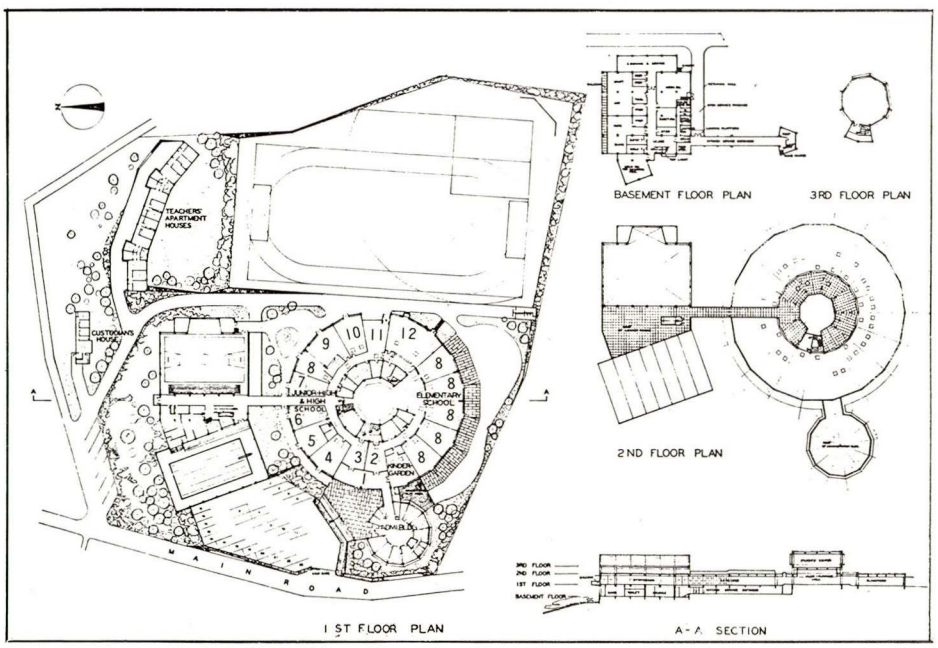
名古屋市内東部丘陵地の、良好な住宅地に接した位置にあり、自然の樹木や地形を生かしたプランである。建物は中央縦貫道路を中心に直角に配置され、全施設が同時に設計施工された。隣接する名古屋大学とともに文教地区の雰囲気を醸成している。



▲プラン



▲陸上競技場からの眺め

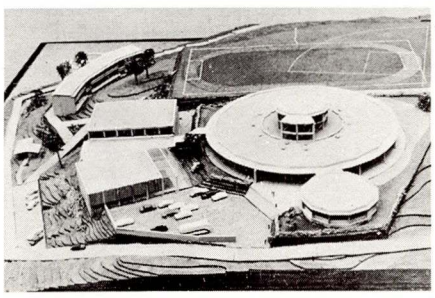


▲プラン

名古屋国際学園

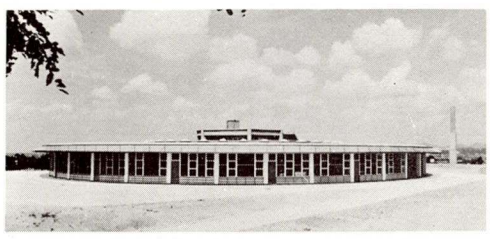
所 在 地　名古屋市守山区中志段味南原
敷地面積　232,061m²
事業主体　学校法人　名古屋国際学園
設　　計　レーモンド建築設計事務所
施　　工　大成建設名古屋支店
工　　期　S42.8～S43.7
工　　費　259,560,000円
建築面積　2,838m²

1　玄関　　7　事務室
2　小学校入口　　8　クラスルーム
3　中高校入口　　9　科学教室
4　英語教室　　10　研究室
5　語学教室　　11　ラウンジ
6　数学教室　　12　図書室



◀模型写真

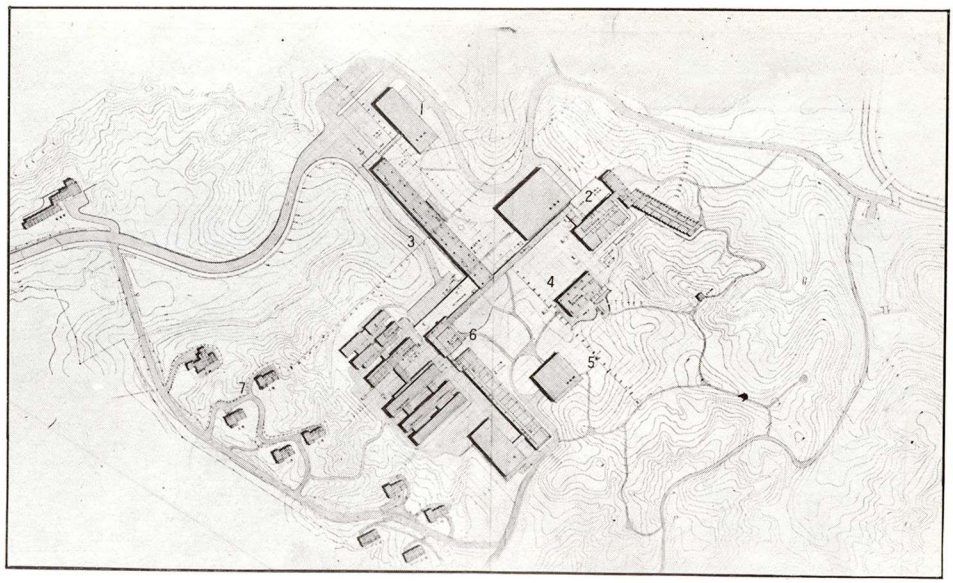
▼東面



名古屋市東北部の丘陵地にあり、周辺は農家と若干の中小工場が点在する。校舎は、直径55mの円型であり、コア部分には多目的室を配置し、外周に一般教室特別教室を配置している。

愛知県立芸術大学

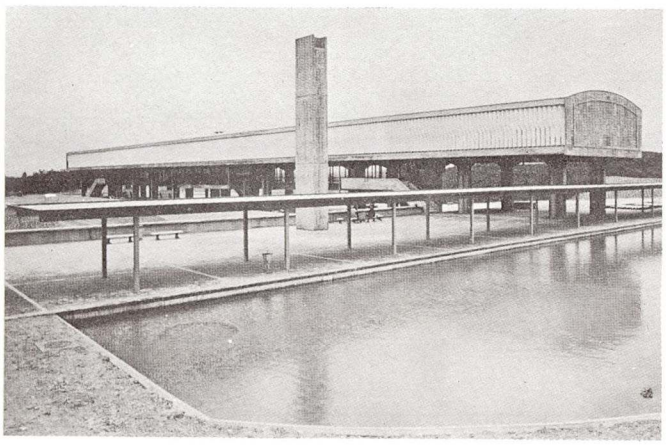
所 在 地　愛知県愛知郡長久手村
敷地面積　306,307m²
延床面積　9,618m²（42.8現在）
事業主体　愛知県
基本設計　愛知県建築部
　　吉村設計事務所

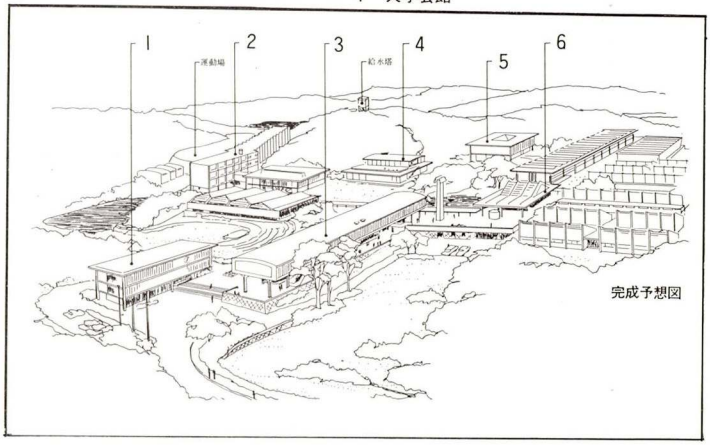


1　大学本部（管理棟）
2　音楽学部棟
3　講義棟
4　大学会館
5　図書館
6　美術学部棟
7　職員宿舎

名古屋市東部近郊の丘陵地帯にあり、地形条件をたくみに生かした分散配置によって、秀れた環境が造りだされている。また、分散配置にありがちな機能上の問題も、カリキュラムの編成によって解決されている。

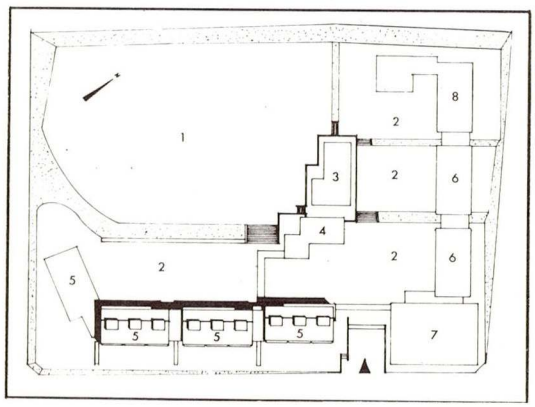
◀講義棟





完成予想図

春日井市立藤山台小学校



1　グランド
2　遊び場
3　プール
4　管理棟
5　普通教室（高学年用）
6　普通教室（低学年用）
7　体育館
8　幼稚園

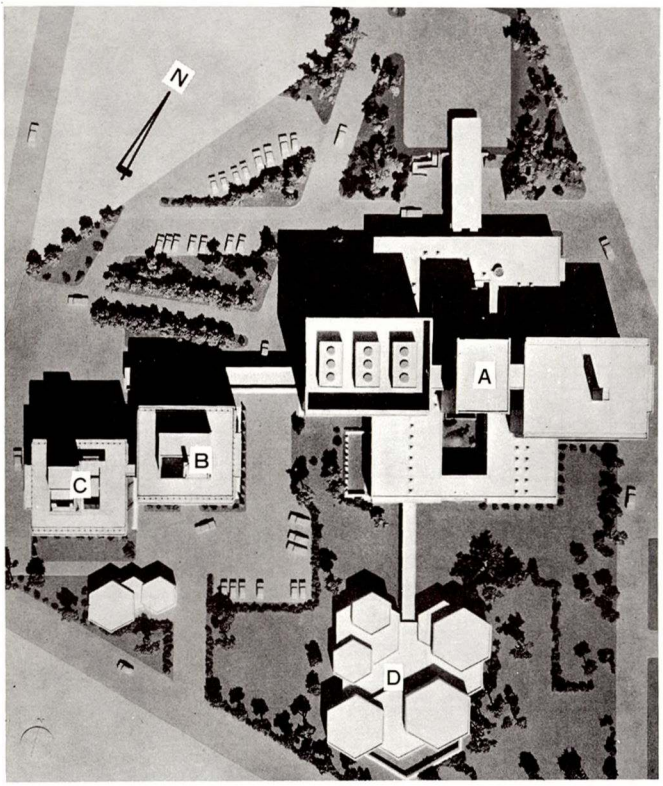


所 在 地　愛知県春日井市高蔵寺ニュータウン内
敷地面積　18,444m²
建 築 主　春日井市
設　　計　東京大学吉武研究室
　　三阪建築設計事務所
工　　期　S43.5一部完成
工　　費　4,340万円

建築面積　953m²
延床面積　1,680m²
計画学級規模　18学級
生 徒 数　210人（S44.1現在）

高学年ブロックと低学年ブロック・幼稚園を全体的に分けている。平面計画は、学年のまとまり、戸外とのつながりが重視されており、単なる通路部分と考えられていた廊下を、学年毎のワークルームとして計画されている。

愛知がんセンター



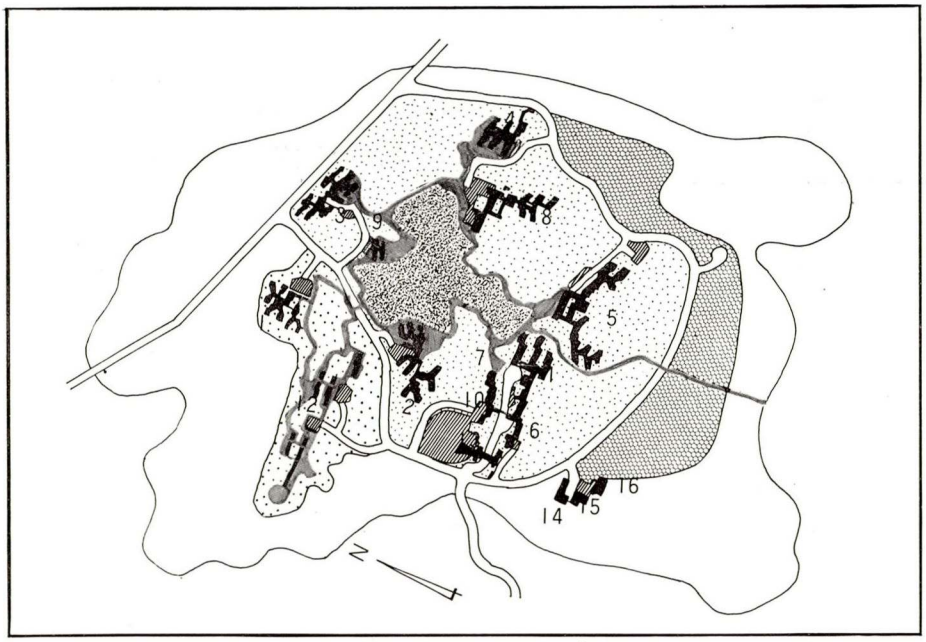
A　病　　院
B　がん研究所
C　衛生研究所
D　特殊放射線棟

所在地　名古屋市千種区田代町
敷地面積　46,391m²
延床面積　22,997m²（合計）
事業主体　愛知県
基本計画　愛知県営繕課
及び設計　小川朝吉、吉武泰水、浦良一、早川正夫、西野範夫、伊藤誠
工　　期　S37.12～S39.12
工　　費　15.4億円
職員数　381人

名古屋の東部丘陵地帯に立地しており、治療施設と研究施設の独立性と関連性を保ちつつ配置した総合的ながんセンターである。

▼ 病院正門より





入居者生活ゾーン
公園ゾーン
職員生活ゾーン
農場ゾーン
修景ゾーン
駐車場
車道
遊歩道

1　重症心身障害児施設
2　精神薄弱児施設
3　精神薄弱者厚生施設
4　精神薄弱者授産施設
5　養護学校
6　病院
7　研究所
8　職業訓練所
9　親子宿舎
10　総合管理事務所
11　職員宿舎（独身）
12　職員宿舎（家族）
13　文化センター
14　給食棟
15　エネルギーセンター
16　ランドリー

愛知県心身障害者コロニー

所在地　愛知県春日井市神屋町
敷地面積　73ha
事業主体　愛知県民生部
基本計画　黒川紀章建築都市設計事務所
建築計画総合研究所
（代表　吉武泰水）
工　　期　S41～S45
工　　費　約30億円
収容人員　1,250人

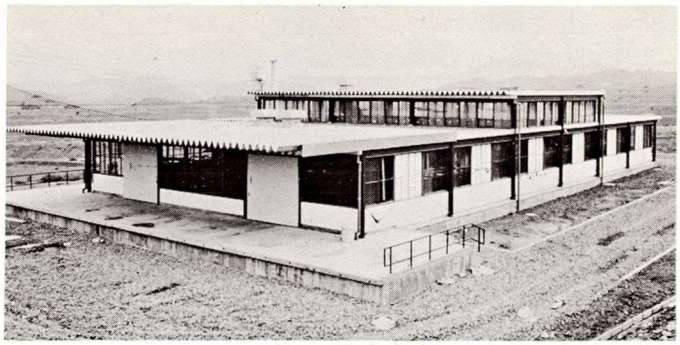
このコロニーは、心身に障害をもった人々が児童から成人へ、また、生活の場から職場へと系統的に一貫した施策ができる総合施設である。そして、クラスター方式による配置計画、明解な土地利用計画がその特徴となっている。

▼ 精神薄弱児施設（計画）

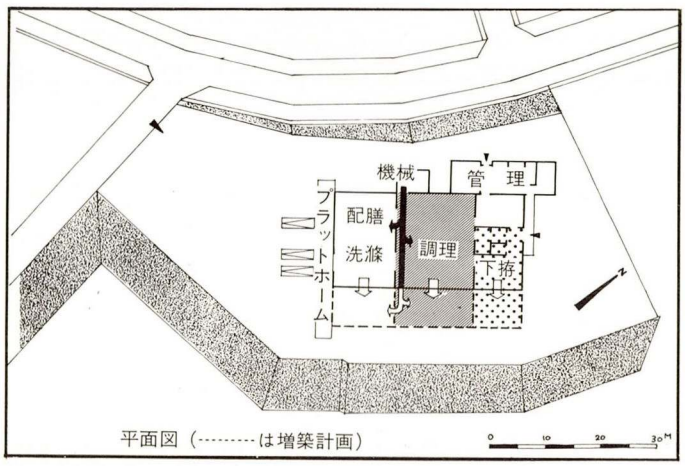


春日井市給食センター

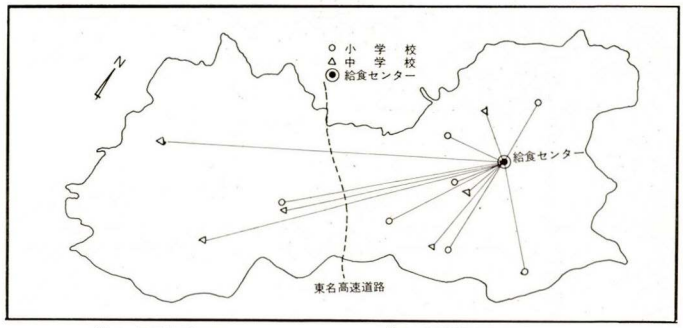
所 在 地　愛知県春日井市白山町高蔵寺ニュータウン内
敷地面積　3,000m²
事業主体　春日井市
設　　計　名古屋大学柳沢研究室
工　　期　S42.9～S43.3
工　　費　4,000万円
建築面積　787.5m²
給 配 量　5,000食（最終給配量　9,000食）
対象学校数　小学校7　中学校6（S44現在）



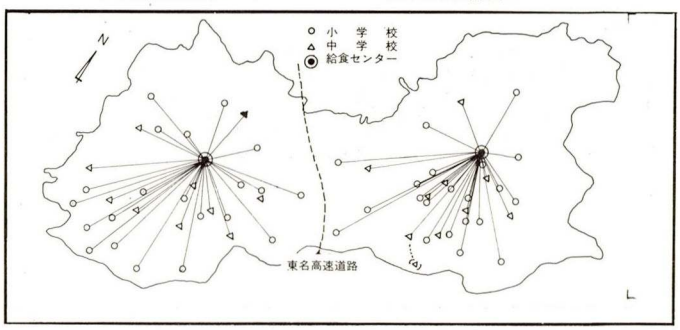
将来の給配計画はセンターを2ヶ所とし、春日井市内の全小中学校（小42校、中19校）に給配する。平面計画は給食需要の増大に応じて　下拵・調理・洗浄・配膳・プラットホームの5機能が中断することなく増築が可能なようになされている。



平面図（·····は増築計画）



第1次配給計画▲

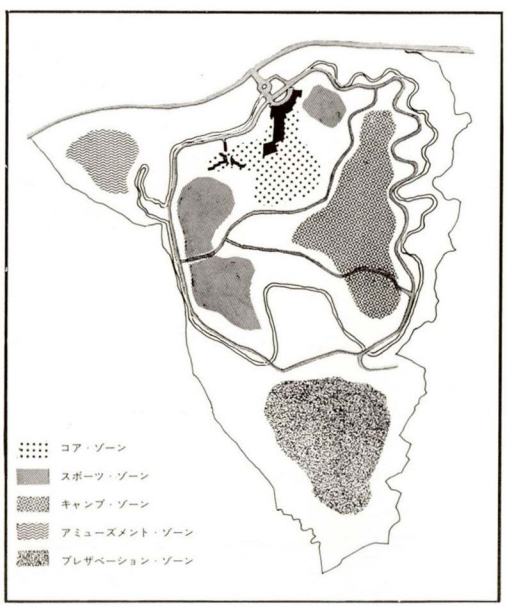


第2次配給計画▼

愛知県長久手青少年野外センター



所 在 地　愛知県愛知郡長久手村
敷地面積　200ha
事業主体　愛知県青少年対策本部
建設調査　財団法人都市計画協会
基本設計　中日本技術開発KK
　　県土木部
工　　期　S42～S46
事 業 費　約25億円(用地費除く)
主要施設　回遊園路、サイクリング道路、遊歩道、サッカー場、テニスコート　バレーコート、サッカー場、野球場、陸上競技場、自然教育園、宿泊施設、児童遊園、キャンプ場



名古屋駅から東方約20kmの丘陵地に位置し、地形、植生等の自然環境を生かして野外レクリエーション、スポーツ活動、教育訓練的活動の場を与えるものである。

技術の頁一覧（昭和38年1月号～昭和44年2月号）

今回は，昭和38年1月号より始まった技術の頁の総目録をつけて，皆様の参考といたします。

	号	部門	テーマ	執筆者
	昭和38年			
1	1月号	施工	物を吊り上げる機械	篠田駿二
2	1月号	構造	超高層建築について	金多潔
3	2月号	設備	設備機械室の広さについて	高橋誠義
4	2月号	施工	「くい」について	近藤幸雄
5	3月号	設備	事務所建築における空調設備の方式	三村胖
6	4月号	施工	切梁材のない地下工法	金田宏
7	4月号	構造	大型鋼管を用いた高層建築の柱	山田稔
8	5月号	構造	V形トラスの数例について	大野勝三郎
9	6月号	施工	放射線と遮蔽	吉田繁
10	7月号	原論	壁面展示室の採光	伊藤克三
11	8月号	材料	アルミニウム建材の彩色	園倉栄
12	8月号	原論	遮蔽係数（Shade Factor）について	松浦邦男
13	9月号	材料	防火塗料	南誠佑
14	10月号	原論	大気汚染防止のためのガス排出の制御	（技術の頁小委）
15	11月号	構造	最近の軽量鉄骨建築	椋代仁朗
16	12月号	材料	人工軽量骨材コンクリート	奥島正一
	昭和39年			
17	1月号	構造	「ジョイントの近代化」のために	鷲尾健三
18	2月号	原論	大気汚染防止のための粉塵排出の制御	（技術の頁小委）
19	3月号	構造	土質と基礎の形式　基礎の設計の考え方	小泉昇
20	4月号	原論	ホテルの騒音制御	前川純一
21	5月号	積算	見積りの合理化能率化への諸問題	天池嘉平治
22	6月号	施工	全溶接工法	山下虎太郎
23	7月号	原論	日当りの早見図表	伊藤克三
24	8月号	原論	ガスのカロリーアツプによせて	大貫啓嗣
25	9月号	原論	共同住宅の採光規準	松浦邦男
26	10月号	原論	熱伝導率の現場測定	金谷英一
27	11月号	構造	異形鉄筋のガス圧接について	鈴木豊明
28	12月号	原論	輻射測定とストーブの性能	上林博雄
	昭和40年			
29	1月号	施工	雨仕舞について	笹原正幸
30	2月号	原論	地下鉄の温湿度測定について	赤松義夫
31	3月号	原論	蓄熱式熱回収ヒートポンプサイクルについて	中原信生
32	4月号	施工材料	コンクリートのワーカビリチー	福島正人
33	5月号	設備	空気―水ヒートンポンプの一実例	中山春樹
34	6月号	原論	熱環環とオリエンテーション	金谷英一
35	7月号	構造	鉄骨のジョイントの形式	山田稔
36	8月号	施工	最近の施工用機械の紹介	依田潔
37	9月号	材料	最近の左官材料・モルタル混和材について	山田幸一
38	10月号	環境	環境音楽（Planned Music）	秋田正克
39	11月号	材料	ポリサルファイド（チオコール）コーキング	建材委員会
40	12月号	設備	空調用冷凍機の温度調節装置について	荏原製作所技術課

	号	部門	テーマ	執筆者
	昭和41年			
41	1月号	材料	コンクリートの亀裂と硬化乾燥収縮	下鳥正孝
42	2月号	材料	耐摩耗のモルタル床について	樋口倶一
43	3月号	設備	ビル建築のモジユール化と蛍光灯照明器具	富本恭弘
44	4月号	材料	BORED LOCK（ボアドロック）の構造	鈴木直
45	5月号	設備	ガス器具の排気について	後藤宏造
46	6月号	構造	ハイテンシヨン　ボルト	脇山広三
47	7月号	環境工学	吸熱ガラスの透過光の演色性	中根芳一
48	8月号	目録	技術の頁一覧表	日本建築協会建材委員会（担当：米田正義）
49	9月号	材料	プラスチックを主とした床材	
50	10月号	環境工学	高温工場の熱環境調整	石原正雄
51	11月号	〃	ガラスブロック窓の昼光率の計算	松浦邦男 古江嘉弘
52	12月号	材料	耐候性鋼と建築―YAW―TENについて―	小川通一
	昭和42年			
53	1月号	材料	国立劇場外壁コンクリートに用いたケミカルステイニング	久保田浩典
54	2月号	構造	被覆消耗ノズル併用エレクトロ・スラグ溶接法（SES法）	村井一夫 中村成宏
55	4月号	建材関係	合成ゴム防水について	建材委員会（担当：伊藤幸一）
56	5月号	構造	テント建築	太陽工業KK
57	6月号	設備	大型汚水化学処理槽	田中機械KK
58	7月号	施工部門	ある官庁における標準工期のきめ方	久留守親男
59	8月号	設備	規格ダクト	塩見浄
60	9月号	構造	鋼構造の問題点	鷲尾健三
61	10月号	施工	原爆ドーム保存工事に使用されたエポキシ注入接着工法	金子敏雄
62	11月号	構造	アルミニウム合金と立体構造	松下富士雄
63	12月号	設備	建築照明技術の最近の傾向	堀大成
	昭和43年			
64	1月号	材料	砕石コンクリートについて	広橋康充
65	2月号	材料	建材の燃焼による煙と有毒ガス	日本建築協会建材委員会　担当：堀内三郎，中村嘉幸
66	3月号	施工	立体トラスのリフトアップ工法	樋口元一
67	4月号	材料	防露対策について	日本建築協会建材委員会担当：元木貞次
68	5月号	構造	経済的なプレストレスコンクリート建築	松井克俊
69	6月号	材料	新らしいシーリングについて	西村清一
70	7月号	設備	パッセンジャーコンベヤ（ムーベータ）について	長竹孝夫
71	8月号	設備	地城冷房の技術的諸問題	尾島俊雄
72	9月号	施工	米国におけるコンクリートスラブ直均しの実際	中尾明長
73	10月号	材料	ALCについて(1)	日本建築協会建材委員会（担当：中村嘉幸）
74	11月号	材料	ALCについて(2)	
75	12月号	材料	ALCについて(3)	
	昭和44年			
76	1月号	施工	大型プレハブ工法とシルバークール構法について	諫早信夫
77	2月号	構造	超高層建築のゆれ方	井上豊

日本建築協会 月間の動き

□昭和44年1月分□

事業委員会

各種説明会小委員会

8日　5時半～7時　於本会3階会議室
出席者　近藤副委員長，三宅幹事，岸委員
議事(1)第1回「可動間仕切について」の説明会開催について
(2)第2回「ALC（高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリート）について」の説明会開催について
(3)第3回「建築材料と火災（防火）について」の説明会開催について
(4)明年度の各種説明会について

見学会小委員会

9日　5時半～7時　於本会3階会議室
出席者　山野副委員長，窪田幹事ほか3委員
議事(1)12月に実施した見学会について報告
(2)1月～3月の見学企画について

委員会

21日　5時半～7時半　於本会集会室
出席者　岡本，山野各副委員長，打浪，窪田，小泉，佐藤，三宅，大橋各幹事ほか2委員
議事(1)各小委員会の事業企画について
(2)1月～3月の事業企画について

台湾視察企画小委員会

22日　正午～2時半　於本会集会室
出席者　山野主査，打浪幹事
岩佐直則氏，安田勇吉氏
議事　台湾視察企画について

編集委員会

委員会・常任幹事会

17日　4時～6時　於本会集会室
出席者　足立委員長，横田理事ほか6名
ゲスト　荒木兵一郎氏
議事(1)1月号＝建築産業の構造と方向特集経過報告と感想
(2)2月号＝鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討特集経過報告
(3)3月号＝中部圏特集（仮称）経過報告
(4)4月号以降の特集企画について

建築行政特集企画会

17日　6時～8時　於本会集会室
出席者　ゲスト　三品哲夫氏，椚座正信氏
足立委員長ほか6名
建築行政特集企画の具体化について協議

建築データシート編集委員会

編集Aグループ打合会

20日　正午～2時半　於本会3階会議室
出席者　西川幹事ほか3名
議事　第15回の編集企画について

編集幹事会

21日　5時半～8時半　於本会3階会議室
出席者　中原，松村正副委員長ほか4幹事
議事　建築データシート座談会記録の会誌掲載原稿について

委員会

23日　5時半～8時　於本会集会室
出席者　中原，松村正副委員長ほか12名
議事(1)座談会の記録について
(2)各編集グループの作業について
(3)掲載会社の確保について

出版委員会

基礎工法編集幹事会

22日　6時～9時　於本会3階会議室
出席者　山肩委員長，多々見，山口幹事
議事(1)最終原稿検討方法　(2)出版工程

建材委員会

委員会

24日　3時～5時半　於本会集会室
出席者　堀内，香取正副委員長ほか8名
オリエンタルメタル製造㈱2名
議事(1)被覆鋼板「シリカチール」
(2)今後採り上げる問題

住宅委員会

委員会

24日　5時半～8時　於本会集会室
出席者　岡橋，黒谷正副委員長ほか16名
議事　各小委員会の事業企画について

見学会

大阪国際空港ターミナルビル新築工事見学会
（大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部と共催）

18日　1時半～5時
参加者　219名
設計監理　㈱安井建築設計事務所
施工　清水建設㈱，㈱藤田組，㈱大林組
㈱間組，㈱熊谷組，㈱竹中工務店

ゼミナール

建設計画について
関西国際空港ビルデイング㈱建設部長　安本　弘氏
計画設計について（設備共）
㈱安井建築事務所空港設計室長　竹本丈太朗氏
施工について
㈱安井建築事務所伊丹事務所長　埴田　昌氏

説明会

実務に直結した建築工事別説明会
「可動間仕切について」

23日　1時～5時　於大阪商工会議所
聴講者　145名
総括の説明
㈱東畑建築事務所取締役設計部長　香取　礼三氏
インターウォールについて
㈱岡村製作所インテリヤ部長　松村　省吾氏
エコニースタッドについて
㈱マンテン建装部次長　稲葉　俊夫氏
MICウォールについて
日軽アルミニウム工業㈱内装課技術担当副課長
正野　勝己氏
ユニパートについて
日米パーテイション㈱営業2課長　堀　啓氏

講演会

超高層建築講演会（第1回）
「神戸商工貿易センタービルの構造計画について」

30日　1時半～5時　於大阪商工会議所
聴講者　190名
超高層の建築に望む
日本建築総合試験所長　工学博士　坂　静雄氏
構造計画について
日建設計工務㈱大阪事務所構造部長　工学博士
川村　政美氏
動的設計について
日建設計工務㈱大阪事務所構造部　鵜飼　邦夫氏
構造実験について
神戸大学教授　工学博士　山田　稔氏
実験結果と実施設計について
日建設計工務㈱大阪事務所構造部主任　若林嘉津雄氏

3会事業委員長打合会

27日　正午～2時　於大阪府建築士会
出席者　政岡協会，矢野士会，各事業委員長
三品学会幹事ほか事務局員5名
議事　2月以降の共催事業について

建築関係団体連絡会

世話人会，発会式

31日　1時～4時半
於日本建築センター会議室
世話人会に引続き発会式が行われ本会より佐野理事（世話人），事務局長が出席した
発会式は建設省住宅局長はじめ関係官が多数列席せられ盛会裡に終了した
なお終了後建設省関係官より「建築基準法施行令の一部改正について」の説明が行われた

6団体合同新年交礼会

4日　1時～2時　於コクサイホテル
本会の当番で恒例のとおり開催　参加者 464名

6団体事務局長打合会

21日　1時～3時　於本会集会室
出席者　8名
第2回建築祭開催計画の構想案の検討その他

第2回建築祭計画事務局協議会

28日　2時～4時　於日本建築学会
出席者　日本建築協会ほか7団体　10名
第2回建築祭計画に関する構想案について協議

1月の入会者〔敬称略〕

〔個人会員　36名〕

井上和夫	北川龍一	西村　隆
石田忠良	北山一男	沼津昇三
鵜尾和博	久野英雄	野々村和治
上原節夫	桜井勝一	野村恂三
牛田雅儀	鈴木良実	服部　守
内海　仁	滝本高茂	平田　勝
岡本泰舜	千木秀矩	藤内久登
奥村謙之助	辻　晴吾	藤原秀作
加木　実	遠山一行	古島　渉
片川謙三	中尾　毅	右田　宏
神里貞之	中村義雄	矢野　茂
河原　馨	長峰政雄	山本　勲

〔准会員　10名〕（氏名省略）

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表　0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル5階　502号室）
直通電話　大阪（364）2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5　（電話㉒2923）

OKUYAMA·KAKOGYO
OAM
WATER·PROOF

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 デラタイト

奥山化工業株式會社

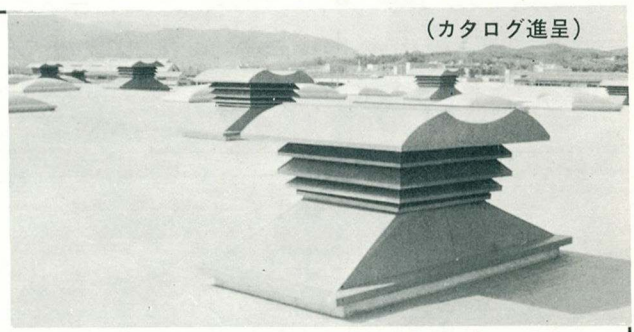
東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り5－4　電話(921)2497·(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811)3660・3104

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型·B型·固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付

スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区東今里四丁目40番地
電話（981）0616～0618

暖冷房・換気・温湿度調整・衛生諸設備
設 計 ・ 施 工

暁 建 設 工 業 株 式 会 社

代表取締役　田中 喜久雄
大阪出張所長　猪俣 英 雄

本 社　東京都中央区日本橋通３－１　電話(201) 0181(代)
出張所　大阪市北区樋ノ上町５　電話(363) 4108～９
名古屋市中村丸ノ内２－17－10　電話(231)3046・6007
福岡市東湊町３８　電話 (74) ６８６３
(75) ５４８２

創　業 暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年 病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎 藤 省 三 商 店

東京店　東京都千代田区丸の内２の２　丸ビル６７６号　電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通１の１　大同ビル６１６号　電話 443代 3361
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄３の５番２９号　千代田ビル５１４号　電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町４８番地　電話 681(代)1781

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

C.C 株式会社 朝日工業社

本　店　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302)2271～9(代)
大阪支社　同　上
東京本社　東京都港区芝浜松町2－7　電話 (434) 6171(大代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・盛岡・横浜・神戸

冷暖房
給排水、衛生水道
電気
厨房

各種サッシ
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　大前 玉男
取締役支店長　樋口 勝栄
大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷 知巳

本　店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話 (441) 8231大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・広島
出張所　京都・神戸・岡山・高松・熊本
横浜・新潟・富山・福井・豊田

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三 晃 商 会

本　社　大阪市北区富田町16番地　電話(363)大代表1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292) 代表7751
広島市紙屋町１丁目２番22号　電話(47) 代表4535
福岡市大名１丁目８番12号　電話(76) 代表3795
出張所　名古屋・富山・金沢・福井・京都・松江

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 ５８９２

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

営業種目●空気調和設備●給排水衛生設備●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和の ケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座６－６－７　㊡(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島２－22　㊡(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦２－２－13　㊡(211)1535 代
出　張　所＝札幌・仙台・北陸・神戸・広島・松山・九州

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設 計 施 工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電話 (351)　(代表)　２８０８
本社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電話 (814)　(代表)　５１５１
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設 計 並 施 工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話 大阪 (443) ５０４１～５番

東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地(日本ビル)
電話 東京 (270) ７４１１番(代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌 22)5756
金沢営業所　金沢市高岡町２番１６号　電話 金沢 21)2074
福井出張所　福井市御幸２の１　電話 福井 24)2436
高松出張所　高松市２番丁９　電話 高松 21)5195
岡山出張所　岡山市大供３８０の１　電話 岡山 24)5486

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並二施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町３０　電話 (361) ５１７７(代) (364) ０９７７(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内３－２(新東京ビル)
電話 (211) ８５１１・８５６１(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町６０
電話 (21) ４４９１
名古屋支店　名古屋市東区東門前町３－６
電話 (971) ３６２１

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店　大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪(312) 4 5 2 1 (代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443) 代表8161～9
支　店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ビークビル5階　電話(583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(34) 1778・4386

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25(新大ビル)
電話大阪(344) 1512(大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4.－2(三井第二別館)
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45(興銀ビル別館)
電話(06) 202－7745番(代表)
本社・工場　東京都北区神谷3の10の8
電話(03) 902－3111番(代表)
支店　東京・名古屋・仙台

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

General Electric (G. E) 社製
冷暖房機「ゾンナル」「ウェザートロン」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」(西独WEBSTO社技術提携)

西日本総販売元

岩佐物産株式会社

本社　大阪市北区老松町3－56(西天満ビル)　電話(364)2238(代表)
東京　東京都中央区霊岸島1－10　電話(551)1079・1617
名古屋　名古屋市南区大磯通2－7　電話(821) 3558
四国　八幡浜市大黒町3　電話八幡浜514・14

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～3
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610
鳥取営業所　鳥取市品治町鳥取農協会館内　電話 (22) 4477

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役　長尾正大

本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル)　(351) 4927代 4540
大阪営業所　(351) 4927代　サービス事業所　(328) 0364代
東京営業所　(822) 0995代　工場　(328) 0363代

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備.　設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

カーテン・室内装飾・リノリューム
ビニールタイル・壁張り

合名会社 利倉幸商店

営業所　大阪市南区長堀橋筋二ノ二〇(日本橋バス停前)
電話 大阪(211)0571～4
(販売部)　電話 大阪(211)0575・6923
京都出張所　京都市中京区河原町夷川下ル指物町
電話 京都(231)3277・8779

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市中京区西ノ京東中合町43
TEL　代表　(811)9296

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九　電話・大阪(313)代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(553)0011代表
営業所　名古屋・神戸・岡山・倉敷・広島・北九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・広島・九州・神戸

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目・・電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所2・2607・4259

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊫3671(代)
支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊫1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村騰
取締役社長　立石行男

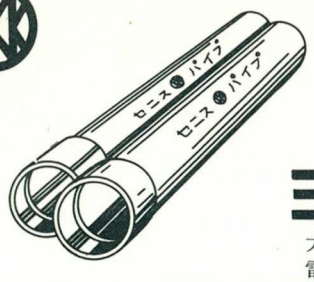
本社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031

奉仕感謝の店

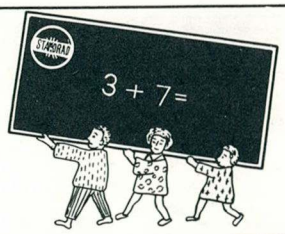
タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル

SSS（サンエス）　タイル 新発売

（カタログ進呈）

株式会社 **川岸窯業商店**
大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前
電話　大阪　(532)　０４６１～４番



Standard Board&Slate

フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪(717)4561～2

営業品目
- カネボウゴーレックス防水
- 化粧壁材ソリジットスタイン吹付
- 樹脂砂壁エバーサンド吹付
- 樹脂蛭石エバテックス吹付

Sorijitto Sutain
合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。



株式会社 **吉田芳雄商店**
本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4—78 電話(358)1790・1838

株式会社 矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪　(202)　4905

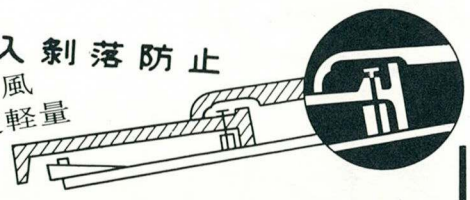
FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物、船舶等造作工事
家具、建具、寄木、室内装飾工事　設計施工
内外装飾織物・窓掛、敷物、壁紙類一式
二葉屋装備工業 株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町２の６
（創業大正７年）　電話・大阪(371) 3321～3・3630

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
(株) 大仏

本社	京都市東山区今熊野大仏池田町９の９	075 (56) 3555 3725
大阪営業所	大阪市北区空心町１丁目２８	06 (351) 0703
名古屋営業所	名古屋市守山区大字小幡山脇27	0560 (51) 1321
東京営業所	東京都渋谷区上原１丁目29の４	03 (467) 1641
工場	京都清水・山城・瀬戸	

青写真とマイクロフィルム
株式会社
内外写真
製図・トレース・複写写真
本　社 大阪市北区堂島北町１６ TEL (361)9055(代表)
本町営業所 大阪市東区本町4-27御堂ビル TEL (252) ３９０６
横堀営業所 大阪市東区横堀２—３６

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦
３寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目四番地　電話641局2252

発明賞に輝く各種特許235件所有

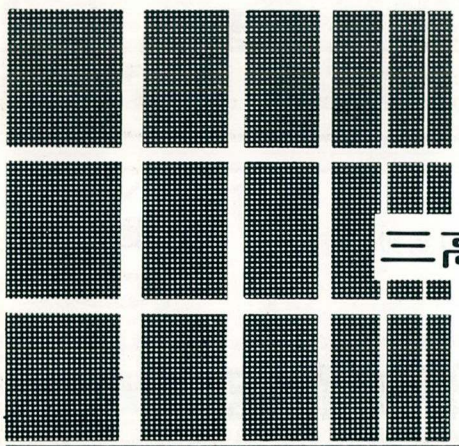
特許　鈴木シヤタア

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シヤタア・リンググリル®シヤタア・
ステンレスシヤタア・アルミニュームシヤタア・
40・ピーアップ®シヤタア・汎用シヤタア
その他特殊シヤタアの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地　電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所　金沢市長田町119番地　電話金沢(0762市外局番)21—2287



スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シヤッター

設計
製作
施工

小俣シヤッター工業株式会社大阪支店
大阪支店　大阪市北区若松町30　電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5

シヤッターの総合メーカー

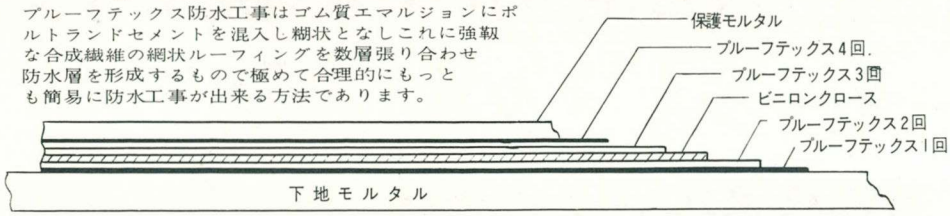
豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本　社　大阪市東区谷町30 新野村ビル　TEL (762) 5861 代
支　店　東京 (771) 1171・名古屋 (331) 6171・大阪 (352) 4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

プルーフテックス防水工事

プルーフテックス防水工事はゴム質エマルジョンにポルトランドセメントを混入し糊状となしこれに強靱な合成繊維の網状ルーフィングを数層張り合わせ防水層を形成するもので極めて合理的にもっとも簡易に防水工事が出来る方法であります。



《特　長》
1）防水性が優秀
2）接着力が強大
3）火気を要しない
4）耐摩耗性
5）物理的強度優秀

耐酸工事・防水工事専門店　**耐酸化学工業株式会社**

大阪市北区高垣町80番地
電話大阪(06)361・0178代

●法定不燃材の屋根長尺現地成型

ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です

●責任施工・型録送呈

特許●耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

●永久建材の超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル (SPM)

カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)

●新時代にマッチした各種のカラー製品があります

オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場　兵庫県尼崎市長州字稲川新田44　電話　大阪(481)8085～9
大阪支店　兵庫県尼崎市長州字稲川新田44　電話　大阪(481)8085～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市東町2－20－4　電話　蕨(32)3115～7
支店・出張所　郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・教賀・三原・徳島・徳山

Taniyama

送風機



営業品目

- ●LAF形　リミットロード送風機
- ●VAF形　可変式軸流送風機
- ●SAF形　ストリームライン送風機
- ●CAF形（特許）　遠心式静音軸流送風機

株式会社　**谷山鐵工所**

本社工場／大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪（931）代７８０３～９
東京出張所／東京都文京区湯島四丁目六番十七号
東京(814)６６５１～３

KANDAN

●空気調和設備　●給排水衛生設備
●各種送排風機　設計施工

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東六丁目三番地　電話大阪（672）大代表1281
出張所　名古屋・広島・福岡　　工場　堺・和泉・名古屋

腐らない そして燃えない
法定不燃材 829号

ケミカラーオーシマメタル
新しい型の
ひふくてっぱん

屋根材、壁材・谷樋棟包水切に
スタンダードメタルの大島応用化学
東大阪市新庄(782)4171代

特許 内外式 意匠登録
電動ベンチレーター
屋上強制換気装置製作のパイオニア

50年の豊富な経験と技術、研究により
1．最高の換気率
2．スマートな外観
3．雨仕舞の完全
4．価格の低廉
5．直傭工による施工の完璧
6．行届いたアフターサービス

近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m/m (モートル3HP) 40基

内外建材株式会社
移転仮営業所 大阪市西区江戸堀北通2の3(新坂ビル) TEL(441)3983～4・4396
工 場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL(962)1149

内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

全国で好評の……新興の内装壁材を!

全国で……
新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材
ダイシンコート
(特長)
耐火・耐水・耐アルカリ・防音・保温・吹付・塗付

革新塗料現る
①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由
繊維塗料の
シンコゾール
全国有名建材店又は当社へ

繊維壁材(通称)わたかべ
耐水、耐アルカリ性時代来る
漆喰差支なし
ドロマイドプラスター
セメントモルタル下地
落ちない
塗り良くない
塗面が強くない
水に強い
(特長)
すゝき
すゞかけ
新いすゞ
四香
七宝
錦紋
王座
●カタログお送りします

(株)新興建材工業所
大阪市西区西長堀南通1丁目5番地 TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所 東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町4丁目26番地 TEL 大阪(672)1661～3
(株)九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町26の1 TEL 福岡(41)5225～6

SSS
プラスター
ボード用プラスター

SSS混合プラスター（上塗用・白色）
SSSプラスターC（セメントモルタル下地用）
SSSプラスターP（ペイント下地用・金鏝仕上）
SSSプラスターSP（発泡軽量コンクリート下地用）
建築用　美術工芸用　各種焼石膏

サンエス石膏株式会社

本　　社	姫路市神屋町４丁目77	TEL 0792(81)1345代表
東京営業所	東京都新宿区東大久保町１の331	TEL 03（351)6962
中部営業所	瀬戸市苗場町113	TEL 0561(82)9185
関西営業所	大阪市北区堂島北町20　藤田ビル北館	TEL 06（344)6526～7
福岡営業所	福岡市七隈282の3	TEL 092（87)6419

建設大臣認定
●三段ブロック
其の他コンクリート
二次製品

宅地造成・分譲
●東多聞台
地質調査・神戸大学土木学部
田中　茂教授
設　計・三菱地所株式会社
施　工・株式会社　奥村組

新製品
特許セメント分散剤
コンクリート減水剤
リグコン

リグナール製造発売元
神戸枝料株式会社

本　　社　神戸市葺合区熊内町2丁目88番地
電話078代表(23)1421・6956
東京営業所　電話03（294）6167・6177
九州営業所　電話　093（68）0　9　4　5
福山出張所　電話0849（23）2　6　7　9

建築と社会

第50集
業種別
広告目次

昭和44年1月号

基礎 kk武智工務所 ……表3
鉄骨 鉄筋コンクリブロック 住友金属工業kk ……表2
シポレックス販売kk ……32
神戸材料kk ……93
防水 奥山化工業kk ……85
kk久保商店 ……85
合同特許建材工業kk ……89
東西日本アスファルト事業協同組合……25
日新工業……16
日本アスファルト同業会…18・19
日本アスファルト防水工業協同組合……17
kk日本セメント防水剤製造所 ……表3
kk油脂化工社 ……表3
石 kk矢橋大理石商店 ……89
タイル 衛陶 kk川岸窯業商店 ……89
kk吉田芳雄商店 ……89
屋根葺壁張 朝日石綿工業kk……表4
オリエンタルメタル製造kk …91
大島応用化学kk ……92
kk大仏 ……89
ナニワ瓦kk ……89
金属 岩元工業kk ……85
kk三幸商会 ……89
内外建材kk ……92
左官 サンエス石膏kk ……93
kk新興建材工業所 ……92
建具 小俣シャッター工業kk ……90
kk鈴木シヤタア商会 ……90
ダイケンサッシkk ……26
東洋シャッターkk ……90
kk日本シャッター製作所 ……22
kk三高製作所 ……90
建具金物 永和工業kk ……21
kkゴール ……36
日本ドアーチェック製造kk …20
塗装 関西ペイントkk ……38
山本窯業化工kk ……15
内壁・天井装 安宅産業kk ……24
kk奥村重兵衛商店 ……30
室谷商事kk ……85
内床装 田島応用化工kk ……表4
東洋リノリュームkk ……13
家具装飾 二葉屋装備工業kk ……89
保全 ミヅシマ工業kk ……13
設備機器 岩佐物産kk ……87
関西暖房工業kk ……91
kk谷山鉄工所 ……91
空調・衛生設備 暁建設工業kk ……86
kk朝日工業社 ……86
kk大阪城口研究所 ……86
大阪電気暖房kk ……86
kk建材社 ……86
斎久工業kk ……86
kk斎藤省三商店 ……86
三機工業kk ……86
kk三晃商会 ……86
須賀工業kk ……86
第一企業kk ……86
第一工業kk ……86
高砂熱学工業kk ……87
東洋キャリア工業kk ……87
東洋熱工業kk ……87
日本管工業kk ……87
日本冷熱工産kk ……87
kk西原衛生工業所 ……87
平山工業kk ……87
山田工業kk ……87
理研鋼機kk ……87
電気設備 浅海電気kk ……88
工藤電気kk ……88
栗原工業kk ……88
kk三興社 ……88
三宝電機kk ……88
中央電気工業kk ……88
朝陽電気kk ……88
東光電気工事kk ……88
中本電気kk ……88
野里電気工業kk ……88
富士電業kk ……88
kkヤマト電気商会 ……88
雑 kk内外写真 ……89
フタバ黒板……89

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

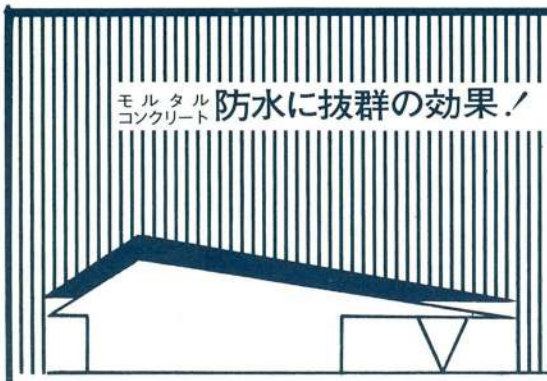
CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

ウォータイトB号

仕様書 型録 贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　大阪市東区船越町２－３１（船越ビル）電話（941)2626・2628
連　絡　所　宝塚市高台上の池電話 宝塚（86）2153
出　張　所　電話 東京(431)8648・名古屋(331)1531・仙台㉓0721・札幌㊼1111
オォータイト式防水工事代行店　電話 大三工業 高松（２）0016　安藤工事 福岡（28）５２０７　豊永建材 広島（61）６３７１



モルタル コンクリート 防水に抜群の効果！

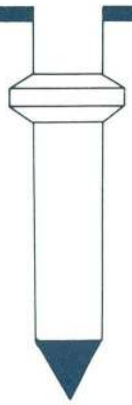
マノール防水剤

マノール防水剤は、屋上、内外壁、地下室などのモルタルやコンクリート、ブロックの防水、防湿に最適です。
その上、亀裂予防はもちろん、作業能率も著るしくあがり、仕上り面が特にきれいな点にも人気があつまっています。

マノール製品
〈モルタル コンクリート用〉
防水剤
急結剤
早強剤
接着剤
剥離剤
防凍剤
エスコート（セメント起泡剤）
エアコール（空気連行剤）
山富貴黄華（着色剤）

株式会社 油脂化工社
東京都品川区大井1-15-1 電東京(774)4111代表

大阪営業所　大阪市東成区西今里町２－４８　電 大阪(971)4765-6
名古屋営業所　名古屋市中区門前町５－３７　電 名古屋(231)5440
福島営業所　福島県信夫郡吾妻町下野寺遠原　電 福島（34）７４２８
盛岡営業所　盛岡市南大通３－１２－５０　電 盛岡（22）２２０４



●基礎施工の悪條件を克服する

武智式 日信三角杭

特　許●第２３３７４４号
特　許●第２５０１０８号
実用新案●第２５－１０９４２号
実用新案●第３７－３６１０６号

株式会社 武智工務所

本　　社　大阪市東区高麗橋２－２０（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233(代)・7501(代)
名古屋営業所　名古屋市中区錦1－3－2（殖産住宅ビル）
TEL 名古屋（211）３０８６(代)
大阪工場　大阪市住吉区北加賀屋町５－２７
TEL 大阪（672）３２２３・３２２４
名古屋工場　愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（７）１１９１・１１９２

日本建鉄の

PS80Aレディメードサッシ

PA60A・PA70Aサッシドア



日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町２～８　TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店　大阪市北区梅田町４７(新阪神ビル)　TEL大阪（341)4331(代)

建築と社会 "ARCHITECTURE AND SOCIETY" 第50輯第3号
■昭和44年3月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

屋根●外壁●内壁●天井に

建設省認定 朝日の不燃建材を



工場・倉庫・住宅に

法定不燃材
朝日波形スレート
朝日フレキシブルボード
朝日大平板
朝日ステンドスレート
朝日ネットインスレート

ビル・工場に

朝日耐火パネル
朝日防火パネル
朝日グラスインパネル
朝日フェザーパネル
朝日コルゲートインパネル
吹付石綿
朝日プロベスト

ASK
朝日石綿工業株式会社

大阪支店／大阪市北区神山町43 電話(312)8521(代表)
本　社／東京都中央区銀座7−3 電話(573)5111(大代)
営業所／東京・横浜・静岡・名古屋・富山・大津・姫路
岡山・広島・門司・福岡・長崎・延岡・高松
新居浜・札幌
工　場／横浜・山梨・大阪・水島・玉島・門司

気品と風格のあふれる床材

日本の感覚
三星"M"タイル

風格あるビルづくりに
いままでにない"気品のある床材"。みなさまには初お目見えの色と模様です。いつまでもアキのこないのが特長です。風格あるビルづくりにぜひ欠かせません。

優れた品質と性能で
ますます高級化する最近のインテリア・デザインが求めていた床材。プラスチック床材でいちばん経験の深い田島応用化工が、優れた技術と経験でついに登場させました。

●色と模様は12種類—豪華な見本帖を用意しておりますハガキにてお申し込みください。



三星プラスタイルPの
田島応用化工株式会社

東京/千代田区岩本町3-11 TEL 866-6101(代) 大阪/西区京町堀1-74 TEL 441-5951(代)

■ご入会のお申込みは・社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3-37 電話大阪(231)9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 300円(送料共)